

第七十六回 帝國議會院議衆

# 帝都高速度交通營運專案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案  
帝都高速度交通營團法案（政府提出）（第三五號）

出席委員左ノ如シ		開議		
委員長	堤 康次郎君	理事高橋 義次君	出席委員左ノ如シ	
理事山田 清君	理事田中 好君	曾木 重貴君	理事高橋 義次君	
堀内 良平君	好君	羽田 武嗣郎君	曾木 重貴君	
深澤 豊太郎君	好君	坂東 幸太郎君	堀内 良平君	
松永 東君	好君	増永 元也君	田中 源君	
出席國務大臣左ノ如シ	出席國務大臣左ノ如シ	小川郷 太郎君	出席國務大臣左ノ如シ	
出席政府委員左ノ如シ	内務省土木局長 成田 一郎君	内務省計画局長 藤岡 長敏君	内務省土木局長 成田 一郎君	
鐵道次官 鈴木 清秀君	鐵道次官 鈴木 清秀君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	
鐵道省運輸局長 長崎惣之助君	鐵道省建設局長 倉田 玄二君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省運輸局長 長崎惣之助君	
鐵道省工作局長 平山 孝君	鐵道省工作局長 平山 孝君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省建設局長 倉田 玄二君	
鐵道省需品局長 堀木 鎌三君	鐵道省需品局長 堀木 鎌三君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省工作局長 平山 孝君	
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ	委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省需品局長 堀木 鎌三君	
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	内務書記官 田中 省吾君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省需品局長 堀木 鎌三君	
帝都高速度交通營團法案(政府提出)	鐵道省陸運監理官 小倉 俊夫君	鐵道省監督局長 大山 秀雄君	鐵道省需品局長 堀木 鎌三君	
引續キ質疑ヲ行ヒマス——堀内良平君 ○堀内委員 先づ政府委員ニ御尋ね致シタ イト思ヒマスガ、此ノ帝都高速度交通營團 法案ノ御提出ナリマシタノハ、昨日道家君 カラ御質問ガアリマシテ政府委員ノ御答へ ニナツタ通リニ、交通調整委員會ノ決定ノ ミデハナイ、地方ニ於テモサウ云フ考ヘヲ 持ツテ居ツテ、偶、諸間ト一致シタノデ、斯 ウ云フ法案ヲ提出スルコトニナツタト云フ 御答辯デアツタノデアリマスガ、私モ其ノ 通リデアラウト思ヒマス、サウシマスト、 交通調整委員會ニ於キマシテ決定サレタ案 ハ、地下鐵道ノミデナク、東京ノ全部ヲ七 「ブロック」ニシテ、其ノ中ニ地下鐵道モ入 ツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ、此ノ七 「ブロック」中ノ地下鐵道ダケヲ御取上げニ ナツテ、茲ニ本案ヲ御提出ニナツタノデア リマス、此ノ交通調整委員會ノ諸間ニ對ス ル決議ガ本トナツテ、斯ウ云フヤウナコト ニナツタラウト思フノデアリマスガ、サウ 致シマスト、地下鐵道ヲ除イタ所ノ外ノ、 例へバ東京市ガ經營スペキモノデアルト カ、他ノ會社ガ經營スペキモノデアルトカ 云フヤウナモノニ對シテハ、ドウ云フ御處 置ヲ御執リニナルノデスカ、是モ統制ノ結 果買收ヲサレ、共同經營ヲサレルコトニナ ハドウ云フコトニナリマスカ、又其ノ買收 ノ命令ヲ發スル時期ト云フヤウナモノハ、 何時頃ニナルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ

○大山(秀)政府委員 交通調整ニ基ク調整ノ方法ニ付テ、地下鐵ノ關係ハ此處ニアルガ、其ノ他ノ調整ノ方法ハドウ云フ風ニヤツテ行クノカト云フ御尋ネデアルノデアリマスガ、先ヅ地下鐵ト一番近イ所テ考ヘマスト、舊市内ノ路面ノ交通ノ問題デアリマスガ、是ハ東京市ニ經營ヲヤツテ戴クト云フ調整委員會ノ意向ニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ方向ニ向フベク、大體舊市内ノ「バス」軌道等ヲ市ニ譲渡、或ハ委託經營ノ方途ヲ進メル考ヘデアリマス、又其ノ他ノ所謂元ノ郊外ト言ハレテ居ツタ地區デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り四ツノ「ブロック」ニ分ケテ統合スル譯デアリマスガ、是ハ所ニ依ツテ其ノ所ノ事情ニ即シタ調整ノ方式ヲヤラナケレバナラヌカラ、自然達フト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、只今具體案ヲ申上ゲル程ニ細カク決マツテ居ナイノデアリマスガ、要スルニ案ヲ作りマシテ、此調整委員會ノ答申ニ基イテ、又出來マスル東京ノ交通ノ専門委員會ト云フモノニモ諸リマシテ、其ノ御意見モ十分伺ツタ上デハヤルカト云フ御尋モアツタノデアリマスガ、勿論「ガソリン」ノ消費規正ノ強化、其ノ關係カラ、急ラ要スル場面モ多クアルノデアリマス、ソレデ成ベク早イコトヲ希望スルノデアリマスガ、又吾々ノ方ノ手ノ關係モアルノデアリマシテ、何時頃ト云フコトヲ申上ゲル確信ガナインデアリマスケレドモ、舊市内ノ路面ノ事業ハ、出來ルナ

○堀内委員 仰シヤル通りドウモピツタリ來マセヌ、私ハ斯ウ云フコトヲ伺ヒタインデス、例ヘバ地下鐵ハ高速度交通營團ニ經營サセル、ソレカラ東京市ノ舊市内ノ交通ハ東京市ニ經營サセル、東京市ハ公共團體デアリマス、是ハ申スマデモアリマセス、ソレカラ其ノ外ノ四「ブロック」ノ部分ハ色々調査ノ上ニ何レニカ御決定ニナルノデアリマセウガ、大體調整委員會ノ御意向ヲ伺ツテ見ルト、是ハ他日何年カノ後ニ大合同ト云フコトニ進ムノデアリマセウガ、暫ク暫定的ニ七ツノ組織ニシテ置カウト云フコトノヤウニ伺ツテ居ル、サウシマスト、此ノ四「ブロック」ノ分ハ何レカノ會社ニ統制經營サセルコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フヤウナコトニ段々ナリマスト、一つハ茲ニアル交通營團ト云フ法案デ支配サレ、又東京市ハ公共團體トシテノソレ／＼規則モアラウシ、民營會社ハ民營會社トシテノ規則ニ準據シナケレバナラスト云フコトニナル、サウ云フコトニナリマスカラ、殊ニ其ノ時期ニ於キマシテモ、ラバ此ノ營團法ノ實行ト伴ツテ行キタ、案ヲ確定シナガラ、郊外ノモノモ手ヲ着ケテ行キタ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデリ合ハナイ御答ヘカト思ヒマスガ、大體ソレダケ申上ゲマス

タイ、勿論其ノ通リデアリマセウ、獨リ帝都ノ高速度地下鐵道ガ急ヲ要スルバカリデハナイ、路面ノ交通モ同様ニ急ヲ要スルノデアリマスカラ、御急ギニナツテ急ニオヤリニナルコトガ適當デアラウト思フ、サウ云フ場合ニ於キマシテソレドヽ達フ觀點カラ色々々ノ問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、帝都高速度交通營團法案ト云フモノヲ茲ニ一ツ御定メニナル、ソレカラ東京市ニ經營サセル、或ハ民間ノ會社ニ統制經營サセルトカ云ブヤウナモノニ對シテハ、別ニ法案例御出シニナラヌノデアリマスルカ、又ソレハ交通調整法ニ依ツテオヤリニナラウト云フノデアルカ、若シ交通調整法ニ於テ不備ノ點ガアルヤウデアレバ、ソレハ何ニ依ツテヤラウト云フノカ、此ノ交通營團ノ規則ヲソレニ準用スルト云フノカ、又準用スルコトガ出來ルノデアルカ、サウ云フヤウナ準備ニ缺ケテ居ル點ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ハ進行上御差支ヘナク行ケルモノデアリマスカ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○大山(秀)政府委員 其ノ通リデアリマス  
○堀内委員 サウ云フコトニナリマスト、  
交通調整法ノ不備ト云フヤウナコトハ發見  
サレテ居ラナイカモ知レマセヌガ、多少私  
共モサウ云フコトヲ見テ居リマスガ、若シ  
交通調整法ニ於テ不備ノ點ガアルト云フヤ  
ウナコトニナレバ、別個ニ何カ交通調整法  
デモ御改正ニナツテ、オヤリニナラウト云  
フノデアリマスカ、或ハアノ儘ニシテ置イ  
テ、アノ範圍内デドウシテモ押シテ行クン  
ダ、斯ウ云フコトニナリマセウカ  
○大山(秀)政府委員 前ノ御質問ニモ關聯  
シテ御答へ致シタイノデアリマスガ、此ノ  
營團法ヲ出シマシタ譯ハ、帝都ニ於ケル地  
下鐵ヲ何デモ早クヤリタイ、其ノ爲ニハ今  
マデノ法規其ノ他デハ之ヲ速力ニヤル爲メ  
助成シ得ナイ部面ガアル、何トカ之ヲヤリ  
易イ方法ニスル爲ニハ、ヤハリドウシテモ  
立法事項ニ關係スルト云フノデ、取分ケテ  
之ヲ出シタ譯デアリマシテ、他ノ部面ニ付  
キマシテ事業ノ調整法ダケデヤツテ行クト  
云フコトハ、今マデ度々申上ゲタノデアリ  
マスガ、私色々調整法ノ不備ト申シマスカ、  
斯ウモアツタラ宜イヂヤナイカト云フヤウ  
ナ御意見ヲ折々聞グコトハ聞クノデアリマ  
ス、併シ只今ノ所、特段ノ缺點乃至不備ト  
云フモノガアルトモ考ヘラレナイノデアリ  
マシテ、只今ノ見透シデハ調整法ノ運用ニ  
依ツテ、調整事業モ進メ得ラレルト云フヤ  
ウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ御承知  
件ト云フモノガ實ハマダナイノデアリマシ  
テ、是カラ是ガ働くテ來ル譯デアリマスカ

業ノ進行ヲ圓滑ナラシメル爲ニ、此ノ法令ノ再検討ト云フコトモ勿論致サナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ結果或ハ調整事法整ノ改正ト云フヤウナコトモ問題ニナリ得ル場合ガアルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○堀内委員 尚ホ誇イヤウデアリマスガ、東京市ノ交通調整ハ、申上ゲルマデモナク路面モ地下モ總テヲ一體トシテ御考ヘニナラケレバナラスト思ヒマス、離レバニ地下鐵ハ地下鐵デ考ヘ、路面電車ハ路面電車デ考ヘルト云フヤウナコトデ、連絡ノ取レナイヤウナコトニナリマスレバ、交通調整ノ實ヲ擧ゲルコトハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ、只今御提案ニナツテ居ル交通營團法ニ致シマシテモ、若シ是ガ他ニ關聯フ及ボスベキ事項デアルトカ、之ヲ他ニ準用スペキ事柄ガ起ルカモ知レナイト云フヤウナコトガアラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニハ、是ハ全然別個ノモノトシテ切リ離シテ置クト云フコトデナシニ、例へば法文ニハ明カニ書イテナイニシテモ、サウ云フ場合ニハ之ニ準據スル、ソレニ重キラ置オテ此ノ法案ノ規定ヲ考ヘルコトモアルト云フ、此ノ法案ト他ノ路面交通機關トノ間ニ、處理スル場合ノ何カノ一つノ關聯性ト當局者ガサウ云フ御氣持デオヤリニナルト云フヤウナモノ、又サウ云フヤウナコトヲ場合ニ依ツテハ條文ニ入レル、若シ條文ニ書クコトガ出來ナイト云フナラバ、ソレハトガ出來ナイヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデア

リマス、先刻法案ニハ規定ハナイト仰シヤルノデアリマスガ、其ノ御氣持ハヤハリ之ヲツク關聯サセテ御考ヘニナルノデアリマスカ、是ハ全然別個ノモノデ他人扱ヒニスルト云フコトニナルノデアリマスカ、甚ダ諄イヤウデアリマスガ、モウ一言御聽キシタイ〇大山(秀)政府委員 勿論此ノ營團法ハ地下鐵道ノコトヲ考ヘテ作ツタモノデアリマスガ、路面地下ト云フモノハ、路面、地下ニ分ケテ考ヘレバ考ヘラレルノデアリマスガ、御話ノ通り非常ニ密接ナ關係ノアルモノデアル、理想ヲ申上グルナラバ、ソレハ一緒ニ事ヲ行フ方ガ結構デアルト云フニ考ヘラレルノデアリマス、唯茲ニ路面ト地下ト、別ナ「ブロック」ノ統制ヲヤツタヤウナ關係ニナリマシタノハ、要スルニ地下鐵建設ノ急務ト云フコトヲ主眼ニ置イタ爲デアリマス、交通統制ノ見地カラシマスト、今アル事業ヲ統合致シマシテ、色々ナ能率ヲ良クスルト云フ點モ一つノ重要ナル方面デアル、又更ニ交通機關自體ヲ整備擴充スルト云フコトモ大キナーツノ必要ナ部門デアル、其ノ二ツヲ考ヘマシテ、市内ノ交通ヲ考ヘマスト、路面ノ部分ニ於キマシテハ、勿論建設ヲ要スル場所モアリマスガ、大體ニ於テ既存交通機關ノ統合整理ト云フ方面ガ重キヲ成スモノデアル、又第二ノ點ヲ考ヘルト、地下鐵ノ建設ト云フモノガ非常ナ急務デアルト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ理想トハ少シ離レルカモ知レマセヌガ兎ニ角其ノ急務ヲ満ス爲ニ、路面ト地下トノ路面ト地下トヲ一ツニ分ケタ理由デアリ、

又此ノ法方出々所以デモアルノデアリマス、サウ云フ風ニ路面ト地下ト云フモノハ非常ニ關係ノ深イモノデアリマスカラ、堀内サニ御指摘ノ通り、何カ地下ノ方面ニ於テ色々ノ出来ルコトヲ路面ノ場合ニモ適用スルト云フヤウナコトヲ考ヘタラドウダ――甚ダ抽象論デ一寸困ルノデアリマスケレドモ、鬼ニ角此ノ營團法ニ出テ居ルモノヲ路面ノ事業ニ於テ適用シ得ル場合ガアルナラバ、何カ考ヘタラ宜イデハナイカト云フヤウナ御趣旨ト拜體致シテ居ルノデアリマスガ、勿論法律ノコトデアリマスカラ、一方ノ營團法ニアルモノヲ、其ノ儘使ツテ來ルト云フコトハ、是ハ出來ヌカモ知レマセヌ、併シ運用ナリ、事ヲ運ブ上ニ於キマシテ、此ノ法律ニ現ハレテ居ル趣旨ノコトヲ、實際ニ於テ援用シ、織込ンデ行クト云フコトハ、必要ノ場合ニ於テハ勿論ヤラナケレバナラヌコトデアルト私共考ヘテ居リマス○堀内委員 昨日大臣ノ御演説ノ中ニ、政府ハ強力ナル助成ヲスルノダト云フ御言葉ガアリマシタ、是ハ大臣ノ御氣持ノミデハナク、ヤハリ御當局御一致ノ意見グラウト思ヒマスガ、私共平素考ヘテ居リマスノハ、帝都ノ交通ト云フモノハ獨リ地下鐵道ノミデハナイ、路面ノ交通機關ニシマシテモ、同ジ地方鐵道法ニ依ツテ作ラレルモノデハアルトシマシテモ、地方ノ交通機關ヨリカモ、其ノ必要ノ度合ガ非常ニ違フ、交通機關アルノデアリマスカラ、假ニ地下鐵道ガ軍事上ノ必要ガアリ、防空ニ對處スルコトモツノ考ヘデアリマセウケレドモ、路面

交通機關ト云フモノモ、サウ云フ場合ニハ  
非常ニ重大ナ効キヲナスコトニナル、決シ  
テ地上路面ノ交通機關ト、地下鐵道ト差別  
スペキモノデハナイ、路面ト地下ト相俟ツ  
テ交通機關ノ全能ヲ發揮スペキモノダト思  
ヒマスガ、特ニ昨日大臣ノ御演説ノ中ニ、  
此ノ法案ノ提出ノ理由トシテ、政府ノ強力  
ナル管理、助成ヲスル、斯ウ云フコトヲ仰  
シヤツタノデアリマスガ、サウシマスト外  
ノ路面交通機關等ヨリ、是ダケハ別段ノ扱  
ヒヲスル、現ニ助成ヲスル法案モ出テ居ル  
ヤウデアリマス、サウスルト路面交通機關  
ノ方ハ重キヲ置イテナイト云フ譯デモナイ  
ノデアリマセウケレドモ、私共ハ帝都ノ交  
通機關關トシテ、ヤハリソレハ殆ド同様ニ扱  
フベキモノデハナカラウカト云フヤウナ考  
ヘラ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ對  
スル御當局ノ御意見ハドンナモノデアリマ  
セウカ、大臣ノ御言葉ノ中ノ、重イノト輕イ  
ノト云フヤウナコトニ付テ、何カ差別ガア  
ルノデゴザイマセウカ、是ハ場合ニ依ツテ  
ハ大臣カラ伺ツテモ宜シノデスガ、尙ホ  
當局カラ御答辯下サレバ結構ト思ヒマス  
○大山(秀)政府委員 路面ト地下ト云フモ  
ノハ、オ互ニ相倚リ相扶ケテ市内交通ヲヤ  
ツテ居ルモノデアルカラ、路面ガ大事、地  
下ガ大事ト云ツタヤウナ差別ハナイヂヤナ  
イカト云フヤウナコトデアリマスガ、御話  
ノ通り交通機關ト致シマシテ、路面ノ必要  
ナコト勿論デアリマス、又地下鐵道ノ必  
要デアルコト勿論ノ話デアリマス、唯之  
ヲ増大スル交通量ノ點カラ考ヘマシテモ、  
私共考ヘルノニ、路面ノ交通機關ヲ擴充ス  
ルト云フ餘地モ、限ラレタモノデハナイカ  
ト云フヤウナ氣持モ致シマス、又都市ノ膨

脹スルニ從ヒマシテ時間的其ノ他ノ關係力ラ、路面ノ交通ノミヲ以テシテハ、是ハ行詰ルノデハナイカト云フコトモ考ヘテ居リ當ニニラナイト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマスト、地下鐵道ノ建設ト云フモノハ、ソレハテモ急ヲ要スルシ、帝都トシテヤラナケレバナラヌ仕事デアルト云フコトヲ固ク信ズルノデアリマス、交通機關トシテ、殊ニ平常時ニ付テ考ヘマスナラバ、路面、地下、何レガ輕イ、何レガ重イト考フベキデハナイト思ヒマス、併シ將來ノ交通機關ヲ、金ヲ掛けテ作ルナラバドノ方向ニ向ツテ作ルベキダト云フコト、又非常ノ場合ヲ考ヘタナラバ、ドノ方面ノ交通機關ヲ整備スベキダト云フヤウナコトヲ考ヘルナラバ、ヤハリ輕重ノ差ヲ付ケルノハ甚ダ申シニクイコトデアリマスケレドモ、差當リハ地下鐵道ノ建設ト云フコトノ方ガ急ヲ要スルノデハナイカト云フ氣持ガ致スノデアリマズ

タイト思ツテ居ルノデアリマス、隨テ市債  
並ノ條件ガ考ヘラレルノデハナイカ、サウ  
致シマスト四分二厘カ三厘、是ガ今ノ市債  
ノ出テ居ル現狀ダト思ヒマスカラ其ノ程度  
ダト考ヘテ居リマス

○堀内委員 政府ノ出資ハ無配當ノ積リダ  
ト云フコトハ、昨日御言明ガアツタノデア  
リマスガ、其ノ無配當ト云フコトハ何時マ  
デモ無配當ノ積リデアリマセウカ、或ハ相  
當ノ利益ガアツテ民間資本ニ相當ノ配當ヲ  
シタ、其ノ上ハ政府ノ配當モ取ラウト云フ  
コトニナルノデアリマセウカ、其ノ「點ト」  
ソレカラ東京市及ビ民間ノ出資ガ、昨日ノ  
御話デハ大體二千万圓アルヤウニ仰シヤツ  
タ、ソレニ對シテ政府ガ之ヲ保證スルト云  
フヤウナ意味ノ御談ガアツタヤウニ思ヒマ  
スガ、保證ハ一體ドノ程度ノ保證ニナルノ  
デアリマセウカ、又其ノ保證ハ別途ニ勅令  
カ何カラ以テサウ云フコトヲ御定メニナル  
ノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマ  
ス

○大山(秀)政府委員 政府ガ三分ノ二ノ出  
資ヲ致シマシテ、大イニ此ノ事業ヲ助成シヨ  
ウト云フ覺悟デ居ルノデアリマスカラ、勿  
論配當ハ考ヘテ居ナイノデアリマスガ、併  
シ只今仰シヤイマシタヤウニ、相當利益方  
上ツテ來テ、皆ニ行瓦ル、言葉ヲ換ヘテ言  
ヘバ、交通債券ノ利子ガ十分ニ拂ヘ、ソレ  
カラ會社ノ經費モ相當ニヤツテ行ケルシ、  
其ノ上民間ノ配當モ相當出セル、サウ云フ  
時機ニナツテ尙ホ無配當デ我慢スルカト云  
フ御質問ト思フノデアリマスガ、是ハ建設  
ヲドンノ進メテ居リマス場合ニハ、恐ラ  
クサウ云フ時機ハナイト考ヘマスガ、假リ  
ニ二十年後或ハ其ノ以前ニ來ルカモ知レマ

セヌガ、建設ガ一通り済ンデ、將來金ヲ寢サスヤウナコトガナクナツタ、サウシテ非常ニ事業ガ良イト云フヤウナ場合デアリマスナラバ、必ズモ配當ヲ辭退シ、或ハ無配當ニスルト云フ必要モ理論的ニハナノデニアリマス、併シソレハ餘程遠イ先ノ話デアリマシテ、差當リサウ云フ時代ハ來ナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスソレカラ東京市及ビ其ノ他ノ電鐵會社ガ出シテ居ル出資ニ對スル配當ノ保證ヲドネデアリマスケレドモ、是ハ別ニ配當保證ハ致シテ居ラヌノデアリマス、此ノ營團法ノ中ニアリマスコトハ、寧ロ此ノ事業ノ本旨及び出資ノ氣持カラ考ヘマシテ、餘リ高イ配當ヲ出シテハイカヌデハナイカ、ダカラ一定限度ニ制限シタラドウダト云フ風ナ規定ガアルノデアリマシテ、幾ラノノ配當ヲ保證スルト云フ規定ハナイノデアリマス、併シナガラ此ノ政府以外ノ出資ニ對シマシテハ、勿論御損ヲ掛ケルト云フコトハ穢カナラヌコトデアリマスカラ、御損ノ掛カラス程度ノコトハ常ニ考ヘテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデハソレヲドウシテ損ノイカナイヤウニ出来ルカト云フ御尋ネガアルデアリマセウガ、結局經費ヲ賄ヒ、交通債券ノ利子ヲ拂ヒ、出資ニ對スル配當ヲ拂ヒ、サウ云フヤウナ色々ノ要素ニ對シテ考ヘタ上デ補助ノ保證ニモナルト云フ考ヘ方ガ出來ルカト思フノデアリマス、併シ此ノ出資ハ出來ルダケ十分ナル此ノ事業ノ重大性ニ對スル御ノ保證ニモナルト云フ考ヘ方ガ出來ルカト

事業ヲ援助スルト云フ精神ノ下ニ御出資ヲ  
願ヒタインデアリマス、サウ高イ配當ト云  
コトハ期待出來ナイノデアル、又はタノ  
配當ヲ保證スルト云フコトハナイガ、運用  
ニ依ツテマア妥當ト認メラル程度ノ配當  
ハ、努メテ是ガ出來ルヤウニ運用シテ行キ  
タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイ  
マス

達スルマデハ補助ブモ與ヘヨウト云フコト  
デスカ、ドウ云フ御考ヘカラ六朱限度ト云フ  
コトノ御話ガ出來ル譯デアリマスカ、又最  
高率ノ配當ガ六朱ト云フコトデアルノデア  
リマスカ、或ハ最低——非常ナ不成績ヲ譽  
ゲタ時ニハ一體ドレ位ノ補助ヲシテ、ドノ  
程度ニ置ク積リデアルカ、ソコガドウモハ  
ツキリ致シマセヌト、出資ニ應ズル者モ無  
論差支ハナイノデアリマセウケレドモ、ヤ  
ハリ東京市ニ致シマシテモ、色々市ノ機關  
ニ御諮詢ニナルコトデモアラウシ、又會社  
ナドノ制度トズレバ株主總會ニ掛ケルトカ、  
色々面倒ナコトガアラウト思ヒマス、ソコ  
ヲ少シハツキリシテ置イタ方ガ宜カラウト  
思ヒマス、其ノ點ヲ伺ツテ置キマス

ノ配當ヲシテ居ル、其ノ財産ヲ現物出資トシテ持ツテ來ルンダ、適當ナ評價ヲ以テ持ツテ來ルノデアルカラ、其ノ會社ヲ經營スルノデアルカラ、六朱、七朱ノ配當ハ必ズ出來ルト、斯ウ斷言シテ居ラレタノデアリマス、中々サウ行クベキモノデハナイノデアリマス、會社ト云フモノハ、經營者ノ手腕ニモ依ルシ、中々サウ——餘所デソレダケノ配當ヲシテ居ツタカラ、ココヘ持ツテ來テモ必ズサウ云フ、配當ガ出來ルト云フコトソレハ違フノデアリマスルカラ配當ガ若しく出來ナインラバ、遞信當局ハ六朱ト云フヤウナコトノ補償ノ話モ前ニシテ居ツタノデアルカラ、ソレダケノ成績ガ必ズ舉ルト云フコトノ信念ガアルナラバ、六、七分ノ補給ト云フコトヲヤツテ居ツテモ宜イデハナイカ、其ノ實金ヲ出サナクテモ宜イコトニナルデアラウガ、サウ云フ考ヘハナイカト云フコトヲ言ツタノデアリマスガ、ソレハ六朱ノ必要ハナイ、マア最低限度ノ補給ハ四朱デ宜カラウト云フコトデ四朱ニ決マツタノデアリマス、本營團モ今仰シヤラレタレヤウナ心構ヘデ會社ヲ一ツ注意シテ經營シテ貴ツテ、補助ナドモ最低限度ニスル、サウ云フコトデ行カナケレバナラヌ、會社モ補助ガアルカラト云ツテ放漫ナコトヲシテハ相濟マヌノデアリマスガ、往々ニシテ特殊會社ト云フモノハ、全ク豫期ニ反スル成績ヲ擧ゲテ居ルコトガ多イノデアリマス、デアリマスルカラマア精々勉強シテ經營ヲスルト云フコトハ勿論デアリマスルケレドモ、補助ヲ御出シニナルト云フコトデアレバ、最低限度ドレダケノ成績ノ擧ラナイ所ハ補助ヲ以テ其ノ程度マデハ出ス積リデアル、最高限度ハ六朱ナラ六朱ト云フコトデ

結構デアラウト思ヒマスガ、ソコヲモウ少シ何カ數字的ニ判断シ得ルヤウナ程度ニ致シテ置イタ方ガ宜カラウト思ツテ居リマス、又發送電會社ノヤウナコトモアリマスマスガ、發送電會社ハサウ云フヤウナコトヲ言ツテ参リマシテ、サウシテ四朱ノ補給ニシテ居ツタノデアリマスガ、今回四朱ノ補給ヲ六朱ニ引上ゲナケレバナラスト云フヤウナコトニマデ立至ツテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ點ガ御腹案ガアリマスレバ、モウ少シハツキリシテ戴イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○大山(秀)政府委員 政府以外ノ出資ニ對

スル配當ニ付テ、重ネテ御話ガアツタノデ

アリマスガ、御話ノヤウニ中々特殊會社ト

績ヲ舉ガタイト張切ツテ居ル次第アリマ

ス、今ノ配當ノ問題ニ付テ、是ハ又堀内サ

ンニ叱ラレルカ知リマスヌガ、若シ全體力

ラ考ヘテ見マスナラバ、今ノ此ノ營團ノ機構

全部働イタト致シマシテ、六千万圓ノ出資、

其ノ中四千万圓ハ政府ノ出資デアリマス、

其ノ外ハ二千万圓デアリマス、ソレカラ十

倍ノ交通債券ガ出し得ルノデアリマスカラ、

此ノ十倍ヲ出シタントシナラバ六億圓デア

リマス、合ハセテ六億六千万圓、此ノ六億

六千万圓中ノ二千万圓ノ問題デアリマスガ、

此ノ場合ニ於テ營團トシテ一番考慮ヲ拂ハ

ネバナラヌコトハ、六億ノ交通債券ニ對

スル利子ノ拂ヒ、是ガ若シ十分ニ行カヌ場合

ニ於キマシテハ、此ノ資金ノ集メ方ガナイ、

又債券ヲ持ツテ居フレル方ニモ非常ニ迷惑

ヲ掛ケルト云フコトガ起ルノデアリマス、

ソレデ補助ノ制度モ、斯ウ云フ債券ノ利子

ハ必ず拂ヘルヤウニシヨウト云フコトガ狙ヒ所ノ大キナ所ニナツテ居リマス、又政府ノ出資ヲ辭退スルト云フ前提ニ立チマスナ

リマシテ、之ニ對シマシテ、社會通念カラ見マシテ、成程ト思ハレル程度ノ配當ガ考ヘ

ラベル、サウシテソレガ支拂ヘレル途ガ講ゼラレルト云フコトハ當然ダラウト吾々ハ思

フノデアリマス、此ノ交通債券ノ利子ト並シテモ十分ナル考慮ヲ致シマシテ、御心配

ノ點ノ起ラナイヤウニ努力シタイト思フノデアリマス、是ハ正面カラ申シマスト、堀内サンノ御尋ネニ對スル御答辯ニナツテ居

ナイト思ヒマスガ、大體私共ノ氣持ヲ申上ゲマシテ、更ニ御尋ネニ依ツテ申上ゲタ伊

ト思ヒマス

○小川國務大臣 一寸堀内君ニ一ツ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ高速度交通營團

ト日發トヲ比較セラレテ御考ヘノヤウデアリマスケレドモ、比較スル時ニ於テ一ツ御

注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ日發ハ御承知ノ通り設備ヲ出サシテアア云フ會社

ヲ持ヘタ、ヤハリ株式會社デアリマス、ソレニ前ノ會社ガアリ又株主ガアルノデア

リマス、株式ハ轉々賣買セラレテ居ル譯デアリマス、所ガ此處ニ問題ニシテ居ル帝都

高速度交通營團ハ株式會社デナインデアリマス、ソレハ一應地下鐵或ハ帝都高速度

會社ノ設備ヲ讓リ受ケマスガ、讓リ受ケタ

ス、サウシテ此ノ營團ニ對シテ六分取ラナ

ケレバナラヌ、斯ウ云フコトハナイデヤ

ナイカト思フノデス、市ガニ依ツテ儲ケルト云フ觀念ハナイ、是ハ公益事業ナ

ス、サウシテ此ノ營團ニ對シテ六分取ラナ

ノデアリマスカラ、其ノ公益事業ニ參加シ

道會社ニ參加ヲ求メルノデアリマスカラ、

サウシマスト、例へば日發ニ於テハ四分ノ

利子ガ保證セラレル、ソレガイカスカラソ

レヲ六分ニシナケレバイカヌト云フ問題ガ

上デ一ツ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀内委員 只今大臣ノ御話ノヤウニ配當ヲ取ツテモ百万圓ノコトダ、ソレヲ四回ニ

拂込メバ二十五万圓ダ、ソンナコトハ考ヘズニ一ツヤツテ貢フノダト云フ御話カラ

現在ノ地下鐵道及ビ高速度會社ノ設備ヲ讓

ニアリマスカラ、サウ云フ心構ヘ出資ニ  
應ズルト云フコトニナリマスレバ、何モ配  
當ノコトナドハ研究スル必要ハナイノデア  
リマス、御言葉ノ通りアリマス、併シ昨  
日道家委員ノ民間出資者ノ配當ハ幾ラ位ニ  
考ヘテ居ルカト云フ質問ニ對シテ、六朱ヲ  
限度ニスルト云フ政府委員ノ御説明ガアツ  
タノデアリマス、道家委員ハドウ云フ積リ  
デ質問ラシタノカ知リマセヌガ、只今御話  
ノ通り、東京市ニ於テ之ニ應ズルト云フコ  
トニシマシテモ、市債ヲ募集スレバ、例へ  
バ四分三厘ノ利息ヲ市テ拂ハナケレバナラ  
ヌ、ソレハ一方カラハ其ノ賠償ハ得ラレス  
ト云フナラバ得ラヌデモ宜シイノデアリ  
マス、又會社ニ於キマシテモソレダケノ出  
資ヲシナケレバナラヌ、六億六千万圓ニ對  
スル一千萬圓ハ僅カノモノヂヤナイカト仰  
シヤルノデスガ、一千万圓ノ資本デ特殊會  
社ガ一つ出來ル場合モアル、相當大キイト  
言ヘバ大キイノデアリマス、大キイ小サイ  
ハ別個ニ致シマシテモ、其ノ補助ヲ與ヘルト  
カ、配當ノ限度ヲ六朱ニ止メルトカ云フヤ  
ウナ御話ガアル以上ハ、ヤハリ此ノ會社モ民  
間出資者ニ對シテハ相當ノ利益ハ得セセル  
ノデハナイカト云フ考ヘガ直チニ起ル、デア  
リマスカラ、今大臣ノ御話ノヤウニ民間出  
資ニ對シテハ、國防上必要ナモノダカラ配  
當ハナクテモ我慢シロ、斯ウ初メカラ御斷  
定ニナツテシマヘバ、ソレハソレデモ宜イ  
デアリマセウ、株主ガ應ズル時モ、例へバ  
會社ニシマシテモ、之ヲ一會社デ負擔スル  
カ數會社デ負擔スルカ知リマセヌケレド  
モ、ソレハ會社トシテモ機關ガアリマ  
シテ、例へバ此ノ株ニ應ズルニシテモ、配  
當ガドレダケ貴ヘルトカ貰ヘヌトカ云フコ

券モ應ジ手ガナケレバ、政府ガ六億圓皆出  
トヲ基調シテヤルノデアリマスカラ、只  
今大臣ノ御話ノ通りアリマスレバ、民間  
資本二千万圓ト云フモノハ配當ヤ利益ノコ  
トヲ一切考ヘズニヤツテ貴フノダ、ソレデ  
コツチカラハ別ニ補給モ補助モナイノダ、  
愛國的ニサウ云フコトヲヤラセルノダト云  
フ御決意デアレバ、ソレモ宜カラウ、所ガ  
ソコニ色々矛盾ガアリマシテ、配當ハ幾ラ  
ヲ最高限度トスルカト云フコトニナリマス  
ト、其ノ最高限度ニ達シナイ場合ハドウス  
ルカト云フヤウナ問題ガ自然起ツテ來ル、  
今日發ノ例ヲ引イテハイカヌト仰シヤル、  
ソレハ色々事情ノ違フ點モアリマセウガ、  
唯日發ノ例ヲ引キマシタノハ、此ノ會社ヲ  
ドウ云フ方ガ御經營ニナルカ知リマセヌガ、  
ソンナ不績ナコトハナイ積リダト仰シヤ  
ツタガ、日發ハソンナ不績ナコトハナイ  
積リダト押切ツテアノ不績ガ出テ居リマ  
スヨト云フコトヲ参考ニ申上ゲタ、ソレデア  
リマスカラ、出資者ニ對スル待遇ト申シマ  
スカ、ソレヲ何トカ一ツハツキリ致シテ置  
イタ方ガ株式ノ出資者モ其ノ積リデ應ジテ  
來ルダラウト思ヒマス

ソレカラモウ一つ大臣ニ伺ヒタイノデス  
ガ、昨日政府委員カラハ、道家委員カラ其ノ  
社債券ヲ政府ハ幾ラ位引受ケル積リカト云  
フ質問ガアツク時ニ、大體四千万圓位引受  
ケル積リダト云フヤウナ御答辯ガアツタ、  
私ハ其ノコトヲモウ一度伺ツテ見タイト思  
ツテ居ツタ所デアリマスガ、只今大臣ノ御  
話デ見マスト、六億六千万圓、若シ應募者  
カ數會社デ負擔スルカ知リマセヌケレド  
モ、ソレハ會社トシテモ機關ガアリマ  
シテ、例へバ此ノ株ニ應ズルニシテモ、配  
當ガドレダケ貴ヘルトカ貰ヘヌトカ云フコ  
トヲモナコトデアリマスガ、私ハ實ハ六  
億圓ニ對スル四千万圓デハ餘リ少イ、モウ  
ソコニ色々矛盾ガアリマシテ、配當ハ幾ラ  
ヲ最高限度トスルカト云フコトニナリマス  
ト、其ノ最高限度ニ達シナイ場合ハドウス  
ルカト云フヤウナ問題ガ自然起ツテ來ル、  
今日發ノ例ヲ引イテハイカヌト仰シヤル、  
ソレハ色々事情ノ違フ點モアリマセウガ、  
唯日發ノ例ヲ引キマシタノハ、此ノ會社ヲ  
ドウ云フ方ガ御經營ニナルカ知リマセヌガ、  
ソンナ不績ナコトハナイ積リダト仰シヤ  
ツタガ、日發ハソンナ不績ナコトハナイ  
積リダト押切ツテアノ不績ガ出テ居リマ  
スヨト云フコトヲ参考ニ申上ゲタ、ソレデア  
リマスカラ、出資者ニ對スル待遇ト申シマ  
スカ、ソレヲ何トカ一ツハツキリ致シテ置  
イタ方ガ株式ノ出資者モ其ノ積リデ應ジテ  
來ルダラウト思ヒマス

シテシマフト云フ御決意ガアレバ、是ハ洵  
ニ結構ナコトデ何モ申スコトハナイノデア  
リマスガ、サウ云フ御覺悟ヲ以テオヤリニ  
ナリマスカ、昨日ノ御答辯デハ四千万圓ト  
云フヤウナコトデアリマスガ、私ハ實ハ六  
億圓ニ對スル四千万圓デハ餘リ少イ、モウ  
少シ多額ニ政府ガ奮發シテ御持チニナラナ  
ケレバイケナイデハアリマセヌカト云フコ  
トヲ申上ゲヨウト思ツテ居ツタ所、吾々ノ  
豫期以上ニ今大臣カラ御話ガアツタ譯デア  
リマスガ、其ノ點ハ只今御話ノ通り、全部  
デモ政府ガ引受ケテヤツテシマフノダト云  
フ風ニ考ヘテ宜シイノデアリマスカ、モウ  
一度御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○小川國務大臣 堀内君ノ只今ノ御質問ナ  
リ御意見ノ中ノ前段ニ付テ先づ申上ゲマス、  
私が只今申上ゲタコトハ、此ノ帝都高速度  
交通營團ト日發トヲ同ジャウニ見ナイデ、  
組織ナリ、ヤリ方ナリ色々背景ガ違ツテ居  
方ニ一ツモ配當ラシナイノダ、又寄附シロ、  
ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、  
此ノ高速度交通營團ニ出資セラレタ民間ノ  
組織ナリ、ヤリ方ナリ色々背景ガ違ツテ居  
方ニ一ツモ配當ラシナイノダ、又寄附シロ、  
ルト云フ考ヘテ居ルト御話ニナルナラバ、  
斯ウ云フ考ヘテ居ルト御話ニナルナラバ、  
ソレハ全然サウ云フコトデハナイノデアリ  
マス、サウ云フコトヲ言ツタ積リデハナカ  
ソレカラ第二段ノ御質問ハ、私ハ多少問  
答ノ間ニ誤解ガアツタノデハナイカト思ヒ  
マス、四千万圓ト云フノハ、出資者トシテ  
帝國鐵道ガソレダケノ額ヲ出ス、斯ウ云フ  
コトデアリマス、交通債券ヲ四千万圓ト云  
フ意味デハアリマセヌ、交通債券ハ民間ニ  
引受ケテ貴ヒタイト思ヒマスケレドモ、民  
間ガ引受ケナケレバ、帝國鐵道會計ガ之ヲ  
コトデアリマス、交通債券ヲ四千万圓ト云  
フコトニ付テ、民間ノ普通ノ會社ノヤウ  
ノハ、罷リ間違ヘバソレヲ皆引受ケテモ敢テ  
引受ケ得ルト云フコトニ條文ヲ決メテ居ル  
ノハ、罷リ間違ヘバソレヲ皆引受ケテモ敢テ  
辭サナイ、斯ウ云フ決意ヲ示シテ居ル譯デア

リマス、交通債券ハ出資ニ對シテ十倍ト云  
フノデアリマスカラ、出資ガ六千万圓デア  
リマスカラ、其ノ十倍即チ六億圓、其ノ六  
億圓ノ交通債券ト出資ノ六千万圓デ六億六  
千万圓ト云フ數字ガ出テ來ルノデアリマシ  
テ、假ニ政府ガ交通債券ト云フモノヲ全部  
引受ケルトスレバ、六億圓ト政府ノ出資ノ  
四千万圓トデ六億四千万圓ト云フ數字ガソ  
コニ出テ來ル譯デアリマス、ソレ程此ノ地  
下鐵道ノ建設ニ付テ帝國鐵道ガ決意ヲ示シ  
テ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリ  
マス、交通債券ハ願ハタハ、社債券ガ民衆化  
シテ居ル、或ハ市債券ガ民衆化シテ居ル、  
或ハ金融機關ガ引受ケテ居ル、斯ウ云フコ  
トカラ見マシテ、交通債券モドウカサウ云  
フヤウニアリタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデア  
リマス

○堀内委員 私ノ申シタコトモ誤解ヲ招イ  
テハ困リマスカラ一應辯明のニ申シテ置キ  
マスガ、私ガ本案審議ニ付テノ心構ヘハ、  
別ニ民間ノ出資二千万圓ニ對シテ高配當ヲ  
ヤラナケレバイカヌト云フヤウナ考ヘハ毛  
頭持タナイノデアリマス、併シ昨日カラ道  
家委員ト政府委員トノ間ノ質問應答ヲ聽イ  
テ居リマスト、配當ノ限度ハ六朱ニズルノ  
ダト云フ御話ガアツタ、ソコデ若シ六朱ニ  
達シナイヤウナ場合ハドウナルカト云フコ  
トヲ私ガ申上ゲタ、ソレハ昨日大臣ノ御演  
說ノ中ニ、此ノ事業ニ對シテハ政府ハ強力  
ナル監督助成ヲナス、斯ウ云フコトヲ仰シ  
ヤラレテ居ル、又其ノ通リデアラウト思ヒ  
マス、ソコデ私ハ總テノ國策會社ニアリマ  
ス政府ノ保證ガアルカト思ツテ御質問申上  
レデハ何モ關係ガナインカト思ツテ聽イテ

見マスト、場合ニ依ツテハ補助ヲ與ヘル積  
リダ、斯ウ云フ御話ガアリマシタカラ、然  
ラバ其ノ補助ハドノ位ノ程度ニ御出シニナ  
ル積リデアルカ、斯ウ云フコトヲ伺ツタノ  
デアリマス、所ガソレガ補助ハ幾ラト云フ  
限度ハナイト云フヤウナコトデ今問答シテ  
居ツタ所ニ大臣ガオイデニナツタ、斯ウ云フ  
譯デアリマス、私ハ別ニ二千万圓ノ出資ニ對  
シテ配當ヲ取ラセル爲ノ辯護ヲスル譯デモ  
何デモナインデアリマスガ、政府ガサウ云フ  
強力助成ヲシ、又最高限度ノ配當ハ六分  
ノ見込デアリ、又場合ニ依ツテハ補助モス  
ル、斯ウ云フ御話ガ出マシタカラ、ソレナラバ  
成績ガ惡クテ配當ノ出來ナイ時ニハ何分ノ補  
助ヲスルノデアリマセウガ、其ノ金額ハドノ  
位デアルカト聽クト、ソレハ別ニ言ハヌガ、  
是ハ今アル地下鐵道ヲ引受け、今後仕事モ  
シテ行クノダケレドモ、ソンナ不成績ナコ  
トハナイ筈ダ、大キナ配當ハヤラレヌケレ  
ドモ、相當ノ配當ハヤレル積リダ、サウ仰  
シヤラレルカラ、サウ云フ御見込デヤツテ  
モ旨ク行カヌ場合ガ出テ來マス、例ヘバ日  
本發送電ノ如キハ其ノ當時遞信當局ハ大變  
ナ勢ヒデ御話ニナツタノガ此ノ始末デアリ  
マス、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデス、ソ  
コデ後段ノ社債ノ引受モ、私ガ聽違ヘタノ  
カモ知レマセヌガ、昨日ノ質問應答ノ中ニ  
六億ノ交通債券ヲ發行スル、是ハ無論政府  
ガ保證ナサル、若シ交通債券ガ賣レナケレ  
バ政府ハドレダケ引受ケルカト云フ道家委  
員ノ質問ニ對スル政府委員ノ御答ヘヘ、四千  
万圓程度マデ引受ケルト仰シヤツテ居ル、  
サウ云フ所カラ色々今ノ質問應答ガ出テ來  
タノデアリマス、ウシマスト結論ト致シマ  
シテ、此ノ二千万圓ノ出資ニ應ズル出資者

見マスト、場合ニ依ツテハ貰ツテハ困ル、  
居ツタ所ニ大臣ガオイデニナツタ、斯ウ云フ  
譯デアリマス、私ハ別ニ二千万圓ノ出資ニ對  
シテ配當ヲ取ラセル爲ノ辯護ヲスル譯デモ  
何デモナインデアリマスガ、政府ガサウ云フ  
強力助成ヲシ、又最高限度ノ配當ハ六分  
ノ見込デアリ、又場合ニ依ツテハ補助モス  
ル、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ問題ノ解  
決トシテ一ツ御言明ヲ願  
○小川國務大臣 此ノ法律案ヲ御覽戴ケ  
バ、大體ノ筋書ハ書イテアルノデアリマシ  
テ、此ノ營團ハ出資ハ六千万圓デアリマス  
ケレドモ、交通債券ヲ發行シテ六億六千万  
圓ノ資金デヤル、大部分ハ交通債券デヤル  
ト云フ建前デアリマス、ソレデアルカラ此  
ノ交通債券ニ對シマシテハ、元利支拂ヲ保  
證スルト云フコトガ明カニシテアルノデア  
リマシテ、是ハ外ノ國策會社ニモ能クアル  
例デアリマスケレドモ、此ノ營團ハ出資ニ  
對シテ十倍ノ債券ヲ發行スルト云フト、隨  
分大キナ額デアリマス、外ノ國策會社トハ  
大分選ラ異ニシタ所モアルノデアリマスカラ  
、此ノ交通債券ガ旨ク募集ノ出來ルヤウ  
ニ考ヘマシテ、元利支拂ノ保證ト云フコト  
ヲココニ明記シタヤウナ譯デアリマス、ソ  
レデ其ノ保證ニ依ル政府ノ支出ハ、政府ガ  
鐵道會計デ儲ケマシタモノカラ出シテ行ク  
ト云フコトニシテ居ル譯デアリマス、又此  
ニ考ヘマシテ、モウツ大臣ニ伺ヒタイノデス  
ガ、只今ノヤウナ御趣旨カラ割出シテ來レ  
バ御尤モデアリマセウガ、此ノ法案ノ規定  
ヲ見テミマスト、出資者ニハ何等ノ保護モ  
權能モナイヤウデアリマス、商法ノ規定ニ  
依ツテ設立シテ居ル民間株式會社デアリマ  
ス、假令一株デモ株主總會ト云フモノガ  
アツテ發言ノ機會ヲ認メテ居ル、此ノ法案  
ヲ見テミマスト、出資者ハ何等ノ出資者ト  
シテノ發言權ハナインデアリマス、殊ニ民

間會社ニアリマスト、御承知ノ通り定款ノ改正トカ、重要事項ニ付キマシテハ、過半數ノ株主ノ出席ヲ要シマシテ、特ニ不足分ハ委任狀ヲ要スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、本營團ハ色々組織モ違ノデアリマスルカラ、ソレ程ノコトデナクテモ無論宜シイノデアリマセウガ、兎ニ角二千万圓ト云フ出資ヲスル、結局元ハ六千萬圓ガ、社債ヲ募集シテ六億六千万圓ニナルニ致シマシテモ、東京市カラ出資者トンデノ代表者ガ出テ、之ニ何等ノ容喙ガ出來ナイ、又民間ノ出資者モヤハリ其ノ通リデドモ、一般ノ會社デアレバヤハリ定款ノ變更トカ、交通債券ナドヲ發行シマスル場合ニモ、其ノ時々ニ應ジテ色々ナ條件モアルノデゴザイマス、又利益金ノ處分ト云フヤウナコトモアリマスルカラ、サウ云フ場合ニハモウ少シ東京市及ビ民間ノ出資者ノ意見ヲ聞イテ決定ズルト云フヤウナ、機關ヲ御設ケニナツタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマスガ、併シ一方ニ出資者發言ノ途ヲ御開ケニナツテ居タ方ガ宜イカト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○大山(秀)政府委員 只今ノ御意見ハ至極尤モデアリマシテ、出資者ノ意見ヲ重ん

ズル方法ヲ何カ考ヘナケレバイカヌデヤン

イカト云フコトデアリマスガ、此ノ營團法ノ組立カラ申シマスト、大體株主總會ニ當

ルヤウナ事柄ヲ相談スル機關ト致シマシテ

ハ、評議員會ト云フ方ガソレニ當ル譯デアリ

マス、此ノ評議員會ノ構成ニ付キマシテハ、勿論全部トハ參ラナイカモレマセヌガ、

出資者ノ方モ御加ハリニナル場合ガ想像出

來ルノデアリマス、又出資者自體ノ會ト致

シマシテハ、此ノ法律ニハ現ハレテ居リマ

セヌケレドモ、今マデノ恩給金庫其ノ他ノ

例ヲ見マシテモ、定款デ出資者總會ガヤハ

リ設ケテアルノデアリマス、自然重要な事

項ニ付キマシテハ、其ノ出資者總會デ御相

談ガアル場合モアルダラウト思フノデアリ

マスガ、是ハ要スルニ定款事項ニナリマス、

大體出資者トシテノ方面ヲ考ヘテ居ル點ハ、

以上二ツノ方面ニ現ハレテ來ルト考ヘテ居

リマス

○堀内委員 評議員ノコトニ付テ御伺ヒ致

シマス、只今御話ノ評議員會ヲ構成ニナラ

レルノデアリマスガ、其ノ評議員ノ數トカ

評議員ノ資格、大體是ハ諸問機關ノヤウデ

アリマスガ、之ニ對スル諸問題事項ト云フヤ

ウナコトニ付テ、何カ御腹案ガアラウト思

ヒマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大山(秀)政府委員 是ハ只今ノ所マダ案

出資ニナルノデアリマスカ、任意出資ニナ

ルノデアリマスカ、ソンナノハ勿論アルマ

イトハ思ヒマスガ、若シ出資ヲ肯ジナイヤウ

ナモノガアレバ、ソレハ構ハズ放ツテ置イ

テオヤリニナルノデスカ

○大山(秀)政府委員 別論此ノ事業ニ對シ

テ十分ナル御理解ヲ下サイマシテ、之ヲ援

助シテヤラウト云フ御氣持カラ出資ヲ戴ク

ノデアリマシテ、強制スルトカ何トカ云フ

ヤウナコトハ全然考ヘテ居リマセヌ、唯吾

吾市ノ方ニ正式ニ當リ、會社ノ方ニ正式ニ

當ツタコトハナインデアリマシテ、市ガ幾

ラ、會社ガ幾ラト云フコトハ自分達ノ肚積

リデアリマスガ、此ノ程度ノコトハ十分御

援ケ下サルデアラウト云フ信念ヲ持ツテ居

ルノデアリマス、強制出資ト云フ考ヘハ毛

毛

ノヤウナモノノ中ニデモ御定メニナツテ置

ニ密接ナ關係ガアルノデアリマスカラ、勿

頭持ツテ居リマセヌ

○堀内委員 昨日モ大臣カラ道家君ニ對シ

テノ御答ノ中ニ、此ノ營團ノ役員ハ總テ經

驗ノアル人ヲ選ブ積リデアル、經驗ガナケ

面ノ方モ考ヘナケレバナラヌ、又財

業者ノ方カラモ出サナケレバナラヌ、又財

界或ハ此ノ事業ノ學識經驗者ト云フモノモ

勿論考ヘナケレバナラヌ、又關係官廳ノ方

面ノ方モ考ヘナケレバナラヌト云フ風ニ考

ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラソレデハ

ドンナコトヲ相談スルカト云フ御話デアリ

マスガ、是ハママア一口ニ言ヘバ、會社ノ株

出總會ニ付議シナケレバナラヌヤウナ事項、

例ヘバ重要ナ事業計畫トカ、定款ノ變更ト

カ、交通債券ヲ出斯場合トカ、サウ云フ風

ナモノガ主ナル事項デアラウト思ヒマス、

更ニ利益金處分ノ問題、先ニ問題ニナリマ

シタヤウナ問題モ相談スベキモノデアラウ

ト思ツテ居リマス

○堀内委員 民間ノ二千万圓ノ出資ハ強制

出資ニナルノデアリマスカ、任意出資ニナ

ルノデアリマスカ、ソンナノハ勿論アルマ

イトハ思ヒマスガ、若シ出資ヲ肯ジナイヤウ

ナモノガアレバ、ソレハ構ハズ放ツテ置イ

テオヤリニナルノデスカ

トニシタイト云フヤウナ譯デ、大體諒解ヲ求

メテ希望決議ヲ附シテアルノデアリマスル

ガ、恐ラク今日マデ何百ノ希望決議ガ附イテ

居リマセウケレドモ、其ノ希望決議通リニ

行ツテ居ルモノハ私ハ殆ドナイト思フ、議

會中ハ色々ナコトガアツテモ、議會ガ濟ンデ

愈、實行期ニ入リマスト、ドウモソレガ實行サ

レテ居ラヌ、サウ云フコトモアリマシテ、當局

ヲ御疑ヒシテ甚ダ相濟マヌヤウデハアリマス

ケレドモ、折角今大臣ガ御話ニナツタヤウナ

トモアル際デアリマスカラ、大臣ノ御言明

ニナリマシタ役員ニハ經驗ノアル人ヲ採用

スルノダト云フコトヲ、何カサウ云フ勅令

クカ、兎ニ角ソレヲ動カスベカラザル意見  
トシテ後へ残シテ置クヤウナ方法ハナイデ  
アリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス  
○小川國務大臣 是ハ政府ガ總裁、副總裁  
其ノ他理事ヲ任命スル、斯ウ云フコトニ書  
キ現ハシテ居ルノデアリマシテ、總裁、副  
總裁ト云フヤウナ者ニドウ云フ資格ノ者  
ヲ——今ノ御話ヲ取ツテ見マスルト、手腕ノ  
アリ社會ニ信用ノアル一種ノ事業家ト云フ  
ヤウナモノニナルト思ヒマスケレドモ、サ  
ウ云フヤウナ文句ヲ挿ムコトモ、ドウモ是  
ハ法文ノ體裁カラ言ヘバ如何カト思フノデ  
アリマス、其ノ點ハ一ツ御信用ヲ戴クヨリ  
外ハナイノデハナイカ、法文ニサウ云フヤ  
ウナ文句ヲ假令書入レマシテモ、事實任命  
ノ折ニサウ行カナケレバ、是ハ又法文ダケ  
デハドウニモ仕様ガナイノデアリマス、過  
去ノ立法ニ際シテ、帝國議會ガ希望ヲ附シ  
テ決議シタモノガ十分其ノ通りニナラナカ  
ツタコトガアル、ソレハ私モサウ云フコト  
ガアルコトヲ認メザルヲ得ナイト思フノデ  
アリマスガ、併シソレアルガ故ニ茲ニ此ノ  
法文ヲ修正シテ、サウ云フヤウナ文句ヲ挿  
ムト云フコトモ如何カト思フノデアリマシ  
テ、私共ハ帝都高速度交通營團ト云フヤウ  
ナ、今マデ一寸立法例ニモ少イ營團ト云フ  
ヤウナモノヲ拵ヘテ、ソレデ政府ガ殆ド九  
分九厘マデ——例ヘバ六億六千万圓ノモノ  
ニ對シテ交通債券ヲモ引受ケテ、六億四千  
万圓ト言ヘバ殆ド九分九厘マデ政府ガヤツ  
ラバ、是ハ政府ノ責任デアリマス、情實ニ  
テ行カウト云フ決意ヲ示シ居ルノデアリ  
マスカラ、其ノ事業ガ旨ク行カナカツタナ  
ラバ、是ハ政府ノ責任デアリマス、情實ニ  
テ行カウト云フ決意ヲ示シ居ルノデアリ

反スルコト甚シキモノデアリマシテ、政府自身ガ信用ヲ失墜スルコトニナル譯デアリマシテ、又事業ガ成功シナイノデアリマスルト云フコトハ出來ナイノデス、此ノ事業ヲ十分ニ達成シテ行カウト云フ建前カラ民間ノ事業家デアツテ、手腕ノアル、社會ノ信用ノアル者ヲ選ブト云フコトハ必要已ムヲ得ザルコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ事情ヲ一ツ諒トセラレマシテ、多少私共ニ御信用ヲ置イテ戴キタイトと思フノデアリマス、評議員ニハ今大山局長カラ申上ゲマシタヤウニ、或ハ東京市デアリマストカ、關係電鐵事業ヲヤツテ居ラレル方トカ、或ハ學識經驗アル者トカ云フヤウナ方カラ選ブコトニ致シマスカラ、必ズシモ事業家デ自分ガ局ニ當ル者タルコトヲ要セナイノデ、評議員ニハ評議員ノ使命ト云フモノガアリマスカラ、其ノ選任ノ仕方ハ、又ソレニ相應シイヤウナ選任ヲシナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマステ任命サレルト云フコトニナルノデアリマスカ、勅裁ニ依ツテ任命サレルト云フコトニナリマシテモ、マア實際ノ實權ハ變ラナイヤウデゴザイマスガ、此ノ會社ハ帝都ノ交通ノ最要點ノ地下鐵道ニ關スルモノデ、國防上ニ非常ニ關係ノ深イモノデアリマス、斯ウ云フモノコソ總裁、副總裁等ハ大イニ帝都ニ於テ仕事ヲスルト云フ責任ヲ大イニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスルガ、是コソ總裁、副總裁ハ勅裁ヲ以テ之ヲ命ズルト

○小川國務大臣 勅裁ヲ經テト云フコトハ、實ハ政府ノ任命スル手續上ノコトデアリマシテ、之ニ手腕ノアル者トカ、力量ノアル者トカ、或ハ信用ノアル者トカ、力量ノウナ堀内君ノ只今申サレマシタヤウナ、サウ云フ意味ガ之ニ含蓄サレテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス、唯勅裁ヲ經テト云フ念ノ入ツタ手續ヲシテ居ルト云フコトハ同ジコトデアリマス、政府ハ之ヲ命ズト云フ選任ノ仕方ガ一番問題ニナルノデハナデアリマシテ、政府ガ之ヲ命ズト云フコトイカト考ヘルノデアリマス、茲ニ日發ノヤウニ致シマセヌデ、政府之ヲ命ズト云フコトニ致シマシタノハ、一ツノ營團ト云フ考ヘデ出來テ居リマスル法律ガ——庶民金庫デアルトカ、其ノ他例ガ幾ツモアリマスガ、其ノ例ガ斯ウ云フ風ニシタノデアリマスカラ、立法ノ體裁上カラ致シマシテ、ソレニ倣ツテ斯ウ云フ風ニシタノデアリマス、ケレドモ前申シマス通リ人選ニ付キマシテハ、十分ニ仕事ガ出來ルヤウニト云フ所ニ重キヲ置キマシテ、慎重ニ之ヲヤツテ行クト云フ考ヘデアリマス

○堀内委員 少シ質問ノ順序ヲ飛バシテ大臣ニモウ一點是非御伺ヒ致シタイコトガアルノデスガ、午後少シ時間ヲ戴クコトニシスガ、此ノ法案ノ第五十二條ニ、今回ノ買收、譲渡ノ場合ニ於キマシテ、交通事業調整

團ニ事業ノ讓渡ヲナシタル場合ハ、色々ノ  
税金ガ免除サレルノデアリマス、例ヘバ超  
過所得ナドニ依ツテ、此ノ買收價額ガ假  
價デドウ云フ結果ニナルカヘ判リマセヌガ  
超過所得其ノ他ヲ税金トシテ負擔シマスト  
六六%課カル、例ヘバ五百万圓ニ付テ三百三  
十万圓ノ税金ヲ取ラレルコトニナルノデア  
リマスガ、ソレガ交通營團ニ總テノ建設設  
ヲ讓渡シタ場合ニハ、是ガ免除サレルコト  
ニ此ノ法案ハナツテ居ルノデアリマス、併  
シナガラ之ト同一ノモノヲヤハリ交通事業  
調整法ノ命令ニ依ツテ、今後他ノ「プロ  
ク」ト申シマスカ、例ヘバ東京市及ビ各會  
社等ノサウ云フ組織ノモノニ讓渡スルコト  
ニナリマスト、其ノ税金ノ免除ノ恩典ガナ  
イノデアリマス、同ジモノヲ讓渡シテ、一  
方ハサウ云フ巨額ノ税金ガ免除サレル、一  
方ハ其ノ税金ノ免除ガナイ、斯ウ云フ非常  
ニ不公平ナコトガ茲ニ起ツテ來ルノデアリ  
マス、是ニ於テ私ハ結果ニ付テ心配ノ點ガ  
起ツテ參リマシタノハ、此ノ市ニ讓渡スル  
場合ト、會社ニ讓渡スル場合トハ色々内  
ニ於テ違フ所ガ出テ來ルノデアリマス、例  
ヘバ會社同士ノ合併トカ、讓渡ト云フコト  
ニナリマスレバ、相當其ノ利益金ノ問題ト  
カ、サウ云フヤウナコトニ付キマシテ、別  
ニ脱税ヲ致ス譯デハアリマセヌレドモ、  
合併ノ形式ニ依ルトカ、何カソコニ方法ガ、  
今時の確ニハ考ヘテ居リマセヌガ、アルノデ  
ナナイカト思フノデアリマスルガ、東京市  
路面軌道、バス等ヲ讓渡スルト云フ場合ニ  
ハ、合併ノ形式等ハ取レズ、價格ガハツキ  
リ決定スルノデアリマシテ、少シモ餘地ガ

後ノ四「ブロック」ノ統制ガ順次行ハレルコトニ決定トニナリマシテ、東京市ノ統制スベキ其ノ範圍ノモノハ東市京へ譲渡スルコトニ決定シテ御命令ガアルト思ヒマスガ、其ノ分ハ只今申上デタヤウニ超過所得ニ對シテ六六%、結局五百万圓ニ對シテ三百三十万圓ト云フ巨額ノ稅金ヲ取ラレルコトニナル、會社ニ對シテハ多少何等カノ方法ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、大體是モ取ラレルト覺悟シナケレバナラヌ、只今斯ウ云フコトニ對シテハ多少何等カノ方法ガアルノナリマス此ノ儘押切ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、交通營團ハ是デ免除サレル、政府ガソレダケ強力ナ助成ヲスルト云フコトハ洩ニ結構デアリマス、所ガ何年カノ後ニ東京市ガ東京市全體ニ向ツテ大交通統制ヲヤラウト云フヤウナ意見モ相當アルヤウデアリマスガ、是ハ實行出來ルカ出來ヌカハ別個ノ問題ト致シマシテ、東京市ガ東京ノ交通ヲ統制スルト云フ意見ニ對シ、若シ之ヲ實行シヨウト云フ時ニ、是ガ一つノ大障礙ニナツテ、茲ニ壁ヲ作ツテシマフコトニナリハシナカト思フ、ナゼカナレバ東京市ヘ譲渡スルト云フコトニナルト、今ノヤウナ過重ナル稅金ヲ取ラレル、是ガ民間會社同士デ統制ヲシテ、私設經營ノヤウニアレバ、ソレハ會社ガ解散スルトカ合併スルトカ何カノ方法デ免除サレルカモ知レナシ、斯ウ云フコトニナリマスルト、モウ東京市ヘ統制スルト云フコトノミハ、此ノ一箇ト御研究ヲ執ラレテ行クコトガ至當點カラ言ツテモ甚ダ難カシイ問題ニ私ハ逢着スルノデハナカト思フ、殊ニ今後マダ中々、此ノ時局ニ際シテ稅金ガ輕減サレルト云フ見込ハナインデアリマスカラ、稅金ガ加重サレバ加重サレル程、其ノ問題ガ深刻ニナツテ來ル、賣ル方ハ同ジモノヲ賣

ル、買手ニ依ツテ交通營團ニ賣ツタ時ハ稅金ガ何百万圓免除サレル、東京市ニ讓ツタ場合ニハ、ソレガ免除サレナクテ稅金ヲ取ラレル、サレバトテソレダケ價格ヲ高ク買ツテ貴フト云フコトモ到底出來ナイト思フ、會社同士デ相談シタラドウ云フコトニナサルカ知リマセヌケレドモ、東京市ノ如キ公共團體トシテ、サウ云フ稅金ヲ代納スルヤウナモノヲ高ク買フト云フヤウナコトハ出來ナイダラウト思ヒマスガ、結局其ノ分ヲ高ク買ハネバナラヌ事ニアリハセヌカ、是ガ今後ノ大統制ヲ行ヒマス場合ニモ非常ナ問題ニナツテ來ル、東京市ノ立場カラ致シマシテモ、是ハ非常ニ困ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ私今此處デ、直チニ大臣ノ御答辯ヲ得タトイ申スノデハナインデアリマス、是ハ獨リ鐵道省ノミノ御裁定デモイクマイト思ヒマス、大藏省ノ方ニモ關係ヲ及ボシテ居る問題デアリマスガ、是ハドウシテモドツチカ一方付ケテ公平ニヤラスト、交通營團ノ方ハ折角大藏省カラ是マデニシテ下スツテ、ソレハ稅金ヲ取ラナクテ宜シト云フコトノ御相談ノ結果デアリマセウガ、然ラバヤハリ同ジ事業ヲ經營シ、同ジ經路ヲ辿ツテ、同ジ性質ノモノヲ讓渡スルトスレバ、公平ニ同一様ノ御處置ヲ執ラレテ行クコトガ至當デアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ、篤ト御研究ヲ願フト云フコトハ甚ダ失禮ナシ申分デアリマスケレドモ、只今ソレト同ジ平等ナ扱ヒガ出來ルノダト云フコトノハツキリシタ御答ヘガ得ラレバ結構デアリマスガ、サウデナケレバ、是ハ實ニ重大ナコトデアリマスカラ、篤ト御相談フ願ツテ、後ノ機會ニ於テ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○清水(徳)委員 一寸關聯シテ……先程堀内君ト鐵道省當局トノ質問應答ヲ聽キ、昨日又道家サント鐵道省當局トノ質問應答ヲ取ラレル、サレバトテソレダケ價格ヲ高ク買ツテ貴フト云フコトモ到底出來ナイト思フ、會社同士デ相談シタラドウ云フコトニナサルカ知リマセヌケレドモ、東京市ノ如キ公共團體トシテ、サウ云フ稅金ヲ代納スルヤウナモノヲ高ク買フト云フヤウナコトハ出來ナイダラウト思ヒマスガ、結局其ノ分ヲ高ク買ハネバナラヌ事ニアリハセヌカ、是ガ今後ノ大統制ヲ行ヒマス場合ニモ非常ナ問題ニナツテ來ル、東京市ノ立場カラ致シマシテモ、是ハ非常ニ困ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ私内務大臣ガ帝都ニ對シテドウ云フ防空施設ト抱負ヲ持ツテ居ラレルカ、是ハ本案ヲ申スノデハナインデアリマス、是ハ獨リ鐵道省ノミノ御裁定デモイクマイト思ヒマス、大藏省ノ方ニモ關係ヲ及ボシテ居る問題デアリマスガ、是ハドウシテモドツチカ一方付ケテ公平ニヤラスト、交通營團ノ方ハ折角大藏省カラ是マデニシテ下スツテ、ソレハ稅金ヲ取ラナクテ宜シト云フコトノ御相談ノ結果デアリマセウガ、然ラバヤハリ同ジ事業ヲ經營シ、同ジ經路ヲ辿ツテ、同ジ性質ノモノヲ讓渡スルトスレバ、公平ニ同一様ノ御處置ヲ執ラレテ行クコトガ至當デアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ、篤ト御研究ヲ願フト云フコトハ甚ダ失禮ナシ申分デアリマスケレドモ、只今ソレト同ジ平等ナ扱ヒガ出來ルノダト云フコトノハツキリシタ御答ヘガ得ラレバ結構デアリマスガ、サウデナケレバ、是ハ實ニ重大ナコトデアリマスカラ、篤ト御相談フ願ツテ、後ノ機會ニ於テ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀内委員 事案ノ第二十七條ニ「事業ノ讓受代價ニ付テハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ支拂保證アル交通債券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得」ト書イテアリマスガ、「得」ト云フコトハ全部ヲ交通債券デ渡シ得スルコトニナルノデアリマセウカ、凡ソ會社解散資金ナドノ現金ヲ幾分要スル譯デアリ

明申上ゲマシタ如ク、評價ト云フヤウナモノ、殊ニ鐵道、軌道及ビ自動車、運輸事業ニ對スル評價ニ付キマシテモ、色々ノ考ヘ方ガアリ得ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ其ノ現實ノ場合ニ即シテ、總テノモノガ大體妥當ダト思ハレル評價方法ガ宜イノデ、ソレニハ調整委員會ニ諮問シテ決メルコトガ一番宜イト考ヘルカラ諮問シテ決メルノダ、サウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ諮問スル場合ニ於テ、鐵道省モ之ニ對シテ重大ナル關係ガアルコトニナツテ居ルノデ、其ノ基準ガアルダラウ、斯ウ云フ急ツ込ンダ御話グラウト思ヒマスガ、ソレニハマア鐵道或ハ軌道デアレバ、地方鐵道法ノ買收ノコトモ標準ニナリマセウシ、或ハ株ノコトモ考ヘラレマセウシ、色々ノ考ヘ方ガアリ得ルト思ヒマス、自動車ニ付テハ偶々自動車營業廢止補償ノ規定モ参考ニハナリマセウ、併シナガラサウ云フ規定ニ一概ニ依ルト云フ譯デハナイノデアリマシテ、唯サウ云フヤウナモノガ可ナリノ参考ニハナリマセウガ、ソレドヽ其ノ時ノ事情、諸般ノ關係ヲ能ク見極メマシテ、調整委員會ニ於テ是ガ評價サレルコトダト考ヘテ居リマス

ニシマシテモ一坪五十圓デ作ツタ家ガニ百  
圓モ掛ルト云フ狀態デアル、サウ云フ場合  
機關デアルトハ云ヒナガラ、其ノ建設費ヲ大  
方基礎トスル所ノ法案ガ出来テ居ルヤウデ  
アリマスガ、ソレデ抑ヘヨウト云フコトハ  
少シ殘酷デハアリマスマイカ、然ラバト云  
ツテ、サウ無暗ニ世間ノ物價ノ標準ノ變動  
ニ依ツテソレヲ動カス譯ニハ參ラナイデセ  
ウガ、今日ノ情勢ニ於テ、又將來性ニ鑑ミ  
テ、サウ云フコトヲ御斟酌ナサル必要ガア  
ルノデハナイカ、只今申上ガル場合デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先年何カノ委員會ニ  
於テ申述ベタ事デアリマスガ、例ヘバ鐵道  
國有法ニ致シマシテモ、以前ハ五分ノ利率  
標準トシテ價額ガ設定サレタノデアリマス  
ガ、今日ハ三分五厘ト云フコトニナツテ居  
ル、是等ハ元本カラ見マスト、時價ニ換算  
スルト稍同ジヤウナモノニナルノデアリ  
マスケレドモ、利息ヲ以テ衣食ヲシテ居ル  
者ニ取りマシテハ、例ヘバ千圓ノ公債ヲ戴  
イテモ、五分利デアレバ五十圓ノ收入デア  
ル、三分五厘ナラ三十五圓シカナラナイト  
云フヤウナコトデ、公債ヲ持ツテ、其ノ公  
債ノ利息デ生活ヲシテ居ル、或ハソレデ何  
カモノヲ買ツテ居ルト云フヤウナ者ニハ、  
非常ナ不利益ヲ來シテ居ルノデアリマス、  
サウ云フ事モアルノデアリマスルガ、ソレ  
等ノコトハ唯政府ノ方針デ變ツテ來ルノダ  
カラト云フコトデナシニ、幾ラカ將來性ヲ考  
ヘタリ、今日此ノ鐵道ハ建設費ガ幾ラニ當  
ルト云フコトヲ幾分斟酌ヲスルト云フヤウ  
ナ取扱ヒガ妥當デアルト思ヒマスガ、其ノ

ツタ爲ニ、少シ堀内サン誤解ヲサレテ居ル點  
ガアルト思ヒマスガ、私ハ地方鐵道法ヲ基  
準トシテ決メルノダトハ申シテ居ラナイノ  
デアリマス、評價ノ方法ニハ地方鐵道法ニ  
依ツテノ評價方法モアルシ、株式ヲ土臺ト  
シタ評價方法モアル、又更ニ日發ノヤウニ  
収益還元ト建設費トノ折半ノ方法ヲ執リ得  
ルコトモアル、サウ云フ色々ナ方法ガアル  
ガ、ソレ等ハ参考トナルノダ、殊ニ此ノ評  
價ヲスル場合ニ於テ調整委員會ニ掛ケル場  
合ニ於テハ、諸般ノ事情ヲ考ヘナケレバナ  
ラナイ、殊ニ地下鐵ノ如キハ建設後暫クノ  
間ハ直チニ収益ノナイモノデアルガ年月ノ  
經ツニ從ツテ収益率ノ上ルモノデアル、將  
來性ノアルモノデアルト云フ見方モアル、  
併シナガラ唯其ノ見方モアリ得ルノデアリ  
マシテ、ソレ等ヲドレダケ考慮スルカト云  
フコトハ、諸般ノ事情ヲ見極メテカラ定メ  
ルベキモノデアツテ一概ニ或ル基準ニ依ラ  
ウ、斯ウ云フ風ニスペキモノデハナイカラ  
調整委員會ニ掛ケテ決メルノダ、斯ウ云フ  
風ニ御話シタ積リデアリマス  
○堀内委員 調整委員會ニ諮問シテ御決メ  
ニナルト云フ意味ハ、今色々ノ例ヲ御引キ  
ニナツタヤウデアリマスガ、私ガ申上ゲタ  
ヤウナコトモ御斟酌ニナル餘地ガアルト考  
ヘテ宜シウゴザイマスカ

○鈴木(清)政府委員 諸般ノ事情ヲ考慮シ  
テ決メルト云フコトヲ申シテ居リマス  
○堀内委員 軌道ハソレデ結構デスガ、「バ  
ス」ノ評價ト云フコトハ中々ムヅカシイコ  
トデ、私ハ先般交通調整委員會ノ第一回ノ  
總會ノ時ニ、「バス」ノ評價ト云フモノハ一體  
ドウシテ決メルカト云フコトヲ御質問申上  
ゲテ、鈴木サンノ御答辯ヲ戴イタコトガア

ツタノデアリマスガ、ドウモ「バス」ト云フモノノ評價ヲ何レニ決メルカト云フコトニ付テ、今日マダ私ニハ分リマセヌ、ドウ云フ方法ニ依ルカ分リマセヌガ、偶々昨年デアリマスカ、大阪市ガ「バス」ヲ買收シタ時ノ評價ノ標準ヲ聞イテ見マスト、大體過去五箇年間ノ實績ヲ基礎トシテ七分環元ノ方法ヲ以テ決メタト云フコトデアル、頗る當ヲ得タ方法デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、「バス」ノ買收ニ付テハ斯様ナモノヲ標準ニデモシテ御決定ニナル御考ヘガアルデアリマセウカ、又ハ何カ是デナク他ニスウ云フ方法ガアルト云フヤウナ御腹案デモアリマシタナラバ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

事情ヲ能ク斟酌シテ、妥當ダト思ハレル評價ヲスル外方法ハナイノデハナイカト考へテ居リマス

○堀内委員 「バス」ノ買收ノコトニ付キマシテ、鐵道ノ買收ノ方法ハ既往三箇年間ノ實績ガ基準ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、全ク今御話ノ通リ「ガソリン」規正ナドニ依リマシテ、此ノ一、二年ノ間ノ標準ト云フモノハ殆ど取レナイ、ソレデ五年位遡ツテ作ルコトガ宜イノデヤナイカト考ヘマス、又大阪市モサウ云フ事情デ出來タモノダラウト思ヒマス、適當ナ方法ヲ御講シニナルト云フコトデアリマスカラ、ソレ以上ハ別ニ申上ゲマセヌ、尙ほ第三十七條ニ關聯シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、一體交通營團ヲ監督スルト云フコトニ付キマシテハ、先刻モ大臣御言明ノ通り、強度ニ考ヘテ居ル、一面國防上ノ必要モ非常ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居リマスルシ、監督ヲ十分ナサラナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、是ニ於テ考ヘマスコトハ、日本發送電ノ例ヲ度々引イテ變ナヤウデアリマスケレドモ、電氣廳ト云フモノガアツテ之ヲ監督シテ居ラレルガ、アレガ頗ル邪魔ニナツテ餘り監督ノ實モ舉ツテ居ラナイヤウデスガ、此ノ營團ニ付キマシテハ何カヤハリサウ云フ監督機關ヲ御持ヘニナル御積リデアリマスカ、アア云フモノハ却テナイ方ガ私共ハ結構ダト思フノデスガ、其ノ點ハドウ云フ御考ヘデスカ

○大山(秀)政府委員 監督ノ爲ニ特別ノ機關ヲ作ルカト云フ御尋ネダト思ヒマスガ、サウ云フモノハ全然考ヘテ居リマセヌ、能ク特殊會社ヲドニアリマスヤウナ專門ノ監理官ト云フ制度モ此ノ法案デハ考ヘテ居ナイテ居リマス、今御質問ノヤウナ機關ヲ特殊ニ作ルト云フコトハ、全然豫定シテ居リマセス

○堀内委員 第四十條ニ「地下埋設物ノ移轉其ノ他ノ工事」トアリマスガ、是ハ昨日道案委員カラ御質問ニナツテ、政府委員カラ御答ヘニナツテ居ルヤウデアリマスガ、私ガアリマスノデモウ一度御伺ヒ致シマス、地下埋設物ハ此處ニハツキリ「地下埋設物」ト書イテアリマスカラ、瓦斯線、電燈線、電話線、上水道、下水道等ハハツキリ致シマスガ、「其ノ他ノ工事」ノ意味デス、之ニハ道路工事、地上線路其ノ他ノモノガ入ツテ居ルノカドウカ、ソレカラ是ハ道家委員カラモ申上ゲタヤウデアリマシタガ、此ノ條文カラ行キマシテ、主務大臣ガ之ヲ認可スルコトニナツテ居リマス、ドウモ工事ヲ營ム場合ニ於テ、地上ノ色々ナ工事ニ於テ手間ガ取レテ困ル、殊ニ今度ノ場合ハ急速ニヤツテ此ノ時局ニ對處シヨウト云フ工事デアリマスルカラ、認可ヲ申請シタ場合ニ、途中デ愚圖々々サレテ居ツテハ工事が進捗サレナイコトハ申スマデモナイ、テ申シマスト、既ニ道路ヲ占用シテ居ルモノニ付テノ規定デアリマシテ、道路ノ占用四十條ニハ含マレテ居ラヌト解釋シテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ規定ハ道路ニ付テ申シマスト、既ニ道路ヲ占用シテ居ルモノニ付テノ規定デアリマシテ、道路ノ占用其ノコトハ同條ニハナクシテ、既ニ地方鐵道法ニ依ツテ免許制ニナツテ居リマスノデ、地方鐵道法ノ四條ニ依ツテ、ソレノト思ヒマス、併シ手續ハサウ云フ風ニ別ニ執リマスニシテモ、事實ハ出來ルダケ迅速ニ協力ヲスルヤウナ態度デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀内委員 此ノ四十一條ニ「本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間本法施行後新設又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム地下高速度鐵道事業ニ依ル所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ他ノ路線ニ付キマシテモ、全部ソレヲ「其ノ他ノ工事」ノ中ニ入レテ、主務大臣ガ之ヲ御認可ニナルト云フヤウナ御方針デアリタ分、サウ云フ場合ニ此ノ所得ト云フモノハハツキリ分類シ得ルノデアリマセウガ、今開業シテ居ル所ノ路線ノ一部ヲ增設シタ分ハ其ノ收入ハ幾ラデ其ノ所得ハドウナツ通り、軌道ノヤウナモノヲ申スノデアリマス、尙ほ是等ノ工事ノ爲ニ、手續ニ手間ガ掛ツテ非常ニ困ルト云フ御話デアリマシタガ、サウ云フ關係ノ工事等ニ付テハ、何レ關係者ガ集マツテ、協議會ノヤウナモノデモ作ツテ、迅速的確ニ手續ヲ運ンデ、急速ニ地下鐵ノ敷設ガ出來ルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中説明員 其ノ他ノ工事ト申シマスト、昨日大山政府委員カラ御答ヘニナリマシタ

マスカ

○田中説明員 其ノ他ノ工事ト申シマスト、昨日大山政府委員カラ御答ヘニナリマシタ

マスカ

○田中説明員 其ノ他ノ工事ト申シマスト、昨日大山政府委員カラ御答ヘニナリマシタ

マスカ

マスカ

○堀内委員 只今ノ御答ヘハ、軌道ダケノ場合ハ宜シイ、道路工事ノヤウナモノハドウナリマスカ、「其ノ他ノ工事」ト云フモノノ範圍ニ入レテモ宜イト云フノデアリマスカ○田中説明員 道路ノ占用ニ付テハ、此ノ家委員カラモ申上ゲタヤウデアリマシタガ、此ノ條文カラ行キマシテ、主務大臣ガ之ヲ認可スルコトニナツテ居リマス、ドウモ工事ヲ營ム場合ニ於テ、地上ノ色々ナ工事ニ於テ手間ガ取レテ困ル、殊ニ今度ノ場合ハ急速ニヤツテ此ノ時局ニ對處シヨウト云フ工事デアリマスルカラ、認可ヲ申請シタ場合ニ、途中デ愚圖々々サレテ居ツテハ工事が進捗サレナイコトハ申スマデモナイ、テ申シマスト、既ニ道路ヲ占用シテ居ルモノニ付テノ規定デアリマシテ、道路ノ占用四十條ニハ含マレテ居ラヌト解釋シテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ規定ハ道路ニ付テ申シマスト、既ニ道路ヲ占用シテ居ルモノニ付テノ規定デアリマシテ、道路ノ占用其ノコトハ同條ニハナクシテ、既ニ地方鐵道法ニ依ツテ免許制ニナツテ居リマスノデ、地方鐵道法ノ四條ニ依ツテ、ソレノト思ヒマス、併シ手續ハサウ云フ風ニ別ニ執リマスニシテモ、事實ハ出來ルダケ迅速ニ協力ヲスルヤウナ態度デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀内委員 四十七條ノ營團ヲ組織スル場合ニハ、設立委員ト云フモノヲ御設ケニナリマスガ、此ノ設立委員ノ人數ト資格——ドウ云フ人ヲ設立委員ニ御任命ニナルト云フヤウナ御腹案ガアリマスレバ、一寸伺ヒタイト思ヒマス

マス

○堀内委員 四十七條ノ營團ヲ組織スル場合ニハ、設立委員ト云フモノヲ御設ケニナリマスガ、此ノ設立委員ノ人數ト資格——ドウ云フ人ヲ設立委員ニ御任命ニナルト云フヤウナ御腹案ガアリマスレバ、一寸伺ヒタイト思ヒマス

マス

マス

○堀内委員 四十七條ノ營團ヲ組織スル場合ニハ、設立委員ト云フモノヲ御設ケニナリマスガ、此ノ設立委員ノ人數ト資格——ドウ云フ人ヲ設立委員ニ御任命ニナルト云フヤウナ御腹案ガアリマスレバ、一寸伺ヒタイト思ヒマス

マス

マス

○堀内委員 四十七條ノ營團ヲ組織スル場合ニハ、設立委員ト云フモノヲ御設ケニナリマスガ、此ノ設立委員ノ人數ト資格——ドウ云フ人ヲ設立委員ニ御任命ニナルト云フヤウナ御腹案ガアリマスレバ、一寸伺ヒタイト思ヒマス

マス

マス

○堀内委員 此ノ五十一條ニ「必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテハ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ、何カ勅令要綱ノヤウナモノガ居リマスガ、其ノ他ノ路線ニ付キマシテモ、事實ハ出來ルダケ迅速ニ協力ヲスルヤウナ態度デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀内委員 此ノ五十一條ニ「必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテハ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ、何カ勅令要綱ノヤウナモノガ居リマスガ、其ノ他ノ路線ニ付キマシテモ、事實ハ出來ルダケ迅速ニ協力ヲスルヤウナ態度デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

マス

勅令ヲ以テ定メラレル旨ノ規定ガアリマシ

テ、其ノ勅令ノ内容ヲ知リタイト仰セラレ

ルコトハ御尤ナコトト思ヒマス、併シナガ

ラ此ノ勅令ハマダ關係官廳ト所謂完全ナル

諒解ヲ得タ所ノ勅令ニハナツテ居ラナイノ

デアリマス、是ハ總テノ勅令ガ實際其ノ勅

令ヲ施行スル前ニ於テ、各關係官廳トモ完

全ナ諒解ヲ得ルノヲ常態トシテ居リマスル

關係カラ見テモ當然ナコトト思ヒマスルガ、

併シ大體此ノ勅令ニ對スル吾々ノ心組、腹

案ト云フモノガアルノデアリマシテ、其ノ

點ヲ御承知ニナリタイノダラウト思ヒマス

サウデアリマスカラ御知ラセ致シマス、

○堀内委員 勅令ノ要綱ヲ御請求申上ダマ

シタ點ハ、只今ノ御話デ結構デアリマス、

從來色々法律ヲ審議スル時ニハ、中々ヤカ

マシク議論シテヤルノデアリマスガ、往々

ニシテ勅令ノ出ル時ニハ、魂ガ抜カレテシマ

ツタヤウナ勅令ガ出デ、呆氣ニ取ラレタヤ

ウナゴトガアルノデアリマス、殊ニ選舉法

等ニキマシテハ、中々サウ云フコトノ議

論ガ多イノデアリマスガ、勅令要綱ハ御草案

ガオアリニナレバ拜見出來ル譯デアリマス

ガ、尙ホ本案審議ノ實際ニ則リマシテ、コ

ンナコトガアツタコト云フヤウナ新規ナ問

題ニ逢着シナイヤウナ取計ヒヲ願ヒタイト

リマス

尙ホ委員長ニ申上ダマスガ、大體是デ私

ノ質問ハ終了致シマシタ、唯午前中ニ大臣

ニ御伺ヒ致シタ第五十二條ノ稅金ノ問題、

是ハ留保致シマシテ、又適當ノ時機ニ御答

辯ヲ願フコトニ致シマス、私ノ質問ハ是デ

### 終リマス

○堤委員長 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○堤委員長 速記ヲ始メテ下サイ、ソレデ

ハ田中好君

○田中(好)委員 大臣ハ見エラレマセヌカ

○堤委員長 間モナク來ラレル筈デアリマ

ス

○田中(好)委員 ソレデハ大臣ニ對スル質

問ハ留保シテ置キマス——大體堀内君カラ

質問サレテ私ノ間ハントスル所ハ大分明瞭

ニナリマシタシ、又只今委員長カラノ御話

モアリマシタノデ簡單ニ質問シタイト思ヒ

マス、此ノ營團ハ資本金六千万圓、政府出

資四千万圓、ソレニ交通債券五億圓ヲ發行

シテ以テ此ノ事業ヲ遂行シヨウト云フ計畫

ニナツテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク

地下鐵ハ建設ニ非常ニ金ヲ喰フノデアリマ

シテ、工事ノ施行モ中々容易デアリマセヌ、

現在ヤツテ居ル東京地下鐵道ニ致シマシテ

モ、淺草新橋間、アノ僅カノ間ニ於テ四千

五百万圓ノ經費ヲ投ジテ居ルシ、高速度鐵

道ニ致シマシテモ、新橋濱谷間ニ於テ二千

七十九「キ

ロ」當リノ單價ヲ見マシテモ非常ナ金ヲ喰

ガ、尙ホ本案審議ノ實際ニ則リマシテ、コ

ンナコトガアツタコト云フヤウナ新規ナ問

題ニ逢着シナイヤウナ取計ヒヲ願ヒタイト

リマス

マスル路線、ソレカラ東京都市計畫ガ決定致シマシタ高速度鐵道網トドウ云フヤウナ

關係ニ於テ建設セラルルカ、或ハ又何年カ

ラ何年ノ間ニ於テ建設セラレルノカ、此ノ

三點ヲ御説明願ヒタインデアリマス

○鈴木(清)政府委員 私カラ御答ヘ申上ダ

マス、現在ニ於キマスル内閣ニ告示致シマシタ

所ノ地下鐵道ノ路線網ト云フモノハ大正十四

年頃ニ決リマシタモノデゴザイマシテ、只

今大體ノ吾々ノ氣持ト致シマシテハ、此ノ

路線ヲ行フコトガ宜イノデハナイカトモ考

ヘラレマスルガ、併シナガラ大正十四年時

代トハ可ナリ交通ノ流レ其ノ他ガ違ツテ居

リマスノデ、之ヲ此ノ儘施行スルガ宜イカ

ドウカハ内務當局ノ都市計畫ノ方ト相談ヲ

シテ見ル必要ガアルノデハナイカ、若シモ

都市計畫ノ方デ再検討ヲスル必要ガアルト

考ヘラレルナラバ、一應再検討シナケレバ

ナラヌノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリ

マス、隨テ其ノ何レノ路線カラ着手スルヤ

ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、勿論未ダ

正式ニ決ツテ居リマセヌ、併シナガラ御話

出來マスノハ、四谷、赤坂見附間ノ如キハ、

直線デモアリマスルシ、相當調査モ出來テ

居リマス、又濠ノ下ヲ通りマス工事關係カ

ラ割合早ク出來マスノデ、斯ウ云フ點ニ付

テハ格段早ク出來ルデハナイカト云フヤウ

ルガ、其ノ收支豫算書ニ付テハ說明員カラ

見ノ體裁ト致シマシテ順ヲ追ツテ申上ダ

ス、先ツ設立トカ目的及ビ事業トカ云フ

モノハ本法ニゴザイマス通リデ、又御質問

ノ主要ナ點デハナク、御質問ノ主要ナ點ハ

財政計畫ニアルト拜察致シマスノデ、其ノ

點ニ付キマシテ御説明申上ダマス、資本金

ハ本法ニゴザイマス通リニ六千万圓デゴザ

イマシテ、第一回ノ拂込ヲ四分ノ一千五百

万圓ト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、建設

ノ主要ナル資金ハ度々政府委員カラ説明ガ

ナツテ居リマス、勿論出資ノ拂込金額モ建

設ニ當テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次

第デゴザイマス、ソレデ結局只今ノ御話ハ

ナツテ居リマス、收資豫算ト云ツタヤウナコトノ御質問ダト

思ヒマスガ、先ツ建設ノ方カラ申上ダマス

ト、今御質問ノ中ニゴザイマシタ通リニ、

現在ノ地下鐵ニ致シマシテモ、其ノ建設費

ハ非常ニ多額ニ上ツテ居リマス、私共ノ常

識ト致シマシテモ、大體一「キロ」當リ五百万

圓ト云フノガ從來ノ常識デナカツタカト考

ヘルノデゴザイマスガ、曾テノ建設當時ヨ

リモ物價、勞銀其ノ他諸般ノ昂騰ヲ示シテ

リマス、ソレカラ收支豫算書ニ付キマシテ

ハ、大體昭和十六年ノ秋ニ此ノ營團が設立

ル次第デゴザイマス、併シナガラ實際建設

第六類第十四號 帝都高速度交通營團法案委員會會議錄 第三回 昭和十六年一月七日

致シマス時ニハ、或ハ地盤ガ良好デソレ程掛ラナイモノモ出テ參リマセウシ、又所ニ依リマシテハ非常ナ難工事デ、ソレ以上ニ費用ヲ要スル所モ出テ來ルカト存ジマスガ大體平均七百五十万圓デ大シタ狂ヒハナカラウカト考ヘテ居リマス、詰リ七百五十万圓ト致シマスト、只今仰セラレマシタ通りニ、大體豫定線ガ七十キロ程ゴザイマスルカラ、五億二千五百万圓ニ相成ルノデアリマス、ニ現在線ノ事業ノ讓り受代價ヲ加ヘマシテ、其ノ外ニ流動資金トシテノ豫備モ加ヘマシテ、六億六千万圓ニハマダ多少餘裕ガゴザイマスノデ、將來ヤツテ見マシタ結果、意外ニ工事費ガ掛ルトカ、或ハ將來物價ガ非常ニ上ルトカ云フ風ナ、現在豫想シナイ事實ガ起リマシタ場合ハ兎ニ角現ニ於キマシテハ只今ノ六億六千万圓デ約七十キロノ建設、並ニ現在ノ營業線ノ讓受ケト云フコトハ賄ツテ行カレルト考ヘテ居ル次第ゴザイマス

ソレカラ事業目論見ノ中デ收支豫算ノ計算ハドウナツテ居ルカト申シマスト、是ハ先ノ先三箇年間ヲ考ヘテ見タ譯ニゴザイマス、是モ色々々數字ノ出しシ方ガゴザイマスルガ、大體現ニ開業線ノ成績ヲ基礎ト致シマシテ、營業收入ヲ見込ミ、ソレニ對シマシテ營業費、ソレカラ今回買收ノ爲ニ發行政シマス交通債券ノ利拂、ソレカラ今回讓受ケマスル東京地下鐵及ビ東京高速度ガ鐵道財團ヲ設定致シマス、ソレニ承繼致スコトトナツテ居リマスカラ、ソレノ利拂ト云フ風ナモノヲ支出ニ立テマ

シテ、其ノ他ニ此ノ營團ノ法律ノ命ズル所ニ依リマスル積立金、ソレカラ將來ノ改良費用、ソレカラ出資ニ對シマシテ政府以外ノ出資ニハ當分配當致シマセヌガ、政府以外ノ出資拂込金ニ對シマシテハ相當程度ノ配當ヲ致サナケレバナリマセヌカラ、ソレモ加ヘマシテ、詰リ收入ニ對スル、只今諱々申上げマシタガ、サウ云フ總額ノ支出ノ「バラーン」ヲ取ツテ見マシテ、ソニ足リナイン金額ハ政府ノ補助金ヲ以テ賄テ行キタイ、是ハ前ノ御質問ニ對シテ政府委員ガ御答辯申上ゲタヤウニ、鐵道會計ガ此ノ營團ヲ盛立テ行ク爲ニ補助金ヲ出ス、其ノ補助金ヲ支出スル必要ノ金ニナツテ參ルノデアリマスガ、詰リ營業ノ總收入カラ色々支出し總計ヲ引キマシテ、餘ツタモノハ補助金ノ額カラ引イテ参リマスルシ、不足シタ場合ニハ補助金ニ加ヘテ、補助ノ額ヲ殖ヤシテ行ク、斯様ニ致シマシテ、大體政府ノ補助ガドウナツテ參リマスカト申シマスルト、昭和十六年度ニ於キマシテハ、是ハ半年デハゴザイマスルガ、政府ノ補助金ハ先づ出サナクテモ宜イト云フコトニナツテ居リマス、詰リ此ノ營團ガ自力デ以テ昭和十六年度ニ於テハ經營シテ行カレルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ昭和十七年度ニ於キマシテハ、只今ノ計畫トシテハ建設ヲ致シテ行キタイ、是ハスツテ宜カラウト思ヒマス、併シナガラ先程申シマジタヤウニ、其ノ後大正十四年カラ非常ニ事情ガ異ナツテ居リマス、一應再檢討ヲスル必要アリヤ否ヤヲ計畫局トモ相談シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ只今説明員カラ申シマシタ補助ノ點ハ、大體此ノ條文ニアル補助グト御考ヘ下スツ

○田中(好)委員 新設セラルベキ線路ハ未定デアルト云フ御答辯デゴザイマシタガ、何處ヲヤツテ行クノカ分ラヌト言フテ六億六千万圓ノ計畫ヲ御立テニナルト云フコトハ一寸私共ハ受取レナインデス、ヤハリソレハ些少ノ部分ニハ假令變更ガアリト致シマシテモ、東京市ノ都市計畫事業トシテ設ケラレタ高速度交通網ニハ從ツテオヤリニナルモノト解釋シテ宜イノデアリマセウカ、ソレカラ立ツタ序デスカラ一緒ニ御尋ネシテ置キマスガ、今ノ御説明ニ依ルト十五年年度ハ收支トソノニ行ク、十七年度、十八年度ハ五十万圓或ハ九十五万圓ト云フモノヲ補助シテ行クト云フ御話デゴザイマシガ、此ノ補助ト云フノハ何條ゴザイマシタカ、政府ハ豫算ノ許ス範圍ニ於テ補助スルコトヲ得ト云フ、アノ補助ヲ仰シヤツテ居ルノデゴザイマセウカ、此ノ點ヲ一つ御尋ネシマス

○鈴木(清)政府委員 田中サンノ申サレマシタヤウニ、只今都市計畫デ示サレテ居ル路線ガ大體ノ基準ニナツテ居ルト御考ヘ下スツテ宜カラウト思ヒマス、併シナガラ先程申シマジタヤウニ、其ノ後大正十四年カラ何モ東京ノ交通カラ上ツテ來タ利益デハナシテ、全國ノ鐵道カラ上ツテ來タ金デアリマシテ、其ノ金ヲ帝都ノ交通ノミニ支出スルデアルト云フ御説明デゴザイマスルガ、此ノ帝國特別會計ノ持ツテ居ル所ノ收入ハ、ト云フコトハ不公平デハアルマイカ、イヤドウシテ貴ヒタイ、殊ニ昨日清水委員ヲ一ツ聽カシテ貴ヒタイ、地方ノ鐵道建設計画ノ點モ睨合ハセテ考ヘナケレバ、其ノ必要アルト云フヤウヤ御考ヘナラバ、其ノ必要ガ質問セラレマシタヤウニ、地方ノ鐵道建設ハ繰延ベノ重ネ居ル、而モ其ノ繰

ノ東京市ノ都市計畫事業トシテ決定シマンタ高速度交通網ト云フモノハ、相當研究セタレテ決メラレテ居ルノデアリマス、一夜カサナサイヤウナ御方針デ進行セラレルコトヲ希望シマシテ、此ノ點ニ對スル質問ハ致シマセヌ

○田中(好)委員 新設セラルベキ線路ハ未定ノ數字ニナツテ居リマス

○田中(好)委員 新設セラルベキ線路ハ未定デアルト云フ御答辯デゴザイマシタガ、何處ヲヤツテ行クノカ分ラヌト言フテ六億六千万圓ノ計畫ヲ御立テニナルト云フコトハ一寸私共ハ受取レナインデス、ヤハリソレハ些少ノ部分ニハ假令變更ガアリト致シマシテモ、東京市ノ都市計畫事業トシテ設ケラレタ高速度交通網ニハ從ツテオヤリニナルモノト解釋シテ宜イノデアリマセウカ、ソレカラ立ツタ序デスカラ一緒ニ御尋ネシテ置キマスガ、今ノ御説明ニ依ルト十五年年度ハ收支トソノニ行ク、十七年度、十八年度ハ五十万圓或ハ九十五万圓ト云フモノヲ補助シテ行クト云フ御話デゴザイマシガ、此ノ補助ト云フノハ何條ゴザイマシタカ、政府ハ豫算ノ許ス範圍ニ於テ補助スルコトヲ得ト云フ、アノ補助ヲ仰シヤツテ居ルノデゴザイマセウカ、此ノ點ヲ一つ御尋ネシマス

○鈴木(清)政府委員 田中サンノ申サレマシタヤウニ、只今都市計畫デ示サレテ居ル路線ガ大體ノ基準ニナツテ居ルト御考ヘ下スツテ宜カラウト思ヒマス、併シナガラ先程申シマジタヤウニ、其ノ後大正十四年カラ何モ東京ノ交通カラ上ツテ來タ利益デハナシテ、全國ノ鐵道カラ上ツテ來タ金デアリマシテ、其ノ金ヲ帝都ノ交通ノミニ支出スルト云フ御説明デゴザイマスルガ、此ノ帝國特別會計ノ持ツテ居ル所ノ收入ハ、ト云フコトハ不公平デハアルマイカ、イヤドウシテ貴ヒタイ、殊ニ昨日清水委員ヲ一ツ聽カシテ貴ヒタイ、地方ノ鐵道建設計划ノ點モ睨合ハセテ考ヘナケレバ、其ノ必要アルト云フヤウヤ御考ヘナラバ、其ノ必要ガ質問セラレマシタヤウニ、地方ノ鐵道建

ニ必要ナモノデアル、又時局ノ爲ニモ必要  
デアルト云フヤウナ鐵道ガアルニ均ラズ、  
ソレ等ハ遠慮ナク繰延ベテ、サウシテ高速  
度交通營團ニ費用ヲ出シテ居ルト云フコト  
ハ、ドウ私ハ考ヘテモ不都合デアラウト思  
ヒマスガ、不都合ハナイト言ハレタ理由、  
ソレト同時ニ是ハ今東京市ノコトノミヲ計  
畫サレテ居リマスガ、大阪ノ地下鐵道ハ一  
體ドウセラレルノデアルカ、大阪ノ地下鐵  
道ニ於キマシテハ、是ハ市ガヤツテ居リマ  
ス、大阪ナルガ故ニ帝國鐵道會計カラ何等  
ノ援助ヲ受ケナイト云フコトモ、不公平ノ  
一ツノ事例デハアルマイカ、又大阪ノミナ  
ラズ大阪以外ノ福岡、神戸、名古屋、京都  
ト云フヤウナ都市モ何レハ地下鐵道ヲ建設  
シナケレバナラヌ、其ノ場合ニ於テハ、ヤ  
ハリ此ノ交通營團ト同ジヤウナ政策ノ下ニ、  
六大都市等ニ於ケル地下鐵道ニ對シテハ帝  
國鐵道會計カラ支辨シテ行クノデアル、或  
ハ特別會計ノ負擔デヤツテ行クノデアルト  
云フ御方針デアルカ、其ノ三點ニ付テ御説  
明ヲ願ヒマス

設ト云フコトガ非常ニ必要ナコトデアリ、殊ニ帝都ニ於ケル交通及び防空ノ護リト致シマシテモ、緊急缺クベカラザルモノデアルト云フヤウナ見地ニ於キマシテ、交通ノ主務省トシテ其ノ金ヲ鐵道會計ガ負擔スルト云フコトハ、必ズシモ謂ハレナキコトデハナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ大阪ヤ他ノ六大城市ニ斯ウ云フモノガ出來ル時ニ、同ジャウナ手助ケヲスルカト云フ御質問、是ハ實ニ御尤モナ御話デアリマス、吾々ト致シマシテモ地下鐵道ノ速力ナル重要都市ニ於ケル開設、又擴充ト云フコトハ希望シテ居ルノデアリマシテ、出来ルダケノコトハ勿論致サネバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ是ハ一面ニ於キマシテハ鐵道ノ金ノ問題ト云フコトモ考慮シナケレバナラヌ、又其ノ事業ノ重要性ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、重要性ト申スト、如何ニモ餘所ノハ重要度ガ薄イヤウニ見受ケマシテ穩當デハナイノデアリマスガ、詰リ企業性ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、色々ノ點ヲ考ヘ合ハセマシテ、私トシテハ今ハ帝都が交通上カラ見テ、防空ノ上カラ見テ一番緊切シテ必要ガアル、先ツ此處ニ力ヲ集中シテ行カウ、サウシテ他ノ都市ニ付キマシテモ助成ノ方策ヲ考ヘ、此ノ方途ヲ講ジテ行キタイト云フ風ニ成シテ行クト云フ考ヘノ下ニ居ル譯デアリ

テ、サウシテ鐵道ヲ助成シテ行クコトへ言フ  
マデモナイ、助成シテ行クノダカラ特別會  
計ガ負擔シナケレバナラヌト云フ理由ハナ  
イト私ハ思フ、若シ鐵道省ガ鐵道ヲ助成シ  
テ行カナケレバナラヌコトガ當リ前デアル  
カラ助成スルト言フナラバ、何モ國有鐵道  
ノ益金ヲ以テ之ヲ助成スル必要ハナイ、一  
般會計カラ鐵道省ガ特別豫算ヲ取ラレテ、  
サウシテ補助セラレルノガ當リ前グラウト  
思ハレル、併シナガラ鐵道省ノ凡ユル費用  
ハ總體鐵道會計ノ負擔デアルト云フヤウナ  
コトヲ考ヘラレテ居ルガ爲ニ、斯ウ云フ風  
ニナツタノデハアルマイカ、隨ヒシシテ大  
阪等ニ對スル地下鐵道ノ助成モ、一般會計  
ノ方デ支辨スルト云フ肚ヲ御決ヌニナルナ  
ラバ、是ハ東京ト同ジヤウニ肩ヲ並ベテ助成  
セラレルコトガ出來ルダラウト思フ、特別  
會計ノ懷ロ工合ガアルカラ、先づ急ヲ要ス  
ル所ノ東京ニ手ヲ着ケタノデアルト言ハレ  
ルナラバ、是ハ物ニハ緩急ノ順序ガゴザイ  
マスルカラ已ムヲ得マセヌガ、大阪市ノ地  
下鐵道ニ對スル鐵道省ノ方針ト云フモノ  
ヲ、特ニ明瞭ニシテ戴キタイト思フノデア  
リマス

マスルガ、此ノ東京ノ地下鐵道ノ建設工合ヲ見、又大阪市ニ於ケル其ノ後ノ進捗工合ヲ見究メマシテカラ後ニ於テ、大阪市ニ對スル建設ノ考へ方、及ビ大阪市ノミデナク、他ノ都市ニ於キマシテモ地下鐵道建設ノ要望モ起ツテ居ル向キモアリマスノデ、ソコラヲ睨合ハセタ後ニ態度ヲ決メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○大山(秀)政府委員 出資ニ付テ鐵道ニ負  
擔スルノハ不合理ヂヤナイカト云フ御質問  
デゴザイマスガ、要スルニ鐵道ト申シマス  
モノハ鐵道、軌道、自動車等交通一般ニ關  
スル監督官廳ト致シマシテ、其ノ助成ノ方  
面ニ於キマシテ色々々ノ方策ヲ講ズベキ使命  
ガアルト考へテ居ルノデアリマス、殊ニ他  
ノ地方ト較ベテ帝都ニダケ集中シテ實施シ  
タリスルコトハドウカ、一面ニ於テ全國的  
交通ヲ擴充スペキ使命ヲ帶ビナガラ、其ノ  
遷延ナンカヲヤリナガラ、之ニ金ヲ投ズル  
コトハドウカト云フヤウナコトモ考ヘラレ  
モノデアリマスガ、兎ニ角此ノ地下鐵道建

テ、私トシテハ今ハ帝都ガ交通上カラ見テ、防空ヲ上カラ見テ一番緊切シテ必要ガアル、先ヅ此處ニ力ヲ集中シテ行カウ、サウシテ他ノ都市ニ付キマシテモ助成ノ方策ヲ考ヘ、此ノ方途ヲ講ジテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ凡ユル事情ヲ考慮致シマシテ、第一ニ着手スベキモノトシテ此ノ帝都ノ事業ニ掛リ、之ヲ助成シテ行クト云フ考ヘノ下ニ居ル譯デアリマス

○田中(好)委員 大體分リマシタガ、私ノ尋ねタコトト理窟ハ合ツテ居ナイヤウニ思ふノデス、鐵道省ガ鐵道ヲ經營セラレテ居ツ

○鈴木(清)政府委員 只今此ノ帝都ニ於キ  
マスル所ノ交通狀態竝ニ防空ヲ都合上カフ、  
兎モ角最モ緊切ナル帝都ニ最初ニ地下鐵道  
網ヲ建設致シタイト云フ考ヘカラ此ノ營團  
ヲ設置致シタノデアリマシテ、兎モ角此ノ  
營團ヲ作ツテ地下鐵道ヲ建設スルニ致シマ  
シテモ、年々相當ノ補助金ヲ要シ、又相當  
ノ仕事デアリマスルノデ、此ノ方法ヲ直チ  
ニ今大阪ニ利用スルト云フマデニ政府ハ決  
マツテ居ラナイノデアリマス、幸ヒニシテ  
大阪ノ地下鐵ハ順調ニ今建設サレツツアリ  
ヲ、特ニ明瞭ニシテ戴キタイト思フノデア  
リマス

ウト云フヤウナコトハ、餘り不親切デヤア  
ルマイカト思ヒマス、併シ此ノ點言ウテ居  
リマシテモ仕方ガナインデアリマスガ、ド  
ウゾ東京ノミガ都市デハナイ、經濟都市ト  
シテ大阪モアルノデアリマス、殊ニ東京ト  
匹敵スル位ナ地下鐵ヲ現ニ經營シツツアル  
ノデアリマスカラ、延長等ニ關シマシテハ  
將來助成シテ貰ヒタイ、甲乙ナシニ助成シ  
テ貰ヒタイト云フ希望ヲ申シテ置キマスガ、  
先ノ其ノ一點ニ付テ御答辯ヲ戴キタイト思  
ヒマス

○鈴木(清)政府委員 先程大山政府委員カ  
ラ申シマシタヤウニ、鐵道省ハ交通機關ヲ監

對シテモ、國有鐵道ト關聯スル事業へハ實道ノ發達育成ヲ圖ル爲ニ鐵道省ハ格段ノ補助ヲシテ居ルノデアリマス、ソレデ今日帝都ニ於キマスル交通上カラモ可ナリノ重點ヲ持ツテ居リマスルシ、防空上カラモ必ナル此ノ帝都ノ地下鐵ヲ建設スルニ當リマシテ、特別會計ニ於テ此ノ費用ヲ負擔スルノ理由ガナイ譯デハ決シテナインデアリマシテ、其ノ負擔シ得ラレル所ノ此ノ鐵道會計ニ於テ此ノ出資ヲ致シマシテ、其ノ事業ヲ育成シテ行クト云フコトハ當然ダト思ヒマス、一般會計ガ之ヲ負擔スルヤ否ヤト云フ問題ノ前ニ、鐵道省ニ於テ負擔シ得ラレル、又其ノ助長ヲ圖リタイ、斯ウ云フ趣旨カラシテ之ニ鐵道省ガ出資シ之ヲ負擔スルノデアリマシテ、マダ一般會計ガ大阪市其ノ他ニ於テ之ヲ持ツヤ否ヤト云フヤウナ問題ハ、其ノ後ノ問題ダト思ツテ居リマス○田中(好)委員 ドウモマダ私ハ感心致シマセヌガ、若シ地方鐵道ノ補助金ヲ特別會計ガ負擔スル、ソレデアルカラ之ニ對シテモ出資シテモ構ハヌト云フ御考ヘデスガ、若シソソンナ御考ヘナラバ、此ノ二、三年前ニ左様ナ考ヘニ方針ヲ變更シテ貰ヘバ、私ハマダト東京ノ地下鐵ハ延長サレテ居ツタダラウト思フ、其ノ場合ニ於ケル政府ノ方針ハ市内交通ハ國有鐵道ニ何等ノ關係ガナイ、隨テ補助スヘキモノデナイト云フ方針ノ下ニ會社經營ヲ放任セラレテ居ツタ、所ガ今日ニ至ツテ、イヤ市内ノ交通モヤハリ國有鐵道ニ影響ガアルノダ、ソレダカラ補助スルト云フヤウナコトヲ今御答辯戴ク

テ彼此レ言フノデハゴザイマセヌガ、他ノ  
都市ニ於ケル所ノ地下鐵工事ノ進捗ニ對シ  
テ特段ノ御考慮ヲ私ハ希望致シテ置キマス  
次ハ先程堀内君モ質問セラレマシタ役員  
ノ問題デゴザイマス、私ハ役員ヲ設クル、  
當ラシムルノガ宜イカ惡イカト云フ根本問  
題ニ付キマシテハ、後カラ鐵道大臣ニ御伺  
ヒショウト思ウテ居ルノデゴザイマスガ、  
唯私共ガ憂ヘマスル所ハ、斯ウ云フヤウナ  
主務大臣ガ任命スル所ノ役員ガ、專ラ事業  
ノ執行ノ任ニ當ルト云フヤウナコトニナリ  
マスルト、是ハ本當ノ官僚經營デアリマシテ、  
果シテ政府所期ノ效果ガ舉ルカドウカト云  
フコトニ付テ疑問ヲ持ツノデアリマス、或ル人  
ハ斯様ナ役員ヲ設ケテ鐵道省ノ退職官吏ノ  
隠居所デアルト云フヤウナコトヲ言フ人ガ  
アリマスガ、私ハ決シテサウ云フヤウナ見方ハ  
致シマセヌ、致シマセヌガ、官僚經營ニナル  
ト云フコトハ、是ハモウ大體ノ常識デアラウ  
ト思ハレル、去年デシタカ議會デ問題ニナリ  
マシタ日本通運株式會社法ノ如キ、ヤハリ鐵  
道省ノ退職官吏ノ隠居所ノ觀ヲ呈シテ居ルコ  
トハ是ハ事實デス、私ハ思ヒマセヌガ、事實  
ガサウナツテ居ル、サウシテ其ノ成績ガ法  
律制定當時ノ效果ヲ擧ゲテ居ルカドウカト  
云フコトニ付テハ、是ハ失敗シテ居ルトハ  
申シマセヌガ、立法當時ノ理想通りニ行ツ  
テ居ナイノデハアルマイカ、斯様ナ考ヘヲ起  
シマスガ、今回ハドウ云フヤウナ方針、ド  
ウ云フヤウナ標準ヲ以テ此ノ任命ヲヤラレ  
ルノデセウカ、先程其ノ資格ヲ書ケト云フ質  
問ニ對シテ大臣ハ、ソンナコトハ出來ナイ

業ニ何年間居ツタ者デナケレバイケナイト云フヤウナコトハ書ケナイト思ヒマスガ、鐵道大臣ノ今持ツテ居ル其ノ方針ハ、一體ドウ云フヤウナ人間ヲ此處へ持ツテ來ル御考ヘデアルカ、其ノ點一つ御伺ヒ致シマス〇大山(秀)政府委員 役員ノ選任ヲ慎マナケレバナラヌ、兎角官僚經營ノ弊ニ墮シテ困ルノデアルガ、私共ガドウ云フ方針デ一體人ヲ選ブカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ勿論此ノ事業ヲ日々ヤルト云フ點ニ於キマシテ、多クノ外ノモノト異ナルノミナラズ、實ニ困難ナ地下鐵ノ建設ト云フコトヲ脊負ツテ立ツ人デアリマスルカラ、御説ノ通り最モ良イ人ヲ選バケレバナラヌノデアリマス、然ラバドウ云フコトヲ標準ニスルカト云フコトニナルノデアリマスガ、之ヲ一口ニ申上ガルノモ中々困難デアリマスガ、要スルニ此ノ難事業ヲ脊負ツテ十分ニ之ヲ遂行スル熱意ト力ノアル人ト云フコトガ望マシイノデアリマス、ソレデ事業ノ經營ノ方面ニ於テモ経験ナリ抱負ナリアリ、又一面ニ於キマシテハ、或ル役員トシテハ財界ノ知識經驗ノ十分ニアル人ヲ選バケレバナラヌ、又一般的ニ學識經驗アル人ノ中カラモ選バナケレバナラヌ、又市ト頗ル密接ナ關係ガアルノデアリマスルカラ、市ノ市民代表或ハ市ノ代表ト云ツタヤウナオ方モ考慮スベキデアラウト思フノデアリマス、要ハ此ノ營團ヲ背負ツテ、此ノ營團ノ目指ス所ノモノヲ十分ニ果シテ戴ケル人ト云フコトヲ目標ニ致シマシテ、慎重ニ何等ノ情ノデアリマス

ケルヤウナ、世ノ中ノ非難スルヤウナコトヲ再ビ繰返サナイヤウニ一ツオヤリヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ間小林商工大臣ニ官僚ノ經營ニ付テ意見ヲ聽キマシタラ、ソレハ實際仕方ガナインダ、官吏ノ舌手ト君等ハ言フケレドモ、ソレシカナイノダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレタノデス、ナゼナラバト申シマスルト人ヲ養成シテ居ナイ、總裁ニナルヤウナ人間ヤラ副總裁ニナルヤウナ人間ヲ養成シテ居ナカツタ、ソレガ缺點デ今日澤山ノ國策會社ガ出來テモ、其處ニ入ル總裁、副總裁ノ適任者ガ居ナイ、已ムヲ得ナイカラ商工省ニ居ツタ古手ノ官吏ヲ持ツテ來テ此處ニ据エル外ナイ、是ハ一時的ノコトダガ已ムヲ得ナイノダ、斯ウ云フ御答辯デアツタノデスガ、或ハソンナコトガアルカモ分リマセヌ、分リマセヌガ、ドウゾ日通ニ對スルヤウナ非難ノナイヤウニ特別ノ御考慮ヲ願ヒマス、ソレカラ役員ノ責任デゴザイマスガ、株式會社ナラバ、役員ハ株主總會ニ於テ相當ノ彈劾モ受ケラレ、其ノ會ノ意見ニ依ツテ責任ヲ問ハレル途ハ自然ニ開カレテ居リマス、所ガ今度ノ政府ノ任命スル役員ハ、事業ノ失敗等ニ對シマシテ何等ノ責任ヲ負ハナイヤシタヤウナ場合ハ、罰金ニスルトカ云フヤウナ條項ガゴザイマスルケレドモ、事業ニ此ノ營團法ノ法律ガ命ジテ居ル條項ニ違反シタヤウナ場合ハ、罰金ニスルトカ云フヤウナ條項ガゴザイマスルケレドモ、事業ニ此等ハ失敗スレバ、マア失敗シタマデダト云フヤウニシテ放任セラレルノデアルカ、

解任セラレル場合ハ法律デ規定シテ居リマ  
スルカラ是ハ出來ナイガ、ドウ云フヤウナ  
措置ヲセラレル意見デアリマセウカ

○大山(秀)政府委員 御説ノ通り解任ノ場合ハ限定ガアリ、ソレニ當ルカト思ヒマスガ、要スルニサウ云フ人ハ辭メテ貴フヨリ外ナインデアリマシテ、話合ヒデモサウ云フコトハ出來ル場合ガアリマセウシ、次ノ期ニ於テ問題ニナラヌト云フヤウナコトデ行ク譯デアリマスガ、是ハ冷タイ法律論デ間ヒ詰メラレルト、中々サウ云フ所ニ御指摘ノヤウニ抜ケガアルカモ知レマセヌガ、實際ノ運用ニ於キマシテ、相當ノ監督ナリ督勵モ致シ、又サウ云フヤウナ場合ガ起リマシタナラバ、相當善處ノ途ガアルノデアラウト思ツテ居ルノデアリマス、田中サン定メシ不満足カモ知ラヌデスガ、此ノ程度デ……○田中(好)委員 滿足シマセヌガ、ソレヨリ法律論トシテ仕方ガナイト思ヒマスカラ、其ノ上申シマセヌ、私ハ更ニ次ノ質問ニ移リマスガ、此ノ營團ノ經營シマスル所ノ地下高速度鐵道ト云フモノハ、其ノ效果ノ點カラ見マシテモ、市民生活ニ非常ナ關係ノアルコトハ申スマデモゴザイマセヌ、隨ヒマシテ、市民生活ニ關係ガアリマスルカラ、之ヲ大キク申シマシタナラバ、東京市ナル公共團體ニ密接ノ關係ヲ持ツテ來ルコトニ相成リマス、又此ノ間カラノ説明ニ依リマスルト、鐵道其ノモノヲ敷設スルノガ目的デハアルケレドモ、防空的ナ見地ニ於テ非常ナ役目ヲスルモノデアルト云フ御話デゴザイマシタガ、尤モソレニ違ヒナイ、サウハレル、又地下鐵ハ其ノ經營上ノ採算ノ點

カラ見マシテ、道踏ニ敷設セナケレバナラ  
又ト云フ見地カラ見マスルナラバ、内務大  
臣ガ又關涉スルコトニナル、更ニ都市計畫

交通ノ地下鐵道トシテ之ヲ經營スルト致シ  
マシテモ、ヤハリ内務大臣ガ關係スル、更  
ニ動力ヲ電氣ニ求ムルヤウナ場合ハ、遞信  
大臣ガ之ニ關係スルト云フヤウニ相成リマ  
シテ、此ノ地下高速鐵道ナルモノハ各種  
ノ方面ニ關係ヲシテ參リマシテ、各省ガ之  
ヲ監督セラルルト思フノデアリマスルガ、  
此ノ各條ニ規定シテアリマスル所ノ主務大  
臣ト云フモノハ、一體ドウ云フヤウナ方面  
ノ大臣ヲ指シテ居ラレルノデアルカト云フ  
コトヲ承リタイノガ第一點、ソレカラ何レ  
ハ是等關係各省ノ大臣ガ總テ之ヲ監督スル  
ノダト御答辯ニナルダラウト思ヒマスル  
ガ、各省大臣ガ監督スルト云フヤウナ場合  
ニ於キマシテテハ、其ノ各省間ノ連絡ニ付  
テドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラレル  
カ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒ致シマス  
○大山(秀)政府委員 此ノ條文ノ各所ニ見  
エマスル主務大臣ト云フコトニ付テデアリ  
マスルガ、是ハ一般ニ申シマスト内務大臣  
鐵道大臣デアリマス、交通債券ノ關係ニ於  
テ之ニ大藏大臣ガ加ハル場合ガアルト考ヘ  
テ居リマス、關係ノ向キガ多イノデアルガ、  
此ノ各關係省ノ間ノ連絡ヲドウスルカト云  
フ御質問、頗ル御尤モデアリマスガ、場合  
ニ依リマシテハ評議員ノ中ニ各省ノ關係ノ  
マスヤウナ協議會、今遞信省ト鐵道省ナン  
カデヤツテ居リマス連絡ノ協議會、サウ云  
又其ノ他從來内務省、鐵道省ナンカニアリ  
ジテ作ルカニ依リマシテ、各省間ノ連絡ト

云フモノヲ十分ニ付ケマシテ、其ノ間ニチ  
グハグノナイヤウニ進メテ行キタイト考へ  
テ居リマス

○田中(好)委員 能ク分リマンタ、一般的ニ鐵道、内務兩大臣ガ權限ヲ持ツト言ヒマスト、總テノ事項ニ關スル主務大臣ハ鐵道、内務兩大臣ト解釋シテ宜イノデアリマスネ、其ノ點ヲ一つ明瞭ニシテ戴キタイ、ソレカラ成ベクナラバ各省間ノ事柄ニ關シテハ協議會等ヲ御開キ願ツテ、命令ガ二途ニ出ナイヤウ、或ハ意見ガ各省對立スルト云フヤウナコトノナイヤウニ御考ヘヲ願ヘナイモノデアリマセウカ、ソレモ併セテ御尋ネシマス

○大山(秀)政府委員 此ノ營團法ニ關スル限り、主務大臣ハ内務、鐵道兩大臣ダト考ヘテ居リマス、先ニ申シマシタヤウニ債券ノ關係ハ是ハドウシテモ大藏大臣ガ加ハルト云フコトヲ重ネテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ連絡協議會ノ問題ニ付キマシテハ、十分圓滿ニヤリマスヤウニ最善ノ努力ヲ致シマス

○田中(好)委員 私ハ三十九條ノ補助ノ問題ニ關シテ御尋ネ致シマス、此ノ條項ニ依ツテ補助制度ヲ採用セラレタノデアリマスルガ、私ハ實ハ此ノ説明ヲ聽キマスマデハ、實ニ妙ナ書キ方デドウ云フヤウナ目的ヲ持ツテ居ルモノデアラウカト云フコトヲ非常ニ考ヘタノデゴザイマシタガ、鐵道ノ助成ヲ目的トスルカ、又ハ鐵道以外ノ特別ノ施設ヲスルカラ補助スルノダ、斯ウ云フヤウニセラレタノデアラウカト邪推シテ居タノデアリマスガ、先程説明員ノ御答辯ニ依リノ利子ヲ補給スルノダ、斯ウ云フヤウナ説

明デアリマシテ、私ノ考ヘテ居ルノト非常ニ違ツテ居タノデアリマス、交通債券ノ補給ヲ是デヤツテ行ク、利子ヲ補給スル爲ニ

五十万圓ト七十五万圓デンタカ補助シテ行  
ク、其ノ補助ノ財源ハ何カト申シマスト、  
是ハ鐵道會計カラ御出シニナツテ居ナイ、  
先程出資ノ問題ニ付テ鐵道次官ガ鐵道助成  
ノ目的ノ爲デアルカラ特別會計カラ出スノ  
デアル、斯ウ言ハレテ、利子補給ノ場合ニ  
於テハ一般會計カラ御出シニナツテ居ルヤ  
ウニ思ハレル、其ノ點一寸理窟ガ合ハヌヤ  
ウニ思フノデアリマスガ、ドウ云フヤウナ  
御考ヘデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス  
○大山(秀)政府委員 ヤハリ此ノ補助モ鐵  
道會計ノ負擔デアリマス、地方鐵道法ノ補  
助モ慥力豫算ノ範圍内ニ於テト云フ文字ダ  
ケデ同ジヤウナ方法ニ書イテアルト考ヘテ  
居リマス

○田中(好)委員 サウスルトヲカシイノデ  
ス、出資ニ對スル補助ヲ鐵道會計カラ出ス  
ト云フ根據ガナクナルヤウニ私ハ思フノデ  
スガ、ソレハ如何デアリマスカ

○大山(秀)政府委員 鐵道會計法ニ依ツテ  
サウ云フコトニ明カニ書イテアル譯デアリ  
マス

○田中(好)委員 ソレデハ或ハ私ノ誤解カ  
モ分リマセヌ、私ハ防空ノコトデ一寸質問  
シタイノデスガ、計畫局長ハ居ラレナイヤ  
ウデスカラ留保致シテ置キマス、土木局長  
ガ見エテ居リマスカラ、四十條ノ關係ニ付  
テ御尋ネ致シマス、四十條ニ於キマシテ地  
下鐵道建設ニ關スル便法ヲ御講ジ下サツタ  
デアリマス、實際地下鐵道ヲ建設致ス場合  
ニ於キマシテ、最モ苦心ヲシナケレバナラ

ソ事柄ハ、鐵道自身ヲ敷設スルヨリモ、  
設物等ヲ移轉シナケレバナラヌ、是ガ非常  
ニ困難ナ仕事デアルノデアリマス、東京市  
ノ實例カラ申シマシテモ、地下鐵道ヲ建設  
スル爲ニ路面電車ヲ動カサナケレバナラヌ  
シ、或ハ上丁下水道ヲ動カサナケレバナラヌ、  
電信電話線或ハ瓦斯管、或ハ電燈會社ノ電  
纜ト云フヤウナモノヲ全部動カスコトガ絶  
對必要デアルノデアリマシテ、此ノ費用ハ  
現在ノ建設費ノ五十三「ペーセント」位ニ當  
ツテ居ルト思ツデ居リマス、隨ヒマシテ此  
ノ鐵道敷設ノ爲ニスル所ノ道路ノ仕事、或  
ハ道路占用物件ノ移轉ト云フコトヲ旨クヤ  
ラナケレバナラヌ、是ガ旨ク出來ナケレバ  
工事ガ遅クナルシ、又旨ク協定ヲヤラナケ  
レバ工事費ガ嵩ンデ來ルト云フヤウナ關係  
ニナツテ、之ヲ如何ニ處置スルカト云フコト  
ガ大キナ問題デアルト思フノデアリマス、  
此ノ點ヲ考ヘラレテ此ノ四十條ノ規定ヲ置  
カレタ其ノ御親切ニ對シテハ敬意ヲ表スル  
ノデアリマスガ、此ノ條文ヲ讀ンデ見マス  
ト、是ハ一向分ラヌ、ト申シマスノハ、此  
ノ交通營團ト道路管理者トガ、此ノ四十條  
ノ規定ニ依ツテ協議ヲスルト云フヤウニセラ  
レテ居ルノナラバ、是ハ非常ニ結構デアル、  
モウ是ハ道路法ノ關係カラ離脱シテシマツ  
テ、ソレデ事ガ解決スルト云フヤウニセラ  
レテ居ルノナラバ、是ハ非常ニ結構デアル、  
サウ云フヤウナコトヲ此ノ四十條ハ豫想セ  
ラレテ居ルノデアルカドウカ、ソレガ第一  
點デアリマス、ソレカラ道路占用者ト交通  
營團トノ間ニ協議スルノデアルト云フヤウ  
ナコトナラバ、ソンナコトハ何モ書ク必要

他人ノ管理スルモノヲ除却スルト云フヤウ  
ナコトニ付テ協議ガアルベキコトハ當然デ  
アツテ、本條ノ條文ハ要ラナイ、若シ是ガ  
要ルノデアル、當然ノコトヲ此處ニ書イタ  
シナイト云フヤウナ場合ニ、一體ドウ御處  
置ナサルノデアリマスカト云フ疑ヒヲ私ハ  
依ツテ、管理者ニ許可ヲ申請シタ所ガ許可  
シナイト云フヤウナ場合ニ、一體ドウ御處  
置ナサルノデアリマスカト云フ疑ヒヲ私ハ  
持ツノデアリマス、先づ其ノ二點ニ付テ御  
尋ネ致シマス

○成田政府委員 御答へ致シマス、第一ニ  
今回ノ法案ノ第四十條ニ付テ、道路ノ占  
用ト云フモノト何カ混同サレテ御考ヘニナ  
ツテ居ルノデハナイカト云フヤウニ伺ツタ  
ノデアリマスケレドモ、此ノ四十條ノ規定  
ハ、道路ノ占用ニ關スル規定デハゴザイマ  
セヌカラ、サウ云フコトデ御答ヘヲ致シタ  
イト思ヒマス、ソレカラ第一點ハ、或ハ私ノ  
御答ヘガ當ツテ居ラヌカモ存ジマセヌガ、  
道路占用ハ今申上ゲマシタヤウニ、此ノ四  
十條ノ關係外デアリマスケレドモ、此ノ規  
定ニ依リマシテ、今回設立サレマス交通營  
團ニ對シマシテ特別ノ保護ヲ與ヘヨウトス  
ル規定デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中(好)委員 御答ヘヲ得マシタガ、私ハ  
何モ感違ヒハシテ居ナイ、局長ノ方ガ感違  
ヒヲサレテ居ル、四十條ハ勿論工事ノコト  
ガ書イテアルノデスカラ、私ハ占用ノコト  
ニ付テ何モ御尋ネスル必要ハナイ、工事ノ  
場合デス、地下鐵道建設ノ爲ニ電車ヲ動カ  
ストカ、或ハ鋪裝工事ヲスルトカ云フ場合  
ハ、道路管理者ト軌道經營者トガ相談スレ  
バ、モウ道路法或ハ軌道法ノ規定ニ依ル手  
續ヲ必要トシナイヤウニ簡便ニナサレタノ

カドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシテ居ルノデアル、尙ホ序ニ御伺ヒ致シマスガ、占用ニ伴ツテ道路工事ヲ必要トスルモノガアリ得ルノデアリマス、其ノ場合ハ工事ハ此ノ四十條デヤツテ行クカ、占用ハヤハリ道路法ノ中ニ入ツテ來ルノデアル、斯ウ云フヤウニ御考ヘデアリマセウカ、ドウモノ條文ハ吾々ニハ分ラヌノデスガ、其ノ點如何デセウカ

○成田政府委員 初メニ御尋ネニナリマシタ點ハ、仰シヤル通リデ宜イノデアリマス、ソレカラ第二番目ハ、占用ノ場合ニハドウ云フ風ニナルカト云フ御質問デアツタト思ヒマスガ、占用ニ付キマシテハ此ノ規定ニ含マレテ居リマセヌノデ、ソレハ地方鐵道法ノ第四條ノ但書ニ依ル許可ガ要ル、道路法ノ特別規定デアリマス地方鐵道法ノ規定ニ依ツテ占用ヲ許可サレル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田中(好)委員 ドウモ今ノ御説明ニ依リマジテモ、私ハ不要ノ條文ト思ヒマスガ、マア無イヨリハアル方ガ増シカモ知レナイ場合ガ豫想サレマスカラ、其ノ點ニ付テハ餘り申シマセヌ、唯此ノ場合一ツ御願ヒヤラ、御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、先程私が申述ベマシタヤウナ占用物件ト地下鐵トノ關係ガ非常ニ密接ナル關係ヲ持ツテ居リマシテ、ソレガ旨ク行クカ行カスカト云フコトハ、先程モ申シマシタヤウニ、工事費ノ點、或ハ工事ノ遅速ト云フ點議會ニ於テ大綱ヲ決定セラレテ、各ノ關係ノ役所ガ處置ヲシテ行クト云フ風リ願ヘ

マスレバ、非常ニ便利グラウト思ヒマス、  
ソコデ先程大山監督局長ガ各省連絡會議ミ  
タイニヤツテ行カウト言ハレタコトハ結構  
デゴザイマスガ、法律ガ通過スルト中々ヤ  
ラヌノデゴザイマスカラ、今回コソハ此ノ  
聲明ヲ本當ニ實行セラレルト云フ意味ニ於  
テ、施行令等ニ於テ協議會設置ノコトヲ規  
定セラレルヤウナ御考ヘハナイカドウカト  
云フコトヲ御願ヒシ、且ツ質シテ置キマス  
○成田政府委員 只今御述べニナリマシタ  
御趣旨ハ、全然吾々モ御同感デアリマス、  
隨ヒマシテ協議會ノヤウナモノヲ作ツテ、  
圓滿ニ而モ敏速ニ事ガ運ブヤウニト云フ考  
ヘヲ持ツテ居リマス、唯施行令或ハ施行規  
則ノ中ニ其ノコトヲ書クカドウカト云フコ  
トハ、モウ少シ研究サシテ戴キタイト思ヒ  
マス

シテ、鐵道省カラ「帝都ニ於ケル地下高速  
鐵道ノ必要」ト云フ「パンフレット」ヲ貰ヒマ  
シタ、ソレニハ空襲下ニ於ケル地下鐵ノ使命ト云  
命、或ハ防空壕トシテノ地下鐵ノ使命ト云  
フモノガ非常ニ重要デアルカラ、是非之ヲ  
ヤラナケレバナラヌ、今回本法ヲ出サレタ  
一ツノ理由モソコニアルト云フヤウナコト  
ガ書イテアリマシタ、私等モソレニ對シマ  
シテハ非常ニ賛成ヲスルモノデアリマス、  
然ルニ内務省ガ此ノ地下高速鐵道ニ對シテ  
助成セラレントスル方針ガ不明確デアルノ  
デアツテ、私共ノ考ヘカラ致シマスト、内務  
省ノ防空施設ニ對スル助成ガ餘リニ不親切  
デアルカノ如キヤウナ感ヲ抱クノデアリマ  
ス、本年度ノ内務省豫算ニ於キマシテハ、  
防空補助トシテ九百二十万圓ガ計上セラ  
レテ居ツテ、此ノ間衆議院ヲ通過シタヤウ  
ニ考ヘテ居リマスガ、此ノ九百二十万圓位  
ナ僅少ナル補助ヲ以テ地下鐵道ヲ助成シ、  
又外ノ防空施設ヲ助成スルト云フヤウナ御  
考ヘデアルカドウカ、九百二十万圓ノ中ニ  
ハ入ツテ居ナイ、又今後助成ニ對シテハ考  
ヘルト云フヤウナ御考ヘカ、此ノ點ニ付テ  
御意見ヲ承リタインデアリマス

○藤岡政府委員 三十九條ノ助成金ハ今度

ノ内務省ノ防空上ノ助成金ノ中ニ入ツテ居

ルノカト云フ御質問ノ趣旨デヘナカツタカト

思ヒマスガ、是ハ入ツテ居リマセヌ、私共

地下鐵ガ防空上非常ニ有效デアルコトハ能

ク承知シテ居リマス、空襲下ニ於テモ交通

ヲ確保シ得ル所ニ素晴シイ防空性ヲ認メテ

居ルノデアリマシテ、地下鐵自體ノ機能ヲ

全ウスル爲ニ、空襲ヲ防止スルヤウナ施設

ヲヤリマスルコトハ、是ハ地下鐵自體デヤ

ルベキコトデアリマスカラ、特別ノ助成ハ

致シテ居リマセヌ、併シ若シモ地下鐵ニ地  
下鐵營團ノ事業以外ノ特別ナ或ル施設ヲヤ  
ラセルヤウナ場合ガアリトスレバ、勿論ソ  
レニハ何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌ  
ト考ヘテ居リマス、併シ此ノ營團デ防空上  
ノ要求ヲ充サウト考ヘル點ハ、先程申上げ  
マシタヤウニ地下鐵自體ノ防空性ニ非常ナ  
期待ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

○田中(好)委員 今ノ御答辯ニ分リマシタ

ガ、私共モ地下鐵自體ガ空襲ノ場合ニ必要

ナル施設ニ對シテハ、是ハ地下鐵道ガヤル

コトハ言フマデモナイ、私ノ質問シテ居ル

ノハ地下鐵道自體ノ空襲ニ對スル設備デヤ

ナイ、空襲ノ場合ニ於テ一般ノ市民ガ利用

スルヤウナコトヲ交通營團ニ命ズルコトガ

非常ニ便利デアリ、且ツ經濟のノ築造トナ

ルト云フヤウナ場合ニ於テ、之ヲ獎勵セラ

レテ各所ニ適當ノ施設ヲセラレルノガ當然

ノコトデアラウト思フ、其ノ點ニ對シテ何

等考ヘテ居ナイ、考ヘテハ居ルケレドモ、

補助ヲ計算シテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ御

答辯デヨザイマスルガ、ソコガ僕ノ非常ニ

不親切デヤアルマイカト思フ點ナノデアリ

マス、鐵道省ノ關係者ハ、今回ノ新營團ハ

防空上ノ必要カラモ折角此ノ事業ヲ促進セ

ナケレバナラスト言ウテ居ル、ソレナラバ

此ノ鐵道ニ附帶シテ、市民一般ノ用ニ供ス

ル防空施設ヲ獎勵セラレルノガ私ハ當然デ

ト思ヒマスガ、是ハ入ツテ居リマセヌ、私共

地下鐵ガ防空上非常ニ有效デアルコトハ能

ク承知シテ居リマス、空襲下ニ於テモ交通

ヲ確保シ得ル所ニ素晴シイ防空性ヲ認メテ

居ルノデアリマシテ、地下鐵自體ノ機能ヲ

全ウスル爲ニ、空襲ヲ防止スルヤウナ施設

ヲヤリマスルコトハ、是ハ地下鐵自體デヤ

ルベキコトデアリマスカラ、特別ノ助成ハ

リニナランコトヲ私ハ切望シテ置キマス、

モツト外ニ建設シナケレバナラヌ所ガアル

カニ、其處ニ地下高速度鐵道ハ敷設シナイ

ト言ツテ抛ツテ置ケバ、折角ノ綠地帶へ效果

ヲ發揮シナインデアリマスカラ、内務省ト

シテハ否デモ應デモ其處ニ持ツテ行ケト云

ト考ヘテ居リマス、併シ此ノ營團デ防空上

ノ要求ヲ充サウト考ヘル點ハ、先程申上げ

マシタヤウニ地下鐵自體ノ防空性ニ非常ナ

</

ノ目的ノ效果ノ發生致シマスルヤウナ方法ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、何分アア云フ場所ハ早急ニ造ツテ置キマセスト、其處ニ家ガ建ツタリ、工場ガ建ツタリ致シマスト、ソレヲ取拂フノニ非常ナ經費ガ掛リ、又資材ヲ無駄ニスルト云フヤウナ關係ガアルノデ、取敢ズ必要ニシテ得易イ綠地ヲ急イデヤツテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、ソレニ附隨スル色々ノ施設ガマダ出來テ居リマセヌコトハ、淘ニ今田中委員カラ御指摘ノ通りデアリマス、將來ソレニ對シテ適當ナ方法ヲ考ヘテ參リタイト思ツテ居リマス。

○田中(好)委員 防空施設ノ助成ニ付テ、防空法ノ見地カラ助成ノ方法ヲ考ヘテ居ルト云フコトデアリマスガ、ソレハドツチニナツテモ宜イデハナイデスカ、防空法ノ時ニ當然御考ヘニナルト云フコトヨリモ、本法制定ノ時ニ併セテ御考ヘニナルト云フ方ガ度量ガ大キイト言ヒマスカ、兎ニ角便利デアラウト私ハ思ヒマスガ、防空法ノ建前カラ補助ヲ計畫セラレル時ニ、先程私ガ申述べマシタヤウナ見地ニ於テ、地下高速鐵道ハ此ノ營團法ニ依ツテヤツテヤルカラ、尋ネシタイコトヲ留保致シマシテ、是デ質問ヲ打切りマス。

○堤委員長 ソレデハ次ノ質疑ニ移リマス、此ノ防空施設ニ關聯シテ簡單ナ質疑ノ通告ガアリマスカラ之ヲ許可致シマス——清水徳太郎君

○清水(徳)委員 私ハ内務大臣ノ御意見ヲ聽キタイノデアツテ、内務大臣ガ御出席出

來ナイトスレバ、内務大臣ノ施設ニ對スル考ヘトカ抱負トカ云フモノハ計畫局長デ分ルデセウカ、分レバ宜ノデスケレドモ、分ラナカツタ時ニハ目的ヲ達シナインデゴルト云フヤウナ點ヲ聽キ質シテ置キマス、計畫局長ハ大臣ノ代理デ大臣ノ考ヘヲ現ハサレルカドウカ、ソレヲ豫メ承ツテカラ質問致シマス。

○藤岡政府委員 淘ニ難カシイ御尋ネデ、私内務大臣ノ抱負經綸ヲ其ノ儘此處ニ御傳ヘ申上ゲルト云フコトハ、口幅ツタクテ申上ゲ兼ネマス、實ハ内務大臣ニ是非出席シテ戴キタイト思ツテ私共折衝致シテ居ルノデアリマスガ、重要ナ問題ノ會議ノ爲ニ、總理官邸デ總理ト協議中デ中々手ガ放セナイノデアリマス、サウ云フ譯デゴザイマスカラ、私デ答へ得ル範圍ノコトデアツタラ幾ラデモ御答へ申上ゲマスガ、大臣ノ抱負經綸ヲ私カラ答へロト仰シヤラレテモ少シ無理デハナイカト思ヒマス、併シ私共大臣ヲ輔佐スル役目ニアル者ト致シマスレバ、私共ガ理想トシテ居ル所ヲ是非大臣ニヤツテ戴クヤウニ輔佐スルノガ當然ノ職責デハナカラウカト私自身考ヘテ居リマス、

○清水(徳)委員 私共ハ日頃カラ萬々一日本ガ交戦ニ近イ状況ニ入ツテ、東京ニ空襲ガアツタ場合ニ、帝都ノ治安ヲ預ツテ居ル内務大臣ガドウ云フ考ヘヲ以テ施設ヲヤラントシテ居ラレルカト云コトヲ切ニ聽キタイノデス、議員ノ任期ヲ一年延バシテ、

○清水(徳)委員 私ハ内務大臣ノ御意見ヲ聽キタイノデアツテ、内務大臣ガ御出席出

來ナイトスレバ、吾々バカリデハアリマセヌ、帝都ノ民ガ皆ソレヲ心配シテ居リ、火事ガ起キルト云フコトハ皆豫測シテ居リマス、其ノ場合ニハ其ノ火事ヲドウザイマスカラ、豫メ其ノ點ヲ聽キ質シテ置キマス、計畫局長ハ大臣ノ代理デ大臣ノ考ヘヲ現ハサレルカドウカ、ソレヲ豫メ承ツテカラ質問致シマス。

○藤岡政府委員 明日ニモ帝都ニ空襲ヲ受ケタ場合ニ、ソレヲ防グ方法ガ完備シテ居ルカト云フ御尋ネデアリマスレバ、是ハ遺憾ナガラ完備シテ居ルトハ申上ゲ兼ネマス、現在ノヤウナ木造建築ヲ致シテ居リマスル大東京市ヲ、一朝一夕ニ空襲ニ安全ナ都市ニ改造スルト云フコトハ、マルデ魔法ノヤウナ話デ言フベクシテ行ハレルモノデハナカラウト思ヒマス、私共營々トシテ、一方デハ空襲下ニ安全ナ都市ヲ建設スル爲ニ、凡エル努力ヲ重ネテ居ルヤウナ次第デアリマス、御説明ニモアリマシタ通り、現在ノ空襲デ最モ恐シイノハ何デアルカト申シマスト、恐ラク燒夷彈ノ攻擊デアラウト云フコトハ、是ハ作戰ノ専門家ノ意見モ一致シテ居ル所デアリマス、爆彈デアリマスレバ、其ノ落チタ周邊百「メートル」、或ハ二百「メートル」ト云フ被害ニ止マルノデアリマスガ、燒夷彈ノ攻擊ニナリマスルト、手ヲ離シテ炎焼サセマスト、一箇ノ燒夷彈ニシテ能ク帝都全部ヲ燒キ盡スコトガ出來ルノデアリマス、デアリマスルカラ何ト致シマシテモ、帝都ヲ燃エニククスルト同時ニ、又消シ易クスルト云フニツノ方面カラ、燒夷彈攻撃ニ依ル帝都ヲ護ル方途ヲ講ジテ行クコトガ、刻下ノ急務デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ現在及ブ限りニ於テ防火改修、或ハ貯水槽、消防施設ノ整備等ヲ急イデ居ルヤウナ次第デアルノデアリマス、先刻モ申上ゲマシタヤウニ、明

スカ

○藤岡政府委員 補助金ニハ限度ガアリマシテ、全部ヲ補助シテヤラセ得レバ勿論結構デアリマスルガ、國ノ財政ニモ限リガアルコトデアリマシテ、成ベク小額ノ補助金デ以テ多クノ效果ヲ擧ゲタイ、ノミナラズアノ綠樹ナドモ、地元ノ避難ト云フヤウナ利益ガ地元ニ歸屬スルヤウナ效果モ期待シテ居ル所ガ少クナインデアリマス、斯ウ云フモノハ或ル程度地元デモ經費ヲ負擔スルノガ當然デハナイカト云フノデ、一部補助ノ形式ヲ以テ現在ヤツテ居ルノデアリマスガ、其ノ補助金ノ額ガ少クテ其ノ爲ニ出来ナイ、出來ナイコトノ責任ハ内務省ガ負フカト仰シヤラレレバ、負ハナナイト申上ゲル譯ニハ參ルマイト思ヒマス。

○清水(徳)委員 ドウモ先程カラノ御答辯ヲ聽イテ居リマスト心許ナイカラ、此ノ委員會ニ限ツタコトデアリマセヌカラ、何レ他ノ機會ヲ選ビマシテ大臣ニ直接聽クコトニ致シマセウ、私ハ今ノ御答辯デ安心出来マセヌ、出來マセヌニ依ツテ何レ大臣ニ直接聽ク機會ヲ選ビマシテ、此ノ質問ヲ他



面白イ現象ガ現ハレテ居ル、今度ノ小委員トナツタ大藏男爵——私モ同ジ委員デ屢々審議シタコトガアリマシタガ、初メ東京市電氣局更生審議會等デ、大藏サンガ委員長デ審議シタ時ニ、一番初メガ地下鐵青「バス」、東京市、是ガ二ツ集ツテ二ツノ法人ヲ別個ニ作ツテ委任經營案ナドト云フモノガ出タノデアリマス、此ノ問題ハ我ガ東京市ト資本ノ十分ノ一ノ地下鐵青「バス」トガ合併スルト云フコトハ、日韓合併デアルト云フノデ握り潰シテシマツタノデアリマス、リスウ云フ經過ヲ經テ、今茲ニ現ハレテ居間以内ニ達スル近縣ヲ包含シタル交通綜合調整、斯ウ云フヤウナコトデアツタ、ヤハリスウ云フ經過ヲ經テ、今茲ニ現ハレテ居ル案ハ、地下鐵ト高速度鐵道トヲ買收シテ、サウシテ其ノ中ニ既ニ認可線ニナツテ居ル線路ヲ入レテ、サウシテ急速ニ且ツ完全ニ茲デ拵ヘヨウ、ソレニハ篠棒ニ力瘤ノ入レ方ガ強ク入ツテ、遮ニ無ニヤツテシマハウトスウ云フノデアリマスケレドモ、吾々永ク交通事業ニ關心ヲ持ツテ居ル人間トシテハ、永イ間ノ歴史ヲ通ジタ一貫シタル原理ガ、其處ニ入ツテ居ルヤウナ氣持ガシテ居ルノデアリマスガ、其ノ氣持ハ別問題トシテ、一體コンナニ金モ掛け、コンナニ一切ノ準備ヲ政府ノ欲スル儘ニヤルト云フコトヲスルナラバ、ソンナ面倒ナコトヲセズニ、速度鐵道救濟案ダト言ツテ批判ヲ致シテ居者モアルノデス、ト云フノハ地下鐵、高貴ツテハ困リマスガ、世間デハ地下鐵、高速度鐵道ヲ買收シマシテ、サウシテソレニ

八堀内君ノ言フヤウニ、利益金ニ對スル稅ノデアリマス、是ハ何ヤ彼ヤノ問題ガ絡ンデ、恰モ救濟案ダナドト言ツテ居ル者ガ多イノデス、是ハヤハリ議會ヲ通ジテ、斯ウ云フ際ニ此ノ疑惑ヲ一掃シテ貰フ方ガ、鐵道明朗ノ上ニ於テ極メテ私ハ必要ダト思フノデス、厭味ヲ言フ譯デハアリマセヌカラ、其ノ點ハ一つ能ク諒解ノ上、コンナニ犠牲ヲ拂ツタシングガ、鐵道ガ直營ヲシナイ其ノ法的理念ハ茲ニアルト云フコトノ御説明ヲ願ヒタイト思フノデス

○大山(秀)政府委員 山田サンノ只今ノ御尋ネ、洵ニ御尤モナ點デアルノデアリマシテ、帝都ノ防空交通ヲ主眼トシテ此ノ營團ヲ作ラウトスルノナラバ、イツソ國ガ直接ヤルベキモノデハナイカ、其ノ方ガ手取早イヂヤナイカト云フ御話ハ當然ナ御疑問ダト思フノデアリマス、殊ニ此ノ事業ガ帝都ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマシテ、防空計畫ナドト非常ナ密接ナ關係ガアルノデアリマス、而モ莫大ナル金ガ掛ル至難ナ仕事デアルカラ、國ガ行フ方ガヤリ易イト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、國ガヤルト致シマシテ、ソレデハ何處ガヤルカト考ヘマスト、一應防空ト云フ見地カラ言ヘバ内務省モ考ヘラレマスガ、結局ハ鐵道省ガヤルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、疑ヒナキヲ得ナイノデアリマス、御承知ノヤウニ鐵併シ鐵道省ガヤルトシテ考ヘマシテ、果シテ之ニ數億ノ金ヲ注込ンデ急速ニ造り得ルテ東京下關間ノ幹線モ早ク造リタイ、色々輸送力ノ増強ノ爲ニ今アル線モ改メテ行キ

ノイ、色々巨大ノ費用ヲ要スル計畫ガ幅廣シテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ナモノノ固ツタ所ニ、更ニ此ノ事業ヲ取ツタト致出セルナラバ別問題デアリマスガ、勢ヒ其ノ何レニモ行キ瓦ラズ、何レモガ出來上リガ遲イト云フ結果ニナツテ來ルト思フノデアリマス、本日デアリマシタカドナタカ建設線ノ中ニ、建設線モ抑ヘヨウト云フ時代ニ云々ト云フ御話モアリマシタガ、結局ハ地方ノ國有鐵道トシテナサネバナラヌ建設線自體ニモ影響シテ來ルト云フ風ニ心配セラレルノデアリマス、是ハ實際ノ觀點カラ國有ガ宜イカ惡イカト云フコトニ對スル疑問ヲ投げ出シテ居ル譯デアリマスガ、又議論ヲ述ベル人ハ斯ウ云フコトモ言フノデアリマス、一體帝都ハ成程國ノ中心デアル、併シ國有鐵道ト云フモノハ全國ノ交通整備ヲ致スベキ使命ヲ持ツテ居ルベキモノノデアルカラ、帝都トハ言ヒナガラ是ハ一つノ地方デハナイカ、國ガ大キナル金ノ掛カル場合ニハ、直營ニスベキモノノデハナイト云フ議論ヲスル人モアルノデアリマス、アレコレ考へ合ハセマスト、結局此ノ仕事ニ専念スル所ノ一つノ機關ヲ作ツテ、之ニ出来ルダケノ助力ヲ國有鐵道ガスルト云フコトガ、所期ノ目的ヲ達スル所ノ一番良イ方法デアラウ、斯ウ云フコトニ考へマシテ此ノ營團ヲ考ヘタノデアリマス、アレヤ是ヤト考ヘタ末、此ノ形ガ一番仕事フ早クヤル方法デアラウト云フコトニ考ヘガ落付イタ譯デアリマスソレカラ此ノ點答辯ノ要求ハナカツタコトト思ヒマスケレドモ、巷間是ハ地下鐵ノ救濟策デハナイカト言ツテ居ル向キモアル

ト云フ御話デアツタノデアリマスガ、是ハ吾々實ハ初耳デアリマシテ、全然想像モシナカツタコトデアリマス、一體今開業シテ居リマス地下鐵ガ、之ニ依ツテ何ヲ救濟サレルカ、想像シ得ナイ所デアリマス、出來ルナラバ交通量ノ増加ニ依リマシテ、過去ニ於テ色々苦心シタモノガ今漸ク實ヲ得ントシテ居ル、此ノ時勢ニ乘ツテ交通量ハドン／＼増シテ居ル、此ノ時ニ、此ノ營團ニ取ラレルト云フコトハ、恐ラク心中甚ダ望マヌ所デアラウト思フノデアリマス、決シテ此ノ營團ニ依ツテ何カガ救ハレルト云フコトハ、吾々ノ想像シナカツタコトデアリ、厭ヤデモアラウガドウカ此ノ東京ノ地下鐵道ノ建設ト云フ大キナ目的ノ爲ニ協力ヲシテ貫ハウト云フ氣持コソアレ、之ヲ以テ何カラ救濟シヨウト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居ナイノデアリマス、此ノ點ヲ申添ヘテ置キマス

ノ事業ニ關聯スル事業ヲ營ミ又ハ之ニ投資  
スルコトヲ得」ト云フ中ノ關聯事業トシテ、  
高速度鐵道、地下鐵道共ニ「タクシイ」ヲヤ  
ツテ居ルノデスガ、斯ウ云フモノヲ買收ス  
ル場合ニハドウナルデセウカ、「タクシイ」  
ノ統制ナドト云フコトニ付テノ質問ハ此ノ  
際當ラヌカモ知レマセヌケレドモ、ヤハリ  
交通ノ統制ト云フコトヲ考ヘマスル上ニ於  
テハ、「バス」「タクシイ」、路面電車、地下  
鐵、是ハ不可分ノ問題デアリマシテ、殊ニ  
「タクシイ」事業ト云フモノガ現在非常ナ受  
難時代ニ入ツテ居際アリマス、是ハド  
ウ云フ風ニ取扱ツテ宜シイデセウカ、極メ  
テ簡単ニ御答ヘヲ願ヒタイ

○大山(秀)政府委員 關聯事業ニ付テ「タクシイ」ハ入ルカト云フコトデアリマスガ、

憾カ今地下鐵ノ「タクシイ」ハ合同、「タクシ

ー」ト云フ別ナ會社ニナツテ居ルト思フノ

デアリマシテ、株ハ殆ド全部持ツテ居ルカ

モ知レマセヌガ、一應別個ノ會社デアツテ、

此ノ點ハ問題ナイト思フノデアリマス、「タ

クシイ」ガ此ノ營團ノ關聯事業ノ中ニ入ル

カト云フ御尋ネハ、普通考ヘマスト入ラス

ノデスケレドモ、地下鐵ガ郊外ニデモ延ビ

タ時ニ、其ノ終點カラ他ニ「タクシイ」デモ

ヤル人ガナイト云フヤウナ場合ニハ、此ノ營

團ノ方デヤル場合ガアルカモ知レマセヌ、

ケレドモ是ハ東京附近ニ於テ想像シ得ルダ

ケデアツテ、實際ニ於テサウ云フ場合ハナ

イノダト思ヒマス

○山田(清)委員 第五條ノ政府ノ出資ハ四

十万圓ト云フコトニナツテ居リマスガ、將

來資本増加ノ場合ニハ、政府ノ出資ハ更ニ

增加スル考ヘヲ持ツテ居リマスカ、又東京

市ノ方ノ持株ト言ヒマスカ、資本ハドウ云

トハ考ヘテ居ラヌガ、取敢ズ東京市ニ一千

フ風ニ其ノ場合ナリマスカ、其ノ點ヲ御答

ヘヲ願ヒマス

○大山(秀)政府委員 政府ガ三分ノ二ヲ持

チマシタト云フコトハ、昨日デシタカ大體

ト云フヤウナコトハ全然考ヘナイノデアツ

テ、出來ルダケノ助力ヲシタイト云フ意味

ニ於テ割合多ク持ツテ居ルノデアリマス、

ソレデ増資シタ場合ニ於テ、此ノ三分ノ二

ト云フ割合ヲ常ニ保ツテ行クカドウカト云

フヤウナコトニ付テノ御尋ネト思フノデア

リマスガ、必ズシモ其ノ割合ニ固執スル者

デハアリマセヌ、場合ニ依リマシテ増資ノ

際ニ或ル出資者ダケニ増スコトガアリ、將

來ハ都合ニ依ツテ増サヌ場合モアリ、ソレ

ハ其ノ時々ノ事情ニ依リマシテ、絶對ニ三

分ノ二以上トカ何トカ云フモノヲ持ツテ居

ナケレバナラスト云フヤウナコトハ考ヘテ

居リマセヌ、又將來増資スル場合ニ於テ、

更ニ持ツテ下サルト云フコトナラ非常ニ結

構ナコトト思ツテ居リマス

○山田(清)委員 洗ニ明瞭ナ御答ヘデアリ

マス、次ニ承リタインハ地下鐵事業ハ營團

デヤル、乗合軌道事業ハ東京市デヤル、是

ガ一貫シテ東京市ガ交通調整ヲヤツテ貢獻

スルト云フコトガ理想デアリマスガ、今回

所ト同ジコトデアリマシテ、色々ナ機關ガ

シテ居リマスヤウニ一千万圓盛ツテ居リマ

ノモノニ對シマシテ、今年ノ豫算ニハ今出

テモ宜イ、斯ウ云フ趣旨ナノデアリマス、

デアリマス、ソレデ他ノ普通ノ出資者ガ拂

込メテモ政府ハ拂込メナイ、或ハ又公共團

シテモ、市ト致シマシテモ、ソレドノ機

體ハ拂込メナイト云フヤウナ事態ガ起リ得

ギナイト思フノデアリマスガ、東京市ガモ

ウ少シ持ツテ下サルト云フコトハ勿論歡迎

ニナル、ソレモ謂ハ十分ノニ過ギナ、イモ

ノニ付テアレハ多イ、是ハ多イト云フ議論ニ過

ジナイト思フノデアリマスガ、東京市ガモ

ウ少シ持ツテ下サルト云フコトハ勿論歡迎

ニナル、ソレモ謂ハ十分ノニ過ギナ、イモ

ノニ付テアレハ多イ、是ハ多イト云フ議論ニ過

ル考ヘデアルカ、ソレカラ東京地下鐵及ビ高  
速度鐵道ノ兩鐵道ハ、本營團設立後直ニニ  
買收スルカ、或ハ暫ク後ニスルカト云フニ  
點ヲ承リマス

○大山(秀)政府委員 設立ハ秋頃ニ準備ヲ  
整ヘテヤリタイト思ツテ居リマス、ソレカ  
ラ工事ニハ何時掛ルカト云フ御話デアリマ  
スガ、是ハ全般的ノモノニ付キマシテハ前  
ニ申上ゲタト思フノデアリマスガ、資材ノ  
關係ト云フコトガ餘程影響シテ來ルノデア  
リマシテ、其ノ資材ヲ出來ルダケ工面シテ  
最モ效果ノ上リサウナ、其ノ準備ノ出來タ  
モノカラヤツテ行キタイト云フノデアリマ  
ス、サウ云フモノガ多クヲ望ミ得ナイナラ  
バ、廣イ場面ニ付テ凡ユル準備ヲ整ヘテ、  
サウシテ資材ガ手ニ入ツカラ直グヤリ得ル  
ヤウナ準備ヲ大イニヤリタイト云フノデア  
リマス、差當リ何處カラヤルノダト云フ御  
質問ガ必ズヤ起ルト思フノデアリマスガ、  
只今斯ウ云フ順序ヲ申上ゲルコトハ宜クナ  
イト思フノデアリマスガ、例ヘバ今高速ノ  
リマス、ヤリ掛ケテ居リマス四谷、赤坂見附ト云フ  
ヤウナモノハ極メテ短區間デハアルガ、是  
ガ出來上リマスナラバ、非常ニ效用ヲ増ス  
デアラウ、更ニソレガ新宿マデ延ビルナラ  
バ、交通緩和其ノ他ニ對スル效果ト云フモ  
ノハ非常ニ大キイダラウト考ヘテ居リマス、  
是ハ相當ニ色々々ノ點ガ他ノ部分ヨリモ準備  
ガ進シデ居ルト考ヘルカラ、一應申上ゲタノ  
デアリマシテ、結局資材ト睨合ハセマシテ、  
出來ルダケ早ク掛ルト云フ以外ニ御答ヘ申  
シ様ガナインデアリマス

○山田(清)委員 先程此ノ點ハ質問ガアリ  
マシタガ、第十八條ニ「總裁、副總裁及業  
務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職業ニ從事スルコ

トヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ」斯ウナツテ居リマスガ、此ノ總裁、副總裁ハ一體ドウ云フ人ヲ任命スルノカ、斯ウ云フ質問方度々アリマシタ、之ニ對シテ大臣ハ知識經驗アル適才ヲ以テ据エル、斯ウ云フ御話デアリマシタ、殊ニ相當實業的方面ノ有力ナ方ト云フ御話ガアリマシタ、所ガ、私ハ大臣ノ希望通リノ人ガ總裁、副總裁ニ就任シナイデハナイカト云フ心配ヲ持ソテ居ルノデス、ソレハ是ハ兼任ガ出來マヌ、ソレデ餘程待遇ヲ良クシナケレバ、天下知名ノ相當ナ人ハ、鐵道大臣ガ賴シダカラト云ツテ中々總裁ヤ副總裁ニ就任シナイト思フ、デアリマスルカラ是ハ鐵道省ノ官吏、或ハ内務省等ノ官吏ヲ現職ノ儘任命スルヤウナ規定ニ變へテ行ツタラドウ云フモノカト云フ考ヘモアルノデス、私ハ冒頭ニ何故ニ鐵道省自ラ本事業ヲ經營シナカツタカト云フコトヲ申シマシタ、サウスレバ官僚ノ獨善、天降リノ人事ヲヤルノダナドト云フ攻撃ヲ受ケナイデモ濟ム、一般ノ民間カラ適材ヲ簡拔シテ來ヨウトスルニ少クトモ年ニ數万圓ノ待遇ヲシナケレバ馬鹿馬鹿シクテ一切ノ重役ヲ棄テ來ル人ハナイト思フ、餘程動等デモ欲シイ人デナケレバ、中々來ナイト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テハ確信ガアルデセウカ、大臣ハ非常ニ自信ノアルヤウナコトヲ言フテ居ラレマシタケレウカ、兼任ガ出來ナイト云フコトデスガ、ドモ、所謂佛作ツテ魂ヲ入レズト云フコトデ、本法施行上甚ダ深憂ニ堪ヘマセヌカラ、私ハ聽イテ置ク次第アリマス

色示唆ニ富ム有力ナ御意見ヲ拜聽致シマシテ、有難ク考ヘルノデアリマス、要スルニ兼任ヲサセナイト云フコトハ、専念之ニ當ツテ貴ヒタイト云フコトガ狙ヒ所デアリマシテ、餘所ノ平重役ヲ兼ネルト云フヤウニコトハ、何レ許可サルベキモノデアルト思ヒマス、ソレデ果シテサウ云フ人物が見出シ得ルカドウカト云フ御話デアリマスガ、成程斯ウ云フ資格ヲ持チ、斯ウ云フ資格ヲ持ツト云フヤウニ、全部ヲ具ヘタ人ト云フモノハ、案外見付カラナイカモ知レマセヌ、ケレドモ出來ルダケソレニ近イヤウナ方ヲ見付ケ出シテ、サウシテ此ノ役員ハ待遇モ相當ニシナケレバナリマセヌガ、待遇以外ニ、帝都ノ爲ニ本當ニ勤イテ見タイト云フ熱意ニ燃エル人ガアリ得ルト思フノデアリマス、確信ガアルカト言ハレルト、ソレハ今具體的ニ人ヲ考ヘテ居リマセヌカラ、御答へ申上ゲヤウガナイノデアリマス、兎ニ角皆サンノ御智慧モ拜借シテ、サウ云フ良イ人ヲ探し出シタイト思フノデアリマス○山田(清)委員 ソヨガ私ト理念ノ違フ所デアリマシテ、政府ハ總裁、副總裁ヲ此ノ事業專任ニシテ貰ヒタイ、私ハ專任ノ必要ナイト云フ考ヘヲ持ツテ居ル、ト言フノハ、一體專任ト云フコトハ事務屋デ宜シイ、判ヲ捺シタリ事務ヲ執ツタルコトハ專任デ宜シイ、所謂大政策ヲ立テテ、大所高所カラ經綸抱負ヲ樹立スル者ハ、朝カラ晩アル、サウ云フ人ハ、甚ダ失禮ナ言葉デスガ、其ノ中ヘ首ヲ込达ンデシマツテ世ノ中ハ分ラナイ人ガ多イト私ハ思フ、ヤハリ人マデ机ニ食付イテ居ルヤウナ人デハ駄目デアル、サウ云フ人ハ、甚ダ失禮ナ言葉デスガ、其ノ中ヘ首ヲ込达ンデシマツテ世ノ中ハ

兒童ト雖モ分ツテ居ル、天下人多シト雖モ人極メテ少イ、ヤハリ其ノ少イ人ノ中カラドウシテモ之ヲ招聘シテ來テ、大東京ノ交通ノ爲ニ之ヲ懇請シテ三顧ノ禮ヲ盡シテ持ツテ來ルニハ、コンナ窮屈ナ法文デ、專任デナクテハイカスト云フヤウナコトデアルナラバ、求ムルコトハ即チ小サイ人間ヲ求メテ來テ、大キナ人ハ來ナイ、隨テ此ノ條文ガ邪魔ヲシテ眞ノ人材ヲラスルコトガ出来ナイ、ソレナラバ寧ロ大臣ノ下ノ次官サニ、次官サンノ下ノ局長サンガ直チニ總裁、副總裁ニ御就任ニナツテ、サウシテ事務上ノコトヲオヤリニナレバ宜イ、眞ニ此ノ事業ノ重大性ヲ考ヘルナラバ、罰則ナンカ八取ツテシマツテ、又兼任シタ者ハイケナイトカ何トカ云フコトヲ書イテアリマスガ、サウ云フモノハ止メテシマツテ、サウシテ兼任デモ宜イヤウニ修正スル考ヘハアリマセヌカ、ソレニ同意スル考ヘハアリマセヌカ〇大山(秀)政府委員是モ多クノ此ノ種法案及ビ特殊會社ノ規定ニ皆アルモノデアリマシテ、特ニ此ノ法案ニ於テ異ツタ所モナインデアリマスガ、山田サンノ考ヘニ依レバソレダカライカ又、特異性ヲ出セト仰シヤルカモ知レマセヌガ、是ガ普通ノ形ナノデアリマス、ソレデ第一專任デ行ケト云フコトガ無理デハナイカ、ソレデハ大物ハ入ツテ來レヌト云フ御考ヘモ、洵ニ御尤モナ觀察ダト思フノデアリマス、總裁ナドニ付テハ、或ハ本當ニ大綱ヲ統ペル人デアツテ、必ズシモ朝カラ晩マデ其處ニ來テ居ル必要ガナ他ノ仕事ヲヤツテモ構ハヌノデアリマスカリマスガ、併シサウ云フ人デ本當ニ良イ人ガアルナラバ、主務大臣ノ許可ヲ得マスト

ラ、其ノ時々ニ應ジマシテ適當ニソレヲ處理シ得ルト思フノデアリマス、又山田サンノ御考へハ非常ニ面白イ御考ヘデアツテ、サウ云フ場合ニモ對處シ得ルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

○山田(清)委員 最後ニ一點承リタイノデ營ガ十分進ンデ參リマスト、隨テ路面電車ノ交通機關ノ客ハ必然的ニ少クナツテ來ル、サウ云フ場合ニハ一體路面電車ノ經營者ノ損失ハドウナルグラウト云フヤウニ考ヘル向キモアリマス、私ハサウハ思ヒマス、私トシテハ段々交通機關ノ完備ニ伴ツテ、乘客量ト云フモノハソレニ數倍シテ行ツテ、サウシテ幾ラ交通機關ヲ作ツテモ尙ホ足ラナイト云フ考ヘヲ私ハ持ツテ居ル、隨テドンナニ地下鐵道ト云フモノヲ完備シテ行ツテモ、路面電車及ビ路面「バス」ノ受ク共繁榮シテ行クモノダ、斯ウ私ハ考ヘテ居リマスガ、併シ憂ヘル者アリ、逆ニ地下鐵道ガグンヽ擴張シテ行ツテ、市民ノ交通ヲ皆奪ツテシマツタ場合ニ、東京市電氣局アタリノ受ケル損害ニ付テハ政府ハ如何ナル考方ガ宜イト思ヒマス

○大山(秀)政府委員 路面ト地下トノ交通機關ノ問題ニ付テハ、是ハ中々重大大ナ問題デアリマスガ、私モ山田サンノ御考ヘト同様

ナ考ヘヲ持ツテ居リマス、是カラ地下鐵道ガマルデ蜘蛛ノ巣ノヤウニ到ル處ニ出來タラバ、ソレハ路面交通ニ非常ナ影響ガアリマセウガ、動脈——動脈ト云フヨリハモト小サイカモ知レマセヌガ、其ノ程度ノモノガ方々ニ出來タト云フコトニ依ツテ、路面ガ全然駄目ニナルト云フコトハ想像シテ云ノモ考へタコトハゴザイセヌガ、實例ト致シマシテモ、私能ク記憶シテ居リマセヌケレドモ、澁谷カラ新橋マデ地下鐵道ガ出來タト致シマシテ、成程一時ハ一寸減ツタデアリマセウ、ケレドモ交通ノ需要ノ增加、其ノ地下鐵道ノ開通ニ依ル利便ニ依ツテ人ノ動キト云フカ、其ノ方面ニ住ム人モ多クナリマセウシ、一時ハ一寸ノ影響ガアリマスガ、結局澁谷ノ路面電車ト雖モサウ減ツテハ居ナイ、サウ御心配ニナル必要ハナイト思フノデアリマス、サウカト云ツテ、此ノ路面ト地下ト云フモノハ勝手ニ進ンデ宜イト云フモノデヤナイ、常ニ路面ト地下トハ協調シテ、色々ノ方面ニ於テ手ヲ取ツテ、其ノ組織モ考ヘテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマス

○山田(清)委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○堤委員長 ソレデハ坂東幸太郎君

○坂東委員 私ハ他ノ公務ノ關係上席ニ居リヌコトガ屢アリマシタカラ、或ハ同僚諸君ノ質問ト重複スル點ガアリマスナラバ、其ノ點ハ濟ンダト仰シヤツテ戴ケバ重ネテ質問ハ致シマセヌ、私ノ間ハントスル所ヲ以下數項ニ分ツテ簡明ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、先づ第一ハ、帝都高度交通營團ハ帝都交通統制ノ一段階デアルト云フコトハ、小川鐵道大臣ノ御説明ニ依リテ明白デアリマス、抑、鐵道交通ノ大統制ナルモノハ、之ヲ形ノ上カラ申シマスナラバ、鐵道省、東京市役所、並ニ私設鐵道及ビ「バス」會社ノ合同問題デアリマス、故ニ懸カ昭和十四年十二月ニ交通調整委員會案トシテ現ハレマシタモノハ、此ノ三者ノ統制合意ニ近イモノデアツタノデアリマスガ、不幸ニシテ東京市側ノ反對ガアリマシテ、政府案トシテハ立案スルニ至ラナカツタノデアリマス、而シテ帝都交通統制ナルモノハ、假令種々ナル經緯ガアルニセヨ、右ノ建前ノ下ニ打立テラレナケレバナラヌモノト思フノデアリマスガ、政府ノ此ノ點ニ關スル御考ヘハ如何デアリマスカ

○小川國務大臣 只今御話ニナリマシタ大合同案ト云フノガ幹事案テアツタト云フコトハ、此ノ前申上ゲタ通リデアリマス、今回出シマシタ案ハ、大統制ト云フ目標ニ向ツテ進ム第一段階ト致シマシテ、實際出來ル相談デ、所謂實情ニ即シタ案ヲ立て速カニ實行シタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ大統制ト云フコトニナリマスレバ、是ハ又十分ニ研究スル必要ガアルト思フノデアリマス、大統制ト云フ目標ハ持ツテ居リマスガ、ソレヲ如何ナル形デ、ドウ云フ方法デヤルカト云フコトハ、今後ノ研究ニ俟

○坂東委員 勿論大統制ノ一段階デアルトノ大臣ノ御説明ハ能ク分ツテ居リマスガ、之ヲ事實ニ徴シマスルナラバ、本案ハ即チ高速度交通、所謂地下鐵道ノミノ統制デアリマシテ、他ノ形態デアル地上ノ交通ニ至リテハ、東京市團ト他ノ私設會社ハ之ヲ數箇ノ「ブロック」トシテ存在セシメルコトヲ豫期スルニ止マツテ居リマシテ、隨テ帝都ノ問題デアリマスケレドモ、其ノ重要性カ

○坂東委員 多少諄クナリマスケレドモ、私ノ質問ノ順序ト致シマシテ更ニ申上ゲマスガ、帝都ノ人口ハ約七百万、若シ此ノ趨勢ヲ以テ推移シテ行ツタ場合ニハ、恐ラクハ十五年ヲ出ズシテ一千万ノ大都會トナル

ヲ考へマスルナラバ、當ニ天下國家ノ大問題デアラウト考へマス、是レ即チ政府ガ本問題ヲ取上げマシテ、斯カル法案ヲ出スニ至ツタ所以デアラウト思フノデアリマス、結果シテ然ラバ、政府トシテハ單ニ本案ノ成立ニ腐心スルバカリデハナクシテ、無論帝都交通ノ全面的將來ニ對シテモ、一大識見ヲ持ツテ大方針ヲ立テ居ラルコトト存ジテ居ルノデアリマスガ、其ノ方針ノ片鱗トモ見ルベキ本案ノ審議ニ當リマジテ、賢明ナル小川鐵道大臣ニ之ニ對スル前途ノ見御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス方ガアリマスルナラバ、其ノ片鱗ダケデモ

○小川國務大臣 大統制ト云フコトヲ實行スル上ニ於テ一番ノ問題ハ、前申シマシタ經營主體ヲドウスルカ、斯ウ云フ問題デアリマセウガ、ソレニ關聯シテ經營形態ヲドウスルカ、又合同スルトスレバ合同ノ範圍ヲ今此處デ具體的ニドウト云フヤウナコトモ出テ來ルノデアリマシテ、サウ云フ問題カ、各種多數ノ事業ノ評價ヲドウスルカ、モ出テ來ルノデアリマシテ、

資金ノ調達ヲドウスルカトカ、色々な問題ノアリマスガ、其ノ片鱗ダケデモ

○坂東委員 此ノ營團ハ國家ノ機關ニ準ズベハ申上ゲラレマセヌ、謂ハバ一番大キイモノハ經營ノ主體ヲドウスルカト云フ問題デアルノデハナカト思ヒマス、其ノ經營ノ主體ト云フコトニナレバ、例ヘバ一寸考ヘレバ市ガヤルノデアルカ、或ハ交通營團ガヤルノデアルカ、ソレトモ一ツノ大キナ會社ヲ作ツテ行クンダトカ云フヤウナコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、其ノコトヲ今此處デ決定スルノハ實ハ少シ早過ギル、サ

シテ推論致シマスルナラバ、之ヲ買收スルニ當ツテハ無論高カラズ安カラズ、極メテ業ト半々位ノ心構ヘヲ以テ之ニ當ラネバナラスト思フニナリマスト、其ノ評價ハ、ソレニ對シテ如何ナル費用ヲ投ゼラレタカドウカト云フ、實費其ノ他ヲ能ク調査シテ決メタイト思ツテ居リマス

○鈴木(清)委員 未完成線ヲ此ノ營團ニ譲渡セシメルコトニナリマスト、其ノ評價ハ、斯カル事例ハ頗ル重要性ヲ有スル帝都ノ交

通界ニモ存在スルヤニ私ハ聞イテ居リマス、是ハ看過シ難キ大問題デアリマスカラ、斯カル事柄ハ政府トシテハ能ク聞キ耳ヲシテ居ツテ、之ヲ事前ニ防グノ方法ヲ執ラネバナラナイト思ヒマス、是等ノ點ニ關シテ政府

ヲ申上ゲタ譯デアリマス、若シソレ東京市ノ擴大ト云ヒマスカ、大キクナルト云フコトニ關聯シテ申上ゲマスレバ交通問題ダケデアリマセヌ、總テノ施設ト云フモノガ考ヘラレルノデアリマシテ、ソコデ都市ト云フモノニ付テハ、國土計畫ノ上カラ見マシテモ、東京市ハドノ位ノ大キサデアルベキカト云フ大キナ問題モ實ハアルノデアリマシテ、サウ云フ問題モ考ヘラレマスシ、更ニ防空ノ關係カラ申上ゲテモ、都市ノ大キサト云フモノヲドノ程度ノ所デ置クノカ、斯ウ云フ問題ガアルノデアリマス、坂東君ハ今一寸サウ云フヤウナコトモ多少言外ニ含メラレテ御尋ネニナツタカト思フノデアリマスガ、サウ云フコトヲ併セテ考ヘルニ至リマシテハ、今日交通機關ノ經營主體ト云フモノヲドウスルカト云フコトヲサウ早く決メシマフ譯ニハイカヌト思フノデアリマシテ、大體大統制ト云フ考ヘラ以テ、其ノ理想ニ向ツテ、其ノ時ニ相應シヤウナヤリ方ヲシヨウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ營團ハ國家ノ機關ニ準ズベキモノデアルトノ説明ヲセラレマシタル小川鐵道大臣ノ御考ヘハ御尤モデアルト思ヒマスト同時ニ、是ハ民衆ノ利用スル交通機関デアリマスカラ、少カラズ民衆的デナケレバ市ガヤルノデアルカ、或ハ公共ト營業ト半々位ノ心構ヘヲ以テ之ニ當ラネバナラスト思フノデアリマス、此ノ考ヘヲ基調トシテ推論致シマスルナラバ、之ヲ買收スルニ當ツテハ無論高カラズ安カラズ、極メテ業ト半々位ノ心構ヘヲ以テ之ニ當ラネバナラスト思フニナリマスガ、其ノ評價ハ、ソレニ對シテ如何ナル費用ヲ投ゼラレタカドウカト云フ、實費其ノ他ヲ能ク調査シテ決メタイト思ツテ居リマス

○鈴木(清)委員 只今申上ゲマシタコトヲ稍具體的ニ申上ゲマスト、例ヘバ茲ニ甲乙兩會社ガアリマス、所ガ甲會社ハ業績ガ頗ル宜シイガ、乙會社ハ頗ル振ハナイ、ソコデ之ヲ營團ガ買收スル場合ハ、例ヘバ甲八十、アルト申上ゲルノガ——經營主體ノ問題ニ觸レテ來マスト今御答出來ナイト云フコト

ヲ考ヘルベキコトハ、無論或ル標準モアリマセヌケレドモ、之ヲ合法的ニ高ク買收セネバナラヌヤウナ事態ヲ生ゼシメテハナラナイト思ヒマス、斯カルコトガアツテハ所謂勘定合ツテ錢足ラズデアリマシテ、後カラ取返シ付カナイヤウナコトガ起ツテ參リマスカラ、政府ハ此ノ買收價額ニ付キマシテハドウ云フヤウナ用意ガアルカト云フコトヲ簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○小川國務大臣 是ハ結局評價ノ問題ニナルト思フノデアリマシテ、大體營團ト、ソレカラ現在ノ地下鐵道、高速度鐵道ト協議シテ決メルト云フコトニナルト思ヒマス、是ガ交通事業調整法ノ精神デアリマシテ、ソレニ從ツテ行クト思ヒマスガ、其ノ評價ニ付キマシテハ、今日マデ一定ノヤリ方ガアル譯デアリマシテ、マア坂東君ノ言ハレマシタ高カラズ安カラズ、適當ナル評價方法デ決マス

○深澤(豐)委員 東京市ノ持ツテ居リマス未成線ノ權利ト申シマスカ、是カラ建設シヨウトスル線ニ對シテハ、補償ト云ヒマスカ、レバカト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○鈴木(清)委員 會社ガ合併致シマス際ハ、鐵道省ノ認可ヲ要シマスノデ、其ノ場合ニ於キマシテ會社ノ合併條件、其ノ他ヲ能ク審查シテ、是ガ營團ニ移ル際、合併ノ爲ニ不當ニ營團ニ高ク買ハレナイヤウニ十分審査シ得ラレルト思ヒマス

○坂東委員 以上ノ問題ト直接關係ガアリマスノデ、政府ガ私設鐵道ヤ軌道或ハ「バス」等ヲ監督スル範圍及ビ方法等ニ付キマシテ一寸御尋ネヲ致シマス、ト申シマスノハ、此ノ種類ノ會社ノ中ニハ、投機ニ類スル仕事ヲナスモノモ澤山アルヤニ聞イテ居ルノデアリマス、其ノ結果トシテ、其ノ會社ノ基礎ヲ危クスル場合モアリマス、又他ノ會社ニ迷惑ヲ及ボス場合モ生ズルト思ヒマス、斯カル事例ハ頗ル重要性ヲ有スル帝都ノ交

通界ニモ存在スルヤニ私ハ聞イテ居リマス、是ハ看過シ難キ大問題デアリマスカラ、斯カル事柄ハ政府トシテハ能ク聞キ耳ヲシテ居ツテ、之ヲ事前ニ防グノ方法ヲ執ラネバナラスト思ヒマスガ、是等ノ點ニ關シテ政府

○鈴木(清)政府委員 只今御問ヒニナリマ  
シタコトハ、兼業或ハ株ニ對スル投資ニ付  
テ現行法規ガ許可事項ニナツテ居ラナイガ  
爲ニ、斯クノ如キ御質問ガアツタノカト存  
ジマスガ、兼業ノ問題モ、株式ノ取得ニ付  
シテモ、マダ承認ヲスル條項ヲ持ツテ居ラ  
ナイノデアリマスガ、過去ニ於テ兼業及び  
其ノヤウナ問題ニ對シテ、大シテ惡例モ存  
シマセヌ、會社ノ存立ヲ危クスルヤウナ事  
態ガ存シマセヌノデ、成ベク會社ノ企業力  
ヲ抑ヘルコトヲシナイガ爲ニ、兼業ヲ承認  
事項トシテ居ラナイノデアリマス、併シナ  
ガラ今後兼業其ノ他ニ依リマシテ、會社ノ  
存立ヲ危クスルヤウナ趨勢、或ハ事情が多  
ク現ハレルヤウニナリマシタ、認可事項  
其ノ他ニ付テ相當監督強化ノ方法ヲ講ジナ  
ケレバナラスト存ジマス。

○坂東委員 既ニ地下諸鐵道ヲ此ノ營團ヲ  
シテ買收セシメル方針ヲ政府ガ執ツタ以上  
ハ、右申シタ理由ニ依リマシテ嚴重ニ是等  
會社及ビ關係諸會社ヲ監督指導シテ、以テ  
營團ガ高價ニ買收セネバナラス羽目ニ陥フ  
ヌヤウニ、政府ハ當時最大ノ努力ヲ拂フベ  
キデアラウト思ヒマスガ、是ハ私ガ政府ニ  
申スマデモナイコトデ、唯強ク御願ヒシテ  
置キマス

次ニ營團ハ勿論會社デハナイカラ總會ノ  
如キモノハナク、役員が必要アル場合ニハ  
評議員ニ諮詢スルニ過ギナイノデアリマス、  
是ガ官廳デアルナラバソレデ宜シイノデア  
リマスケレドモ、或ル程度ノ配當モ保證ス  
ル、ヤハリ一種ノ營業團體トモ見ラルベキ  
モノデアリマスカラ、殊ニ民衆ヲ相手ニス  
ル仕事デアリマスカラ、出資者側ノ團體的  
意見ヲ徵スル必要アルヤウニ思フノデアリ

モ選任シテ評議員會ヲ組織セシメテ、役員カラノ諮問ハ之ヲ團體ヲ成ス評議員會ニ於テナスノ組織トシテ然ルベシト思フノデアリマスガ、其ノ點如何デアリマスカ、御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○大山(秀)委員 評議員會ニ出資者ノ方カラモ出シテ、意見ヲ述ベル機會ヲ興ヘタラドウカト云フコトデアリマスガ、勿論全部ノ出資者ガサウナルカドウナルカ知リマセヌガ、或ル程度ハ評議員會ニ出資者モ出テ貰ハナケレバナラスト思ヒマス、ソレカラ出資者自體ノ總會ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、其ノ定款事項トシテ出資者ノ總會ヲ開ク事項其ノ他ノコトヲ定メテ、出資者ノ意見モ十分現ハレルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 モウ一點ダケ御伺ヒシテ置キマス、役員ハ主務大臣之ヲ命ズル旨ノ規定ガ第十七條ニアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ他ノ委員諸君カラ種々ナル觀點ヨリ色々ナ御質疑ガアリマシタガ、私モ多少意見ガゴザイマス、即チ此ノ事業ノ性質上ドウシテモ副總裁、理事及ビ監事等若干名ハ、之ヲ民間ノ學識經驗アル人物ヨリ選任スル旨ノ但書等デモ入レテ之ヲ明瞭ニシテ置ク方ガ此ノ營團經營ニ明朗性ヲ與ヘルコトト考ヘマス、此ノ點ニ關シマシテハ度々御意見ヲ承リマシタガ、此ノ點ダケハ重ネテモウ一度御伺ヒ致シマス

○小川國務大臣 其ノ問題ニ付テハ度々私カラ申上ゲマシタガ、此ノ營團ノ目的ヲ達スルヤウニ事業ヲヤツテ行キマスニハ、ドウシテモ事業家ノ腕ノアリ信用ノアル、又經驗ノアル者デナケレバヤツテ行ケナイノデ

ス、宜に加減ナ人ヲ總裁ニシタリ、副總裁ニシテハ出來ナイト思フノデアリマス、法文ニアラウガアルマイガ、實際サウ云フヨトニ歸着スルト思ツテ居リマス、法文ニ書カナケレバ保障ガナイト云フノデアレバ、營團ヲ拵ヘタケレドモ、實ハ眞劍ニナツテヤラスト云フコトニ畢竟ナルノデハナイカラ、ト思ヒマス、法文ニ書イタ所デ、同ジ経驗者ノ申デアリマシテモ、人ニ依ツテハ多少等差ガアルト思ヒマス、デアリマスカラ、此ノ事業ガ營團ノ要請ニ應ジテ行クトスレバ其處ニ自然ニ斯ウ云フ理事者ノ任命ノヤリ方が出テ來ルト考ヘマス、他人ノコトト思ツテ居リマセヌ、自分等ノ責任ニ於テ其ノ選任ノ誤リナキコトヲ期シテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ點ハ一ツ御信用ヲ願ヒタリ思ヒマス

○坂東委員 是デ私ハ質問ヲ終リマス、政府ノ御答辯デ明瞭デアリマス、私ノ考ヘト必ズシモ一致スルト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、併シナガラ政府ノ御意思ハ十分ニ拜聽致シマシタ、是デ私ノ質問ハ終了致シマンタ

○堤委員長 先程田中好君カラ鐵道大臣ニ對シテノ質疑ノ保留ガシテアリマスカラ、此ノ際之ヲ許可致シマス——田中好君

○田中(好)委員 大臣御留守ノ間ニ、各種ノ點ニ付キマシテ政府委員カラノ答辯ヲ伺ヒ、大體了承致シマシタガ、一點大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、此ノ交通調整ニヤル場合ニ於キマシテハ、ドウ致シマシテモ、或ル一定ノ「プロック」内ニ於ケル凡ユル交通機關ヲ一元的ニ調整シテ、初メテ調整ノ意味ガ達成セラレルノデアルト私ハ確信シテ居ルノデアリマス、然ルニ今

度御出シニナリマシタ本法案ニ依リマスト、此ノ營團ハ地下高速鐵道ダケヲ經營スルト云フ建前ヲ御執リニナリマシテ、地上ノ交通機關ノ經營ハ全然除外セラレテ居ル、同じ地域内ニ於ケル所ノ交通機關デアルカラ地下ニアラウト地上デアラウト、兎ニ角同ジ性質ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、地上ハ地下トデ宜シイ、地下ハ地下トデ宜シト云フヤウナコトヲ致シテハ、所謂調整ノ目的ヲ達シナイノデアリマス、私共ハ頗ル此ノ點ニ對シテ不満ヲ持ツテ居リマスガ、私共モ調整委員會ノ委員ノ一人トシテ入ツテ居リマシテ、斯様ナコトヲ言フノハ少し變カモ分リマセヌケレドモ、委員會ニ於キマシテハ東ニ角大同團結ヲシナケレバナラヌト云フ大キナ理想ヲ掲ゲテ居リマスガ、此ノ大同團結ヲヤルト云フ理想ヲ今實現スルト云フコトニハ、色々ナ理窟ガアツテ議論ガ起ツテ張ズル人々ガ各ノ意見ヲ強調致シマシテ、結局持ツテ行ク所ガナイ、市營案ニ依ラウトハ公私合同案ト云フヤウニ、是等ノ案ヲ主來ル、或ハ市營案トカ、或ハ會社案トカ、或思ヘバ會社案ガ反對スル、公私合同案ニ行カウトスルト、是ニモ亦反對ガアルト云フヤウナコトデ、結局大合同ニ至ル一段階トシテ本案ヲ出スノ外ナキニ至ツタ、所ガサウ云フヤウナ經緯カラ致シマシテ、營團ト云フヤウナモノヲ捨ヘラレタ、所ガ其ノ營團ハドウカト云ヒマスルト、營團ノ組織、出資、事業ノ經營ト云フヤウナ各種ノ點カラ見マスルト、是ハモウ立派ナ官公私合同案ト云ウテ宜イダラウト思フノデアリマス、昨日モ實ハ非常ニ此ノ案ヲ強調セラレマシテ、宛ラ鐵道省ノ別動隊トシテ交通機關ヲヤル、此ノ營團デアル、會社デハナイ、公共性

ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ強調セラレ  
マシタ、其ノ通リデアル、ソコデ今度ノ營  
團ハ力強イモノデアル、而モ其ノ背後ニハ  
鐵道會計ト云フモノガ控ヘテ居ル、金ガ要  
レバイツデモ出シテ吳レルト云フヤウナ組  
織ニナツテ居リマス、サウ云フヤウナ強  
營團デアル、ソレカラ又一面先程モ申シマ  
シタヤウニ交通上ノ見地カラ申シマスト、  
地上ト地下ヲ分ケテハイケマセヌ、一元的  
ニヤラナケレバイケナイ、交通量ヲ判斷シ  
テ交通機關ヲ經營シ計畫スルノデゴザイマ  
スルガ、交通量ニ付テモ此ノ交通量ハ地下  
ニ幾分行クノデアル、地上ハ是ダケノ割合  
デ運送スルモノデアルト云フヤウナコトヲ  
判斷致シマシテ、交通機關關ガ合理的ニ經營  
出來ルト云フ見地カラ致シマシテモ、地上  
地下ヲ分類セラレルコトハイケナイ、又舊  
市内ニ於ケル所ノ交通機關關ト、郊外電鐵ノ  
關係ヲ見マシテモ、ヤハリ是ハ舊市内デアル  
カラ、一ツノ地下ダケ固マツテ居ル、路面ハ  
別ダト云フヤウナコトテ行キマスト、郊外電鐵ヲ  
ス、又委員會ノ意見ノ如ク、郊外電鐵ヲ四ツ  
ノ「ブロック」ニ分ケテ、一「ブロック」ニ一經營  
者ガ居ルト云フヤウナコト致シマスルト、其ノ  
「ブロック」ノ一經營者ト、他ノ「ブロック」ノ一  
經營者トノ間ノ連絡ト云フモノハ少シモ付カナ  
イ、昨日大山政府委員ノ御意見デゴザイマシ  
タカ、連絡ニハ連絡ノ設備、設ケテヤルカラ連  
絡ヲ缺クヤウナコトハナイト云フヤウナ御答  
辯ガゴザイマシタガ、私ハソレデハ旨ク行カ  
ナイト思フ、今十アル會社ガ二ツニナツテ、  
此ノ二ツノ會社ガ互ヒニ仲好ク連絡協調シ  
テ行クコトガ出來レバ宜イガ、ソレガ出來

ナイカラ調整案ナルモノヲ考へ出シタノデ  
アリマシテ、此ノ點カラ言ヒマシテモ私ハ  
ソレハ完全ナ策デハナイト思フノデアリマ  
ス、殊ニ先程御伺ヒシマスト、都市計畫ト  
シテ決定致シマシタ高速度鐵道ノ方ハ、交  
通營團ガ經營セントスル舊市内ノ地域カラ  
飛出シマシテ、郊外ニアル所ノ地下鐵道モ  
經營スル方針デアルラシイ、サウナリマス  
ト現存シテ居ル郊外電鐵、其ノ新設セラル  
ベキ地下鐵道トノ關係ト云フモノハ、是亦  
非常ニ大キナ關係ヲ喚起シテ來ル、所ガ營  
團ノ仕事ハ營團ノ仕事デ勝手ニヤルカラ、  
既設ノ地方鐵道ハ地方鐵道デ勝手ニヤツテ  
居レ、斯ウ云フヤウナコトデハ是亦不都合  
ノ結果ヲ生ズルデアラウト思フノデアリマ  
ス、更ニ又一段階トシテ營團ヲ設ケテ將來  
合同セシムルト云フヤウナ考へテ行クナラ  
バ、今アリマスル所ノ地下鐵道ヲ營團ニ移シ  
テ、移サレタ其ノ營團ガ又後カラ起ルベキ  
所ノ大合同ノ機關ニ再び移轉シナケレバナ  
ラス、斯ウ云フヤウナコトハ徒ラニ事業ノ  
移轉讓渡ト云フモノヲ喚起シテ、何等益ノ  
ナイトデアル、近イ將來ニ於テ合同スル  
ト云フヤウナ計畫ナラバ、今カラ其ノ準備  
ヲシテ行カナケレバ、二重ノ手數ガ掛リ、  
二重ノ迷惑ヲ掛ケテ、何等得ル所ガナイト  
思フノデアリマス、例へテ申シマスナラバ、  
今回ノ計畫ニ於キマシテハ、青「バス」ヲ路  
面電車ヲ經營シテ居ル東京市ニ移ス、移ス  
ノハ宜シイ、併シ今移シタ所ガ又將來大合  
同ノ場合ニ、東京市ハ折角持ツテ居ル所ノ  
青「バス」路面軌道トヲ、其ノ大合同ノ機關  
ニ移サナケレバナラヌヤウナ結果ニナル、  
ソコデソレガズツト初メカラ、青「バス」ガ  
此ノ二ツノ會社ガ互ヒニ仲好ク連絡協調シ  
テ行クコトガ出來レバ宜イガ、ソレガ出來

移シテ行クトカ、其ノ營團カラ又大合同會  
社ニ移シテ行クト云フコトニナレバ是ハ或  
ハ宜イカモ知レマセヌ、形式上ノ移轉ノ問  
題ハ起リマセヌガ、ソコニ評價ノ問題ガ起  
ル、此ノ鐵道等ノ移轉狀況ヲ見テミマスト、  
ソレハ完全ナ策デハナイト思フノデアリマ  
ス、殊ニ先程御伺ヒシマスト、都市計畫ト  
シテ決定致シマシタ高速度鐵道ノ方ハ、交  
通營團ガ經營セントスル舊市内ノ地域カラ  
飛出シマシテ、郊外ニアル所ノ地下鐵道モ  
經營スル方針デアルラシイ、サウナリマス  
ト現存シテ居ル郊外電鐵、其ノ新設セラル  
ベキ地下鐵道トノ關係ト云フモノハ、是亦  
非常ニ大キナ關係ヲ喚起シテ來ル、所ガ營  
團ノ仕事ハ營團ノ仕事デ勝手ニヤルカラ、  
既設ノ地方鐵道ハ地方鐵道デ勝手ニヤツテ  
居レ、斯ウ云フヤウナコトデハ是亦不都合  
ノ結果ヲ生ズルデアラウト思フノデアリマ  
ス、更ニ又一段階トシテ營團ヲ設ケテ將來  
合同セシムルト云フヤウナ考へテ行クナラ  
バ、今アリマスル所ノ地下鐵道ヲ營團ニ移シ  
テ、移サレタ其ノ營團ガ又後カラ起ルベキ  
所ノ大合同ノ機關ニ再び移轉シナケレバナ  
ラス、斯ウ云フヤウナコトハ徒ラニ事業ノ  
移轉讓渡ト云フモノヲ喚起シテ、何等益ノ  
ナイトデアル、近イ將來ニ於テ合同スル  
ト云フヤウナ計畫ナラバ、今カラ其ノ準備  
ヲシテ行カナケレバ、二重ノ手數ガ掛リ、  
二重ノ迷惑ヲ掛ケテ、何等得ル所ガナイト  
思フノデアリマス、例へテ申シマスナラバ、  
今回ノ計畫ニ於キマシテハ、青「バス」ヲ路  
面電車ヲ經營シテ居ル東京市ニ移ス、移ス  
ノハ宜シイ、併シ今移シタ所ガ又將來大合  
同ノ場合ニ、東京市ハ折角持ツテ居ル所ノ  
青「バス」路面軌道トヲ、其ノ大合同ノ機關  
ニ移サナケレバナラヌヤウナ結果ニナル、  
ソコデソレガズツト初メカラ、青「バス」ガ  
此ノ二ツノ會社ガ互ヒニ仲好ク連絡協調シ  
テ行クコトガ出來レバ宜イガ、ソレガ出來

ノコトト存ジマスガ、地下ノ交通事業ト路  
面ノ交通事業トヲ、同一ノ經營者デヤツテ  
行クコトガ一番理想的ナコトデアルト思ヒ  
マス、事ノ性質カラ言ヘバソレニ異存ハナ  
イ、所謂大合同案ト云フノハサウ云フ考へ  
ノ上ニ立ツテ居ルモノデアルト思ヒマス、  
交通調整委員會デ研究シテ居リマシタノモ  
實ハソレデアツタノデアリマスケレドモ、  
今ノ御話ニモアリマシタヤウニ、事實今實  
行ガ出來兼ネルト云フ實際ノ事情モアリマ  
ス、其ノ實情カラ此ノ「ブロック」デヤツテ行  
雲フ水膨レガ出テ來ル、サウシテ結局ハ  
政府ノ理想トシ、調整委員會ノ理想トシク  
所ノ大合同團結ニ行ツテシマフ、斯様ナコト  
ニ相成リマスト、交通上ノ點カラ見マシテ  
モ、事業ヲ經營スル見地カラ見マシテモ、  
實ニクダラヌコトデアル、不得策ナコトデ  
アルト私ハ思フノデアリマス、ソコデ斯ウ  
云フヤウニ私ハ思フノデゴザイマス、第一  
條ニ規定セラレテアリマスル「地下高速度」ト  
云フ文字ヲ除外外サレテ、凡ユル交通機關ヲ  
交通營團ガ經營スルコトガ出來ルヤウニ決  
メルコトガ最モ適當デアラウト思フノデゴ  
ザイマス、大臣ハ此ノ點ニ付テドウ云フ風  
ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、或ハ調整  
委員會ノ趣旨ト鐵道省ノ趣旨トガ偶然ニモ  
一致シタト云フ大山君ノ説明デゴザイマシ  
タガ、ソレハ偶然ニ一致シタ致シマシテ  
モ、私が今申シマスルヤウニ、第一條カラ  
「地下高速度」ナル文字ヲ削除スルコトハ、調  
整委員會ガ、一段階トシテ、此ノ營團ヲ持  
ヘルト云フ意見ヲ採擇シタコトト何等抵觸  
シナリ、ソレデ將來ノ大合同ノ場合ニ於ケ  
ル主體ハ、此ノ交通營團デアルト云フヤウ  
ニ直サレレバ、初メテ政府提出ノ案が決定  
的ニナルノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘル  
ノデゴザイマス、此ノ點ニ關シマシテ大臣  
ガ出来ルヤウニシヤウ、斯ウ云フ譯デ茲ニ  
出シタノデアリマス、勿論此ノ中デ今地下  
鐵道ノ敷力レテ居ル所デハ、運輸ノ經營ヲ  
帝都高速度交通營團法案ト云フモノヲ考へ  
ヤリマス、ソレカラ建設ガ出來レバソレ  
ニ依ツテ經營ヲヤリマスガ、此ノ建設ト  
云フ所ニ非常ニ大キナ重ミヲ持タシテ居  
ル譯デアリマス、唯交通事業ト云フモノヲ

輸送ト云フ方面ノミデ見マスト、御話ノヤウナコトガ出テ來マスケレドモ、地下鐵道ノ建設ト云フコトヲ考ヘマスト、ドウシテモ斯ウ云フ交通營團法ト云フモノガ必要ニナツテ來ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレデ此ノ法案ガ出マシタトテ、他ノ「ブロック」デ交通ノ調整ヲシヨウト云フ考ヘ方ハナクナツテ居ル譯デアリマセヌカラ、交通調整委員會デ答申ノアリマシタヤウナ線ニ沿ウテ、是ハ法律ガナクテモ、法律ヲ俟タナイデモ、現在ノ法律ノ範圍内ニ於テ、此ノ「ブロック」デツノ交通ヲ調整スルト云フ事業ハナシ遂ゲラレルト考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ「ブロック」ト「ブロック」トノ間ニ於テ旨ク行カヌデハナイカ、斯ウ云フク間ニ於ケル交通事業ニ付キマシテハ、陸上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、御說モアツタヤウデアリマスガ、各「ブロック」間ニ於ケル交通事業ニ付キマシテハ、陸上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、

上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、御說モアツタヤウデアリマスガ、各「ブロック」間ニ於ケル交通事業ニ付キマシテハ、陸上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、

上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、御說モアツタヤウデアリマスガ、各「ブロック」間ニ於ケル交通事業ニ付キマシテハ、陸上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、

上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、御說モアツタヤウデアリマスガ、各「ブロック」間ニ於ケル交通事業ニ付キマシテハ、陸上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、

上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、御說モアツタヤウデアリマスガ、各「ブロック」間ニ於ケル交通事業ニ付キマシテハ、陸上交通事業調整法ヲ運用致シマシテ、連絡設備ノ改善ヲスルトカ、直通運轉ヲスルトカ、或ハ連絡運輸ノ擴張ヲヤルトカ、規格ノ統一ヲヤルトカ、用品其ノ他ノ共同修繕、

輸送ト云フ方面ノミデ見マスト、御話ノヤ

云フ御意見ノヤウデアリマス、ソレハ前申

シマシタ大統制ヲヤツタ時分ニ、交通經營

イト思ツテ居ル譯デアリマス

イテ見マスト、此ノ三十九條ノ規定ニ依ツ

ウナコトガ出テ來マスケレドモ、地下鐵道

ノ主體ト云フモノハ何デアルノガ一番宜イカ

ツタノカモ知レマセヌガ、何レ將來ハ大合

テ、防空施設トシテ補助スル考ヘハ何モナ

ト云フ問題ニ觸レタノデアリマス、ソレハ

ト云フ問題ニ觸レタノデアリマス、ソレハ

ト云フ問題ニ觸レタノデアリマス、ソレハ

同ヲオヤリニナルコトハ、大臣モ認メラレ

テ居ル、ソレナラバ折角澤山ノ國費ヲ投ジ

テ、經營セシメヨウトスル營團ヲシテ、將

マデニ此ノ問題ヲ決定スルニ立至ツテ居リ

マセヌ、何分ニモ此ノ案ハ屢々申述ベマシタ

通リニ、地下鐵道ノ建設ヲ早クヤツテ行カ

ウト云フ所ニ非常ナ主眼點ヲ置イテ居リマ

スカラ、其ノ鐵道ガ出來マシタ上ニ、地下

鐵道ガ網ノ如クニナル理想ニ達シタ場合ニ

於キマシテハ、輸送ノ經營ト云フコトダケ

ニナラヌノヲ疑フノデアリマス、成程サウ

云フコトヲ言フト、市有市營ノモノハ市營

案ヲ言フ、會社ノモノハ會社案ヲ言フ、是

デハモウ因ルカラ、兎ニ角頬冠リシテ、今

交通營團ダケヲ持ヘテ行カウ、サウンシテ成

績ヲ見テカラドンナ風ノ調整ガ宜イカト云

デハナイデゴザイマセウカ、私ハ其處ヲ

ロック」ヅツドン／＼ト買收合同ヲセラレ

テ居ル、ソレナラバ折角澤山ノ國費ヲ投ジ

テ、經營セシメヨウトスル營團ヲ、今強イ

ルト云フダケノ元氣ヲ、私ハ大臣ガ御持チ

ニナラヌノヲ疑フノデアリマス、成程サウ

云フコトヲ言フト、市有市營ノモノハ市營

案ヲ言フ、會社ノモノハ會社案ヲ言フ、是

デハモウ因ルカラ、兎ニ角頬冠リシテ、今

交通營團ダケヲ持ヘテ行カウ、サウンシテ成

績ヲ見テカラドンナ風ノ調整ガ宜イカト云

デハナイデゴザイマセウカ、私ハ其處ヲ

下鐵道ヲ急設シヨウト云フコトヲ主ニシタ

ニナリマス、其ノ時分ニ於キマシテハ又考

ヘ方モアルダラウト思フノデアリマス、地

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

ノヲ今合同セイト云フ譯デハゴザイマセヌ、

營團法ト云フモノデ宜イノカ惡イノカ、是

ハ考ヘル餘地ガアルト思フノデアリマスガ、

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

ノヲ今合同セイト云フ譯デハゴザイマセヌ、

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

ダカラ、斯フ云フモノデ一ツ他日大合同ヲヤ

シ、一種ノ私法人トハ言ヒナガラ、營業本

位ノモノデナイ公ノ性質ヲ持ツテ居ルモノ

ノヲ今合同セイト云フ譯デハゴザイマセヌ、

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

大合同ガ出來マス時分ニハ、何カ唯營利主

フ御意見デアリマス、ソレハ確カニ一ツノ

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

ノヲ今合同セイト云フ譯デハゴザイマセヌ、

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

ダカラ、斯フ云フモノデ一ツ他日大合同ヲヤ

シ、一種ノ私法人トハ言ヒナガラ、營業本

位ノモノデナイ公ノ性質ヲ持ツテ居ルモノ

ノヲ今合同セイト云フ譯デハゴザイマセヌ、

シテ、サウシテ營利事業デアルケレドモ、

ツテ行クコトガ宜イノデハナイカ、斯フ云

○小川國務大臣 經済新體制ハ御承知ノ通  
リニ資本ト經營ト勞務ト有機的ニ一體ニナル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ出來テ居リマシテ、資本ト經營トガ分離スルト云フコトニ付キマシテ色々ナ意見モゴザイマスケレドモ、ソレハ否認シテ居ルノデアリマス、昨日デアリマシタカ申上ゲマシタヤウニ、勞務ニ付キマシテモ、資本ト勞務ト經營トガ一體ニナリマスカラ、階級闘争ト云フモノハ考ヘラレナイ、此ノ營團ニ於テモ實ハ其ノ考ヘ方ハ變ツテ居ナイ筈デアリマス、資本ト經營トヲ分離シテ居ルヂヤナイカト云フ御意見ハ、此ノ營團法ヲドウ御覽ニナツタカ存ジマセヌケレドモ、資本ハ三分ノ二マデハ政府が出し、斯ウ云フコトデアリマスシ、ソレカラ其ノ資本ト云フノハ出資ダケデナイ、交通債券ト云フモノマデモ考ヘマスレバ、鐵道省が出ス資本モ相當大キクナルヂヤナイカト思フノデアリマシテ、シナガラ鐵道省ノ人間ガ之ヲ經營シヨウト考ヘテ見ルト、寧口鐵道省ノ人ガ經營スルノガ資本ト經營ガ分離シテ居ルト云フコトニナラストモ限ラナイ譯デアリマスガ、併其ノ資本ト云フモント經營ト云フモント考ヘテ見ルト、寧口鐵道省ノ人ガ經營スルハ思ツテ居リマセヌケレドモ、鐵道省ガソレヲ監督シ鐵道省が人ノ任命ニ付キマシテ携ル譯デアリマシテ、資本ト經營トヲ分離

シテ、資本家ハソツチニ居レ、經營者ハ別ニヤルンダ、斯ウ云フ考ヘ方ノ資本ト經營ノ分離ト云フモノトハ違ツテ居ルト思フノデス、ヤハリ資本ト經營ト云フモノハ分離シナイ考ヘノ上ニ立ツテ居ルト思フノデアリマス、ソレカラ若シ資本ト經營ト云フモノノ分離ト云フ考ヘ方ヲ、經營者ヲ宜イ加減ナ腕ノナイ官僚ナラ官僚カラ出シテ經營ヲ勝手ニシヨウ、斯ウ云フ考ヘガ資本ト經營ノヤウニ、其ノ事業界ニ於テ經驗モアリ腕モアリ、ソシテ斯ウ云フ建設ノ事業ガ旨クヤツテ行ケルヤウナ人間ヲ以テ總裁、副總裁、其ノ他ノ理事トナラシメル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、其ノ資本ト經營トノ分離ト云フ根本ニ考ヘ方トハ違ツテ居ルト思フノデアリマス、官僚ノ經營ト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、官僚ノ經營ト云フノガ何カ此ノ營團ト云フモノヲシタヤウニ、此ノ營團ヲ官僚ノ經營ニシヨウ、斯ウ云フノデハナイノデス、任命ノ方針ハ申シマシタヤウナ風デ、アレハ官僚ノスレバ、實ハ鐵道省全體ガ官僚ガヤツテ居テレルト言ハレバ、是ハサウ非難セラレバ實ハ困ツテシマフ譯デスガ、鐵道省ハ若シ官僚ノ經營ト云フコトデ御話ニナリマス、ソレヲ寧ロイカナイモノダト私共考ヘテ居ル譯デアリマス、若シ官僚ノ經營ト云フコトデ御話ニナリマス、ソレヲ寧ロイカナ

サウ官吏ガ勝手ニハヤツテ居ナイ、ヤハリ現業デアルト云フ觀念デ、長イ間ノ經驗モアリマスシ、此ノ國有鐵道ガ出來マシテ以來相當ニ官權ヲ弄ンデヤルト云フノデアリマセヌデ、實ヘ事業ニ付テ相當民間デヤル位ニ負ケナイ積リデヤツテ居ルノデアリマシテ、若シ足リナイ所ガアリマスレバ謹デ其ノ御非難ハ受ケマスシ、私共ハ十分ニ自分シ多少鐵道省ガ世間デ謂フ官僚方國策會社ヲ經營シテ居ルト云フモノトハ違フシダト御認メ下サルナラバ、今度ノ營團モ其ノ意味ニ於テ世間ニ謂フ所ノ官僚ノ經營デハナイト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス〇田中(好)委員能ク分リマシタガ、役員ノ任免ニ付キマシテハ大臣ハ理想論ヲ言ハレテ居ル、統制ノ經營ニ付テハ私ハ理想論ヲ言ツテ居ルト云フヤウナ感ガ致シマス、成程役員ハ理想的ニオヤリニナルカ知リマセヌガ、實際ハ任命セラレル所ノ者ハ古イ官吏ガ行ツテ居ル、ソレヲ稱シテ私ハ官僚統制ト言フ、一方ハ理想案ヲ採ラレ、一方ハ事實論デ行クノデ食違ヒガ起ルノデアリマスガ、其ノ點ハモウ餘リ御伺ヒシマセヌ唯一ツ先程カラ問題ニナツテ居リマスル出資者ノ意見ヲ徵スルト云フ問題デゴザイマスルガ、是ハドウデゴザイマセウカ、定款デ規定スルシダト云フヤウナ答辯、或ハ評議員會デ左様ノ意見ヲ諮問シテ、會社ニ關スル重要ナル事項ハ諸問スルシダト云フヤウナ政府答辯モアツテ、此ノ二本建デ行カレルヤウニアルノデアリマス、評議員會ハ評議員會デ行キ、出資者會議ハ又別ニ定款デ規定者會議ヲ設ケテ行ク、斯ウ云フヤウナ政府委員ノ答辯デアリマシタガ、左様ニ解釋シ

テ宜シイノデアリマスカ、若シ左様ニ解釋スルト致シマスナラバ、定款ノ記載事項ヲ規定シテ居ル十條ニ於テ出資者會議ニ關スル規定ガアリサウナモノダケレドモ、是ハ何モ書イテナイ、言ヒ遁レノ答辯ノヤウニモ考ヘラレル、是ハ責ヌル譯デハアリマセヌガ、二本建カ一本建カト云フ點ヲ一ツ御答辯願ヒタイト思ヒマス〇大山(秀)政府委員私共今マデ申上ダマシタノハ恩給金庫ナリ庶民金庫ナリノ實際ノ例ニ基キマシテ、大體ソレト同ジヤウナ風ニ行キタイト云フ意味デ實例ニ付テ申上ゲテ居ル譯デアリマス、ヤハリ恩給金庫、庶民金庫ノ法制ノ中ニモ法自體ニハソレニ關スル規定ハナインデアリマスガ、定款ニ於テソレヲ決メテ居リマス、ソレカラ二本建、一本建ノ御話デアリマスガ、評議員ノ中ニ出資ト云フ方面モ採入レル積リデアルト言ツタノデアリマシテ、總テノ出資者ガ果シテ入ルカドウカト云フコトハ疑問デアリマス、出資者ノ全部ヲ含ム一ツノ機關トシマシテハ定款ニ依ル出資者總會デアル、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、此處ニ恩給金庫ノ定款ガアリマスガ、ヤハリ此ノ三十二條ニ於テ出資者總會ト云フ點ヲ決メテ居リマス〇田中(好)委員サウシマスト評議員會ノ方ニモ出資者ヲ出スシ、定款ニ規定スル出資者會議モ設ケル、斯ウ云フ趣旨ト解シテリタイト思ヒマス

午後五時十三分散會

タ、茲ニ重複ヲ避ケテ私ハ質疑ヲ行ヒマセヌ、唯一點政府ニ向ツテ希望ヲ申上げテ置キタイト思ヒマス、由來此ノ種ノ事業立法ノ實歷ニ徵シテ見マス時ニ、議員側ノ或ハ質疑ノ間ニ或ハ意見開陳ニ對スル政府ノ聲明ガ、屢々切ラレテ居ルト云フ感ヲ抱カザルヲ得ナコトガ間々アルコトヲ吾々ハ遺憾ニ思ヒマス、此ノ法案自體ノ包藏スル事業ノ重大性、特殊ノ目的性ニ顧ミテ、特ニ此ノ場合政府ハ斯カル遺憾事ノ絶對ニナカラシヤウ十分ノ御留意アツテ戴キタイト云フコトヲ、茲ニ強ク要望ヲ致シテ置キマス上ヲ以テ私ノ發言ヲ終リマス、尙ホ此ノ場合帝都高速度交通營團法ニ對スル政府ヘノ質疑打切りノ動議ヲ提出致シマス〇堤委員長高橋君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕  
〇堤委員長ソレデハ本案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ハ明日午後一時ヨリ討論採決ニ入りタイト思ヒマス

○高橋(義)委員私ノ御尋ネ致シタイト考ヘテ居リマス點、竝ニ御述ベ申上ガタイ意見ノ大體ハ、只今マデノ同僚各位ノ御質疑ノ行ハレタコトニ依ツテ明カニ致サレマシ

昭和十六年二月八日印刷

昭和十六年二月八日發行

衆議院事務局

印刷者  
内閣印刷局